

第五節 我カ艦隊ノ行動……………二六四

第一目 一般ノ行動……………二六四

第二目 長崎沖ニ現レタル敵艦搜索……………二七七

第三目 南遣支隊ノ行動……………二八〇

第六節 戦績戦果……………二八九

備考文書 (別冊ニアリ)

# 明治三十七八年海戦史

## 第二部

### 第二篇 日本海海戦

#### 第一章 五月二十七日ノ戦闘(第一合戦)

##### 第一節 敵艦隊ノ發見及ヒ戦闘概要

聯合艦隊司令長官海軍大將東郷平八郎ハ、明治三十八年一月以來、麾下諸艦船艇ノ戦闘力恢復ヲ圖ルト同時ニ、漸次其ノ勢力ヲ朝鮮海峽ニ集中シ、將卒ヲシテ銳意諸種ノ操練ニ從事セシメ、以テ徐ニ敵ノ増遣艦隊ノ動靜ヲ觀察シツ、アリシニ、敵ハ五月初旬安南沿岸ノ寄泊地ヲ出發シテ、漸ク北航スルヲ以テ、愈々警戒ヲ嚴ニシ、一切ノ戦備ヲ整へ、敵艦隊ノ出現ヲ待チ、以テ二十七日ノ拂曉ニ至レリ、時ニ我カ諸隊ノ所在左ノ如シ、

隊名	艦艇名	所在
第一戦隊	三笠(東郷聯合艦隊司令長官旗艦) 敷島 富士 朝日 春日 日進(第一艦隊司令官海軍)及ヒ通報艦龍田	鎮海湾 加徳水道
第二戦隊	出雲(第二艦隊司令官海軍) 吾妻 常磐 八雲 磐手(第二艦隊司令官海軍) 少將島村速雄(旗艦) 淺間及ヒ通報艦千早	加徳水道
第四戦隊	浪速(第二艦隊司令官海軍) 高千穂 明石 對馬 中將瓜生外吉(旗艦)	加徳水道

第一章 第一節 敵艦隊ノ發見及ヒ戦闘概要

隊名	艦艇船名	所在
第五戰隊	嚴島(第三艦隊司令官海軍中將片岡七郎旗艦) 鎮遠、松島、橋立(第三艦隊司令官海軍少將武富邦雄旗艦) 及通報艦八重山	尾崎灣
第六戰隊	須磨(第三艦隊司令官海軍少將東郷正路旗艦) 千代田 秋津洲 和泉	尾崎灣 北緯三十三度五十分東經百二十七度五十分(附近) 北緯三十三度三十分東經百二十八度三十分(附近)
第三戰隊	笠置(第一艦隊司令官海軍中將山羽重遠旗艦) 千歳、音羽、新高 扶桑(第三艦隊司令官海軍少將山田彦八旗艦) 高雄 筑紫、鳥海	神埼沖(哨戒中) 尾崎灣口附近(哨戒中) 尾崎灣
第七戰隊	宇治 摩耶 亞米利加丸(假裝巡洋艦) 佐渡丸(假裝巡洋艦) 信濃丸(假裝巡洋艦) 滿州丸(假裝巡洋艦) 八幡丸(假裝巡洋艦) 臺南丸(假裝巡洋艦)	宇久島 竹敷 鴻島ノ南東方(哨戒中) 北緯三十三度三十分東經百二十八度三十分(附近) 北緯三十三度三十分東經百二十八度三十分(附近) 白瀬ノ北西約十海里(哨戒中) 竹敷ヨリ五島列島ノ西方第一哨區ニ向ヒ航行中

隊名	艦艇船名	所在
特務艦隊	熊野丸(水雷母艦) 日光丸(水雷母艦) 臺中丸(假裝巡洋艦) 春日丸(水雷母艦) 大仁丸 平壤丸(一等假裝砲艦) 京城丸 愛媛丸 香川丸 蛟龍丸(二等假裝砲艦) 高坂丸 武庫川丸	竹敷 佐世保 鎮海灣
第一驅逐隊	春雨(司令官海軍大佐 藤本秀四郎) 吹雪、有明、霞、曉	
第二驅逐隊	隴(司令官海軍大佐 矢島純吉) 電、雷、曙	
第三驅逐隊	東雲(司令官海軍中佐 島重太郎) 海雲、霞、漣	
第五驅逐隊	不知火(司令官海軍中佐 榎本太郎) 叢雲、夕霧、陽炎	
第九艇隊	蒼鷹(司令官海軍中佐 河原早治) 雁、燕、鷗	加徳水道

第一章 第一節 敵艦隊ノ發見及ヒ戰鬪概要

隊名	艦名	船名	所在
第十四艇隊	千島 <small>(司令海軍中佐 關重孝)</small>	隼、真鶴、鷗	
第十九艇隊	鷗 <small>(司令海軍中佐 松岡修)</small>	鴻雉	
第四驅逐隊	朝霧 <small>(司令海軍中佐 鈴木太)</small>	村雨、白雲 <small>(朝潮ハ竹敷ニアリ)</small>	
第十五艇隊	雲雀 <small>(司令海軍中佐 近藤常松)</small>	鷲、鶴、鷗	
第十艇隊	第四十三號 <small>(司令海軍少佐 大瀧道助)</small>	第四十號、第四十一號、第三十九號	尾崎灣
第十一艇隊	第七十三號 <small>(司令海軍少佐 鈴木博次)</small>	第七十二號、第七十四號、第七十五號	
第二十艇隊	第六十五號 <small>(司令海軍少佐 久保來復)</small>	第六十二號、第六十四號、第六十三號	
第一艇隊	第六十九號 <small>(司令海軍少佐 福田昌輝)</small>	第七十號、第六十七號、第六十八號	尾崎灣ニ向ヒ歸航ノ途中
備考	假裝巡洋艦香港丸、同日木丸、津輕海峽方面ニ同備後丸、澎湖島方面ニ二等假裝砲艦第六宇和島丸、八口浦ニ測量艦磐城二等假裝砲艦神祐丸、三等假裝砲艦佐波川丸、元山方面ニ在リ		

右ノ外竹敷要港部及ヒ吳鎮守府所屬ノ艇隊ニシテ、海峽附近ニ在リシモノ左ノ如シ、

隊名	艇名	名	所在
竹敷要港第十七艇隊	第三十四號 <small>(司令海軍少佐 青山芳)</small>	第三十一號、第三十二號、第三十三號	尾崎
同 第十六艇隊	白鷹 <small>(司令海軍少佐 若林欽)</small>	第六十六號ハ竹敷ニテ修理中	
同 第十八艇隊	第三十六號 <small>(司令海軍少佐 河田勝治)</small>	第六十號、第六十一號、第三十五號	竹敷
吳鎮守府第五艇隊	福龍 <small>(司令海軍少佐 小川水路)</small>	第二十五號、第二十六號、第二十七號	門司

即チ第一、第二兩艦隊ノ大部ハ加徳水道ニ、第三艦隊ノ大部ハ尾崎方面ニ據リ、而テ第三戰隊ハ第四警戒線(白瀬ト城列島間)上ヲ游弋シ、亞米利加丸、佐渡丸、信濃丸、滿州丸ハ西方哨區ニ於テ西ヨリ東ニ配列シ、秋津洲、和泉ハ其ノ後方ニ在リテ相共ニ海峽ヲ哨戒セリ、然ルニ信濃丸ハ是ノ日午前二時四十五分、北緯三十三度十分、東經百二十八度十分(白瀬ノ西二分ノ一北四十海里ニレテ即チ一八六地點ナリ)附近ニ於テ、約北東ニ航シツ、アリシニ、其ノ左舷正横後二點ニ方リ、東航スル一汽船ノ燈火ヲ發見シ、尋テ三時五十五分ニ至リ、距離漸次接近セシニ、其ノ汽船ノ後櫓ニ白紅白ノ三燈ヲ連掲セルヲ認メタリ、時ニ月東天ニ懸リ、而テ信濃丸ノ位置ハ汽船ノ東方ニ在リシヲ以テ、彼ヲ望見スルニ不利ナルヲ感シ、艦長海軍大佐成川揆ハ速力ヲ増加シ、彼ノ後方ニ迴リテ其ノ左舷ニ出テ、四時三十分之ニ近ツキテ熟視セシニ、三櫓ニ煙突ヲ有シ、露國増遣艦隊中ノ假裝巡洋艦、ゾネーブルト同型ナルヲ認識セルヲ以テ、(實際ハ敵ノ病院船アリ)尙其ノ備砲ヲ確メシカ爲メ益、接近シ、同四十分約三百米突ノ距離ニ至リ、望見セシニ、備砲ナキモノ、如クナルヲ以テ、或ハ其ノ病院船ニアラサルヤヲ疑ヒツツアルノ際、彼電氣燈ヲ(電氣燈ヲ以テテ手旗信號ニ應用シタルモノニシテ我ノ紅白兩燈ヲ用フルニ對シ)疑ヒツツアルノ際、彼電氣燈ヲ(彼ハ白燈二個ヲ使用セリ)我ヲシテ敵艦タルヲ疑ハシメタルニ與テ力アリ用ヒ信號ヲ爲スノ狀アリ、是ニ於テ成川艦長ハ其ノ我ヲ以テ味方ト誤認セルヲ想ヒ、且病院船一隻ノミ來航スルノ理ナク、必ス之ニ伴フ艦隊アルヘキヲ察シ、仔細ニ四邊ヲ監視セシモ、天未タ曙光ヲ放タス、加フルニ濛氣アリテ遠望ニ適セス、他ニ異狀ナカリシヲ以テ、將ニ其ノ汽船ニ對シ臨檢ヲ行ハントスル時、忽チ左舷約千五百米突以內ニ於テ、十數隻ノ軍艦ト尙他ニ數條ノ煤煙トヲ發見シ、且自艦ノ位置其ノ艦隊ノ列間ニ突入シ居ルヲ悟レルカ故ニ、四十五分頃直ニ轉舵

スルト同時ニ、敵艦隊ヲシキ煤煙見ユ、ト發電シ、又五十分頃ニハ、二〇三地點(北緯三十三度二十分東經百二十八度二十分)ニ敵ノ第二艦隊見ユ、ト發電シ、續テ敵ハ對州東水道ヲ通過セントスルモノ、如シ、ト發電シ、針路ヲ南微東ニ取り敵ヲ避ケツ、動靜ヲ窺ヒシニ、彼ハ約東北東ノ針路ヲ續ケシカ、五時二十分一度濃氣ノ裏ニ見失ヒ、六時五分再之ヲ發見シ、尙前航路ヲ取り居ルヲ確メ、觸接ヲ保チ進航中、一度敵ノ驅逐艦ヲ四方ニ避ケ、更ニ觸接ヲ保タント行動スル際別ニ南方ニ煤煙ヲ認メ、遂ニ針路ヲ轉シテ之ニ向ヘリ、是ヲ信濃丸ノ敵艦隊發見ト爲ス、

是ノ日哨艦ノ一タリシ和泉ハ、午前四時四十五分頃ヨリ、信濃丸ノ發電セル敵艦隊發見ノ電信ヲ感受シ、又五時三十分頃、北緯三十三度二十分、東經百二十九度五十三分ノ位置ニ於テ、敵東水道ヲ通過セントス、トノ電信ヲ感受セルヲ以テ、艦長海軍大佐石田一郎ハ、索敵ノ爲メ直ニ西北西ニ航行シ、暫クニシテ北ニ變針セシニ、六時四十五分、北緯三十三度三十分、東經百二十八度五十分(二二六)附近ニ於テ、敵艦隊先頭ノ煤煙ヲ右舷艦首ニ、後方部隊ノ煤煙ヲ左舷艦首ニ認メタルヲ以テ、彼ノ行動ヲ注視シアリシニ、幾モナク信濃丸ニ繼イテ敵ト觸接ヲ保ツノ最必要ナルヲ覺リ、敵ノ南方四五海里ニ在リテ、戰鬪開始マテ終始之ト竝航シ、時々敵ノ位置、勢力、陣形等ヲ發電シ、就中敵艦隊ハ戰艦八隻、巡洋艦九隻、海防艦三隻、及ヒ假裝巡洋艦、工作船等若干隻(實際ハ假裝巡洋艦一隻、工作船二隻、運送船三隻、雜役船二隻、病院船二隻ナリ)驅逐艦五隻(實際ハ九隻ナリ)ヨリ成ルコトヲ報告セリ、

尾崎灣方面ニ在リタル第三艦隊司令長官海軍中將片岡七郎ハ、信濃丸ヨリ敵艦隊出現ノ報ヲ受クルヤ、午前五時頃之ヲ東郷聯合艦隊司令長官ニ報告スルト同時ニ、先ツ尾崎及ヒ竹敷在泊

ノ麾下艦艇ヲシテ、急速出港準備ヲ爲サシメ、次ニ豫定ノ部署ニ就クヘキヲ命シタルヲ以テ、第六戰隊(秋津洲和泉缺)及ヒ第十、第十五艇隊ハ第三艦隊司令官海軍少將東郷正路ノ指揮ノ下ニ、同四十四分尾崎ヲ出港シ、續テ水雷母艦熊野丸ハ三浦灣ニ向ヒ、片岡第三艦隊司令長官ハ親ヲ第五戰隊、通報艦八重山、第十一、第十六、第十七、第十八、第二十艇隊ヲ率非テ六時出發シ、敵艦隊ト觸接センカ爲メ、先ツ豆敷崎附近ニ向ヒ、八時六分和泉ニハ敵艦隊ト觸接ヲ保ツヘキヲ命セリ、其ノ後續々感受スル哨艦ノ電信ニ依リ敵ノ進路ヲ測リ、神崎ノ南方ニ進航シ、九時扶桑ニ在ル第三艦隊司令官海軍少將山田彦八ニ向ヒ、第七戰隊ハ鴻島尾崎間ヲ監視シ、敵ノ主力ヲ發見スルニ努ムヘキヲ命セリ、既ニシテ片岡第三艦隊司令長官ハ、九時五十五分神崎ノ南微東七海里ニ達セシニ、漸次南方ニ敵艦隊ヲ認メタルヲ以テ、其ノ動靜ヲ確ムル迄、一時八重山ヲシテ各水雷艇隊ヲ率非テ神崎ニ避ケシメ、第五戰隊ハ十時針路ヲ北東ニ變シ、敵艦隊ヲ右舷後方一萬二三千米突ニ見テ、觸接ヲ保チツ、航行セリ、此ノ際第六戰隊ノ須磨、千代田竝ニ第十、第十五艇隊ハ既ニ來會シ、續テ秋津洲モ相合シ、尙十時十五分片岡司令長官ハ、八重山ニ水雷艇隊ヲ率非テ來會スヘキヲ命セリ、爾後敵艦隊ハ時々少シク針路ヲ變シ、爲メニ動モスレハ第五戰隊等ハ或ハ彈著距離内ニ入り、或ハ彼ヲ視界外ニ逸セントスルヲ以テ、同司令長官ハ午後零時十分、第六戰隊ヲシテ敵ノ前方ニ出テシメ、以テ益々觸接ヲ確實ニシ、時々敵ノ狀況ヲ東郷聯合艦隊司令長官ニ報告セリ、又第四警戒線附近ニ在リタル第三戰隊ハ、午前四時五十分頃ヨリ、信濃丸ノ發セル敵艦隊出現ノ電信ヲ感受シタルヲ以テ、第一艦隊司令官海軍中將出羽重遠ハ直ニ之ヲ東郷聯合艦



隊司令長官ニ報告シ、第三戰隊ヲ率非敵ト出會スルノ目的ヲ以テ南東ニ航シ、漸次速力ヲ増加シ、五時五十分敵ノ病院船一隻ヲ認メシモ、其ノ南方ニ更ニ煤煙ヲ望見シ、敵艦隊ヲ以テ尙南方ニ在ルモノト判斷シ、引續キ南下セシカ、七時ニ至リ和泉ノ報ニ依リ、敵ハ既ニ我カ北方ニ在ルヲ知リシヲ以テ、東北ニ變針シ、速力十六海里ト爲シ、ニ、十時三十分ニ至リ、神崎ノ南方約十五海里ニ方リ、濛氣ノ裏ニ艦影ヲ發見シ、之ニ接近スルノ運動ヲ取り、同四十二分ニ至リテ、稍明ニ其ノ敵艦タルヲ知ルヲ得タリ、是ニ於テ第三戰隊ハ敵ヲ右舷正横四乃至五海里ニ見テ、觸接ヲ保チツ、航行シ、十一時四十二分頃、約八千米突ノ距離ニテ暫時砲戰ヲ交ヘ、尋テ敵ノ前路ニ占位シ、時々其ノ狀況ヲ東郷聯合艦隊司令長官ニ報告セリ、

加徳水道ニ在リタル第一、(三笠ハ鎮海)第二、第四戰隊等ハ、午前五時五分頃、片岡第三艦隊司令長官ヨリ發セル敵艦隊出現ノ電報ヲ感受シタルヲ以テ、第二艦隊司令長官海軍中將上村彦之丞ハ、直ニ所在總艦艇ヲシテ出港用意總艦點火ヲ爲サシメ、尋テ敵ハ東水道ヲ通過セントスルモノ、如シ、トノ報告ニ接シタルヲ以テ、六時序列ニ從ヒ各隊ニ出港スヘキヲ命シ第一、第二(淺間ハ隔離船西京丸ニ移シアリタル將校兵員ヲ收容シ後レテ出港ス)第四戰隊、二通報艦、各驅逐隊(第四驅逐隊ハ別ニ尾崎ヨリ出港シ)第九、第十四、第十九艇隊順次拔錨シ、又鎮海灣ニ在リタル東郷聯合艦隊司令長官ハ、大本營ニ向ヒ、敵艦見ユトノ警報ニ接シ、聯合艦隊ハ直ニ出動シ之ヲ擊滅セントス、本日天氣晴朗ナレトモ浪高シ、ト打電シ、三笠ヲ率非テ出港シ、同三十四分艦隊ニ合シタルヲ以テ、總艦艇ニ對シ、序列ニ從ヒ各隊揚錨出港セヨ、通常速力十五節、ト令シ、第一戰隊ノ先頭ニ占位セリ、而テ時々刻々接受スル報告ニ

基キ、敵ノ勢力、陣形、針路等ヲ知リシヲ以テ、之ヲ沖ノ島附近ニ邀撃セント欲シ、七時十分加徳水道ヲ出ツルヤ、南四分ノ三東ニ定針シ、同二十五分南東ニ變針シ、行々豫定ノ航行序列ヲ制リ、同四十三分南兄弟島ヲ北東微東二分ノ一東三海里ニ見ルニ及ンテ、更ニ東二分ノ一南ニ變針シ、韓琦沖ニ向ヒ、八時四十一分ニハ後レテ到レル淺間ヲ合セリ、此ノ日天氣晴朗ナレトモ、海面濛氣アリテ展望五六海里ニ過キス、西南西ノ風力五乃至七ニシテ波浪高ク、爲メニ水雷艇隊ノ航海困難ナルヲ以テ、東郷聯合艦隊司令長官ハ同五十分頃、終ニ艇隊ニ向ヒ時機ヲ見テ艦隊ニ合スヘキヲ命シテ、之ヲ三浦灣ニ避ケシメ、九時三十九分對州三島燈臺ヲ南々西四分ノ一西十海里ニ見テ、南東二分ノ一南ニ變針シ、以テ沖ノ島ニ向ヘリ、而テ天候奇襲隊ノ行動(第二部第一、第二、第三章聯在ル聯合艦隊戰)ニモ亦適セスト認メタルヲ以テ、十時八分ノ解キ、淺間以下ノ特務艦艇ヲシテ固策ヲ參照スヘシ)有ノ隊ニ復歸セシメ、(淺間ハ第二戰隊ノ五番艦トナル)正午ニハ沖ノ島ノ約北微西二分ノ一西十二海里ニ達シ、漸次速力ヲ十二海里ニ減シ、午後零時二十五分ニハ、片岡第三艦隊司令長官ヨリノ報告ニ依リ、正午ニ於ル敵艦隊ノ位置ハ、壹岐國若宮島ノ北方十二海里ニシテ、其ノ針路ハ北東微東ナルヲ知リシヲ以テ、零時三十八分ニハ針路ヲ南西二分ノ一西ニ、同四十七分ニハ沖ノ島ヲ南微西二分ノ一西約九海里ニ見テ西ニ變セシニ、一時十五分南西微西ニ方リ第三戰隊ヲ、同二十八分西ニ方リ第五戰隊、續テ第六戰隊ヲ認メ、同三十一分南南西ニ變針シ、同三十九分遂ニ南西ニ方リ幽ニ敵艦隊ヲ發見スルニ至レリ、時ニ濛氣稍ヤ散シテ展望亦八九海里ニ及フ、是ニ於テ同四十分主隊タル第一、第二戰隊ハ北西微北ニ變針シ、同五十分速力ヲ十五海里ニ増加シ、東郷聯合艦隊司

令長官ハ同五十五分麾下一般ニ向ヒ、皇國ノ興廢ハ此ノ一戦ニ在リ、各員一層奮勵努力セヨ、トノ信號ヲナシ、更ニ西ニ變針セリ、時ニ敵艦隊ハ旗艦三笠ノ南西約七海里ニ在リテ、其ノ右翼列ノ先頭ニハ「ボロヂ」型ノ戰艦四隻占位シ、此ヨリ稍後レテ「オスラービヤ」、「シソイ」、ウエリキー、「ナワリシ」、「ナヒーモフ」ノ四隻左翼列ノ先頭トナリ、「ニコライ」一世及ヒ海防艦三隻ヨリ成ル一隊ハ左翼列ニ續キ、「ジエムチウグ」、「イズムルード」ノ二艦ハ前方ヲ警戒シ、尙後方濠氣ノ内ニハ「オレーグ」、「アウローフ」以下二三等巡洋艦ノ一隊、「ドンスコイ」、「モノマーフ」其ノ他運送船隊等數海里ニ互リテ續航スルヲ認メタリ、(此ノ日敵艦隊ノ彩レル灰黄色ノ煙突ハ我ニ至大ノ利益ヲ與ヘサル距離ニ於テモ煙突ノミハ已ニ明ニ之ヲ認ムルコトヲ得爲メニ敵ノ艦種陣形) (本章第十一節露國) 尋テ東郷聯合ヲ認知シ得タルノミナラス戰闘ニ際シテハ我カ照準ニ多大ノ利便ヲ與ヘタリ (艦隊ノ戰況參照) 艦隊司令長官ハ、二時二分南西微南ニ變針シ、先ツ敵ニ對シ反航通過スルカ如ク裝ヒ、同五分ニ至リ急ニ東北東ニ變針シ、以テ今ヤ南微東ニ方リ、八千米突ヲ距テ、約北東微北ニ航進シツ、アル敵ノ先頭ヲ斜ニ壓迫シ、第二戰隊モ亦第一戰隊ニ續航シ、而テ第三、第四、第五、第六ノ四戰隊ハ豫定戰作ニ準シ、敵ノ後尾ヲ衝カンカ爲メ何レモ南下セリ、已ニシテ我カ旗艦三笠ノ回頭ヲ了リ新針路ニ就クヤ、同八分敵先ツ砲戰ヲ開始セシモ、我ハ尙未タ之ニ應セス、同十分射距離六千米突内外ト爲ルニ及ヒ、始テ砲火ヲ開キ、敵ノ左右兩列ノ先頭艦(「スウオーロフ」及「ヒ、オスラービヤ」)ヲ猛射セリ、是ヨリ先キ敵ノ右翼列ハ前進シ、左翼ヲ併セテ單縱陣ヲ制ラントスルモノ、如クナリシカ、今ヤ兩列トモ漸次東方ニ變針シ、不規則ナル單縱陣ノ形ヲ爲シテ我ト竝航ノ姿勢ヲ執リ、我ハ時時少シク針路ヲ變シ、驅逐隊ハ位置ヲ敵ノ彈著距離以外ニ執リテ適宜ニ運動シ、第一、第三戰隊

ハ愈々彼ヲ擊壓シ、第五番ニ位セル「オスラービヤ」ノ如キハ、幾モナクシテ大火災ヲ起シ、爆煙全艦ヲ覆ヒ、照準スル能ハサルニ至レリ、尋テ彼我ノ距離ハ遂ニ五千米突以内ニ接近シ、我カ砲火愈々猛烈ヲ極メ、先頭ニ立テル「スウオーロフ」之ニ續ケル「アレクサンドル」三世ハ火災ヲ起シ、其ノ他ノ諸艦モ亦概ネ火災ニ罹リ、其ノ騰煙ハ濛氣ト相混シテ海面ヲ蔽ヒ、時々射撃ヲ中止スルノ情況ヲ呈セリ、此ノ時ニ當リ我カ諸艦モ亦多少ノ損害ヲ被リ、就中第二戰隊ノ淺間ノ如キハ、敵彈ノ爲メ舵機ヲ損シテ列外ニ出テタリ、然レトモ未タ幾何ナラスシテ修理ヲ了リ、第二戰隊ニ追及セントシツ、單獨交戦セリ、(同艦ハ午後五時五分頃ニ至リ第二戰隊ニ合セリ)

斯ノ如ク我カ主隊ハ敵ヲ擊破シツ、遂ニ敵ノ前路ニ出テ約南東ニ航進セシカ、敵ハ俄ニ針路ヲ北方ニ變シ、距離接近シタルヲ以テ、敵ノ水雷發射ヲ避ケ、且其ノ或ハ我カ後尾ヲ廻リテ北走セントスルニアラサルヤヲ虞リ、同五十七分頃第一戰隊ハ左八點ノ一齊回頭ヲ爲シ、三時三分再之ヲ行ヒ、以テ日進ヲ嚮導トセル逆列單縱陣ヲ制リ、針路ヲ西北西ニ定メタリ、而テ第二戰隊モ亦一旦第一戰隊ニ倣ハントセシカ、敵ノ諸艦再右方ニ轉回セントスルノ狀アルヲ認メタルヲ以テ、其ノ先頭ヲ壓スルニ若カスト爲シ、第一戰隊ト分レ速力ヲ増加シツ、依然直進セリ、時ニ敵ノ旗艦「スウオーロフ」ハ大損害ヲ蒙リテ列外ニ出テ、其ノ他ノ二三艦モ亦之ト運命ヲ同シウシ、「オスラービヤ」ハ同七分頃終ニ沈没シ、敵ノ混亂愈々甚シク、諸艦再右方ニ回頭セシカ、其ノ南方ヨリ漸次西方ニ旋轉セントセルヲ察知シタル第二戰隊ハ、同八分左十六點ノ正面變換ヲ行ヒ、左舷砲ヲ以テ敵ヲ撃チツ、漸次西方ニ航シ、尋テ第五驅逐隊ハ第二戰隊ノ前方ヨリ、竊進シ

テ孤立セル「スウオーロフ」ヲ襲撃シ、千早モ亦之ニ近ツキ水雷ヲ放テリ、是ヨリ先キ逆列單縱陣ヲ以テ西北西ニ進航セル第一戰隊ハ、左舷砲ヲ以テ敵ヲ猛撃セシニ、敵ハ再左方ニ回頭シ、彼我ノ距離漸次相遠サカリタルヲ以テ、三時三十分（霧導艦日進ノ回頭時）左四點ノ正面變換ヲ行ヒ、續テ同四十二分左八點ノ一齊回頭ヲ爲シ、同四十九分順列單縱陣ニ復シテ北東ニ進航シ、以テ其ノ約東微南ニ方リテ北方ニ向首セル敵ヲ壓迫シ、第二戰隊モ亦右方ニ反轉シテ第一戰隊ノ前方ニ位置シ、敗敵ヲ掩撃シテ彼我相共ニ約北東方ニ航シ、我ハ漸次敵ノ北方ニ出テシヲ以テ、敵ハ同方向ニ逸走スルノ不可能ナルヲ覺リシモノ、如ク、四時三十分頃ヨリ漸次右方ニ回頭シテ南方ニ遁レントス、是ニ於テ第二戰隊ハ漸次右方ニ回頭シテ南方ニ航シ、第一戰隊モ亦漸次南方ニ變針シ、第二戰隊ハ右方ニ一旋轉シ、以テ五時頃ヨリ第一戰隊ノ前方近距離ニ位置シテ相共ニ南下シ、更ニ第四驅逐隊ハ孤立セル「スウオーロフ」ヲ襲撃セリ、尋テ偶敵影ヲ煙霧ノ裡ニ失シタルヲ以テ、第一第二戰隊ハ行々其ノ巡洋艦運送船等ノ彷徨隱見セルモノヲ緩射シ、同二十七分頃ヨリ、第一戰隊ハ再北方ニ反轉シテ敵ノ主力ヲ索メ、第二戰隊ハ砲聲ニ依リ、第三戰隊以下ノ敵巡洋艦隊ト交戦セルヲ察知シ、南西方ニ折レテ敵艦隊ニ迫リ、爾後日没ニ至ルマテ、此ノ兩戰隊ハ相分離シテ各別ノ行動ヲ執レリ、北方ニ變針セル第一戰隊ハ約北北西ニ航シ、左舷砲ヲ以テ時々隱見スル敵ヲ砲撃シ、五時五十分頃ニハ、左方近距離ニ在ル假裝巡洋艦「ウラール」ヲ撃沈シ、尙北方索敵中、左舷艦首ニ敵主力ノ殘艦ト思ハル、モノ、數隻一群ト爲リテ北東方ニ遁走シ、アルヲ發見シ、直ニ之ニ近ツキテ竝航戦ヲ開始シ之ヲ擊壓セシニ、敵ハ漸次左方ニ旋リテ

北西方ニ逃レ、我モ亦之ニ應シテ同方向ニ進ミ、遂ニ其ノ前方ニ出テ益々猛撃ヲ加ヘ、之カ爲メ「アレクサンドル」三世ハ列外ニ逸シテ後方ニ落伍シ、先頭ニ占位セル「ボロヂノ」（露國參謀將校ノ記  
際ノ敵艦ハ「ボロヂノ」「アリヨール」「ニコライ」一世「アブラクシン」「セニヤウウ井ン」「ウ  
レヤークフ」「ナワリン」「シツイ、ウエーリキー」「ナヒーモフ」ノ順序ニテ航行セリト云フ）ハ大火災ニ罹リ、七時二十三分俄然沈没セリ、此ノ時夕陽將ニ落チントシ、我カ驅逐隊、水雷艇隊ハ既ニ諸方面ヨリ敵ニ迫リ居ルヲ以テ、第一戰隊ハ漸次敵ニ對スル壓迫ヲ弛メ、同二十八分（日没）東郷聯合艦隊司令長官ハ、通報艦龍田ヲシテ、全軍ニ北航シテ翌朝鬱陵島ニ集合スヘキヲ電令セシメ、第一戰隊ハ戦鬪ヲ止メ東方ニ變針セリ、又第二戰隊ハ第一戰隊ト分レ、西方ニ航シテ敵ノ巡洋艦隊ニ迫リシニ、敵ハ全ク混亂ノ狀ニ陥リ、或ハ北西方ニ、或ハ西方ニ、或ハ南西方ニ、先ヲ争ヒテ逃走セルヲ以テ、第二戰隊ハ南西方ニ逃レントスル一部ノ敵ヲ追撃セシモ、遂ニ及ハス、且日没ニ近ツキタルヲ以テ、遠ク第一戰隊ニ離レ居ルヲ不利ナリト爲シ、六時頃敵ノ主力及ヒ第一戰隊ノ所在地ト思ハル、方ニ向ヒテ北航セシニ、同三十分遙ニ左舷艦首ニ方リ敵艦隊ノ主力ヲ發見シ、尋テ之ヲ砲撃シ、（此ノ際前方ニ當リ濃氣ヲ透シテ第  
二戰隊ノ砲火ヲ認メタリト云フ）同七時「アレクサンドル」三世ノ右舷ニ傾キ沈没スルヲ認メ、日没ト共ニ砲撃ヲ止メ、同五十五分速力ヲ十五海里ニ減シ、八時八分第一戰隊ニ合セリ、是ヲ主隊ノ戦鬪概要トナス、

是ヨリ先キ午後二時八分、彼我主隊ノ戦鬪ヲ開始スルニ當リ、我カ主隊ト分離シテ反航南下セル第三、第四、第五、第六ノ四戰隊ハ、敵ノ後尾ニ占位セル運送船隊、及ヒ「オレーグ」「アウローラ」「スウエトラーナ」「アルマーズ」「ドンスコイ」「モノマーフ」等ノ巡洋艦ヲ攻撃セントシ、第三、第四

戰隊ハ相共ニ同四十五分ヨリ、先ツ敵ノ巡洋艦隊ニ對シテ反航戰ヲ開始シ、漸次敵ノ後尾ヲ旋撃シツ、其ノ右方ニ出テ、更ニ竝航戰ニ移リ、爾後優速ヲ利用シ、機宜正面ヲ變シテ敵ノ左右ニ出沒シ、攻撃ヲ繼續セシニ、敵ノ後方部隊ハ漸ク亂レ、四時頃ニハ全ク潰亂シテ個々分裂セルノ状態ニ陥レリ、而テ同二十分頃第四戰隊ハ孤立セル一運送船(或ハ雜役船)ヲ撃沈シ、他ノ一隻(イルツイシ)ニ大傷ヲ與ヘタリ、(國濱田沖ニ於テ沈没セリ)又此ノ際ニ至ルマテニ會合スル能ハサ(ナルカ如シ)リ第五、第六戰隊モ相次テ來會シ、(第六戰隊ハ來會前敵ノ病院船ニ變ヲ發見シ)愈々敵ヲ掩撃セシニ、同四十分頃我カ主隊ニ擊壓セラレタル敵ノ戰艦若クハ海防艦ト思ハル、モノ四隻、南下シ來リテ其ノ巡洋艦ニ合シタルヲ以テ、第四、第六戰隊ノ如キハ、少時間近距離ニ於テ之ト對戰スルノ苦境ニ陥リ、第四戰隊ノ浪速ノ如キハ、此ノ前後ニ當リ後部水線ニ敵彈ヲ蒙リ、爲メニ五時十分頃同戰隊ハ一時避戰シテ、其ノ損所ノ應急修理ヲ爲スニ至レリ、又第三戰隊ノ旗艦笠置ハ三時八分頃、其ノ左舷炭庫水線下ニ一彈ヲ蒙リ、爾後浸水漸ク増加シタルヲ以テ、出羽司令官ハ已ムヲ得ス其ノ麾下新高、音羽ノ二艦ヲシテ一時第四戰隊ニ屬セシメ、自ラ笠置、千歳ヲ率非テ午後六時油谷灣ニ赴ケリ、而テ五時三十分頃、我カ第二戰隊北方ヨリ到リ、敵ノ巡洋艦ヲ追撃セシヲ以テ、敵益々亂レ、其ノ大部ハ北方ニ遁走シ、第四、第五、第六戰隊モ共ニ之ヲ追撃シ、其ノ途中既ニ進退ノ自由ヲ失セル「スウォーロフ」及ヒ工作船「カムチャヤーツカ」ヲ發見シ、第四戰隊ハ暫ク之ヲ砲撃シツ、北進ヲ續ケ、第五、第六戰隊ハ其ノ撃滅ニ轉シ、七時十分「カムチャヤーツカ」ヲ撃沈シ、尋テ第五戰隊ニ隨伴セル第十一艇隊ハ「スウォーロフ」ヲ襲撃シ、同二十分遂ニ之ヲ沈没セ

シメタリ、既ニシテ此等ノ諸戰隊ハ鬱陵島集合ノ電令ニ接シ、何レモ戰ヲ止メテ北方ニ向針セリ、是ヲ第三、第四、第五、第六戰隊ノ戰團概要ト爲ス、而テ夜半ニ至リ東郷聯合艦隊司令長官ハ、大本營ニ向ヒ左ノ如ク打電セリ、

聯合艦隊ハ本日沖ノ島附近ニテ敵艦隊ヲ要撃シ大ニ之ヲ破リ敵艦少クモ四隻(編者曰ク實際ハ洋艦一隻工作船一隻雜役船一隻ヲ撃沈シ病院船二隻ヲ拿捕セリ)ヲ撃沈シ其ノ他ニハ多大ノ損害ヲ與ヘタリ我カ艦隊ニハ損害少シ驅逐隊水雷艇隊ハ日没ヨリ襲撃ヲ決行セリ

又同時ニ鴻島、竹敷間ノ警戒ニ任セル山田第三艦隊司令官ニハ、第七戰隊ハ明日早朝本日ノ戰場ニ到リ敵ヲ殲滅スヘシトノ電報ヲ發セリ、以上ハ二十七日ニ於ル海戰ノ概要ナリ、尙各隊ニ分チテ之ヲ左ニ詳記ス、

第二節 第一戰隊ノ戰況  
第一目 第一次戰團

五月二十七日東郷聯合艦隊司令長官ノ直率セル三笠(司令長官旗艦)、敷島、富士、朝日、春日、日進(三須第一艦隊司令官旗艦)ハ第二戰隊ヲ後續隊ト爲シテ單縱陣ヲ制リ、通報艦龍田ヲ三笠ノ左側ニ置キテ進行セシニ、午後一時三十九分沖ノ島ノ北西約十海里ノ位置ニ於テ、南西ニ方リ北東微北ノ航路ヲ取リテ航進セル敵艦隊ヲ、濃氣ノ裡ニ發見セシヲ以テ、一時四十分北西微北ニ變針シ、漸次速力ヲ増加シテ十五海里ト爲シ、一時五十四分西ニ變針シ、同五十七分ニハ南微西ニ方リ、約五六海里ヲ距テ、敵艦隊ノ主力二列ト爲リテ先頭ニ進ミ、他隊ノ之ニ續航スルヲ認メタリ、尋テ二時通報



艦龍田ハ命ヲ受ケテ隊後ニ就キ、三笠以下ノ諸艦ハ同二分逐次ニ南西微南ニ變針シ、敵ト反航スルノ姿勢ヲ執リテ進ムコト約三分時ニシテ、敵ヲ南微東約八千米突ニ望ムニ至リ、急ニ左舷ニ回頭シ、二時七分針路ヲ東北東ニ定メ、以テ敵ノ先頭ヲ壓セントス、時ニ敵ノ右翼列ハ其ノ左翼列ヨリモ稍前方ニ進出シ、恰モ單縱陣ヲ制ラントスルカ如キ形勢ナリシカ、同八分二番艦敷島ノ將ニ回頭ヲ終リテ新針路ニ就カントスルノ際、距離七千米突ニテ旗艦「スウォーロフ」先ツ砲火ヲ開キテ戰ヲ挑ミ(或記事ニヨレハ「オスラー」ニヤ先ツ發砲セリト云フ)尋テ敵ノ全砲火ハ忽チ我カ先頭ノ兩艦ニ集中シ、巨彈雨ノ如ク艦ノ周圍ニ落下セリ、然レトモ我カ諸艦ハ尙暫時敵ノ砲撃ヲ忍ヒテ距離ノ短縮スルヲ待チ、同十分旗艦三笠ハ敵右翼列ノ嚮導艦「スウォーロフ」ノ距離六千四百米突ナルヲ測知スルニ及ヒ、始テ六尹砲ノ試射ヲ行ヒ、同十一分右舷砲臺ノ竝射撃ヲ開始シ、後續諸艦モ亦新針路ニ就クニ從ヒ、逐次砲火ヲ開ケリ、此ノ日西南西ノ風強ク、澎湃タル怒濤艦ヲ動搖セシメ、中甲板風上側ノ砲門ハ、屢波ヲ掬ヒテ照準稍困難ヲ感セリ、二時十二分彼我嚮導艦ノ距離五千五百米突ニ接近セシニ、敵ハ漸次針路ヲ右折シテ略我ト竝航シ、且其ノ左翼列ハ右翼列ノ後尾ニ入りテ、不規則ナル單縱陣ヲ制ルニ至レリ、此ノ時距離五千八百米突ニ遠ツカリ、尙漸次遠隔セントスルヲ以テ、同十五分第一戰隊ハ約東微南ニ轉針シ、以テ距離ノ短縮ヲ試ミルト同時ニ、敵ノ前面ヲ壓セントセシカ、時ニ第一戰隊ノ殿艦日進モ亦正ニ戰線ニ入り、戰況漸ク酣ニシテ、爆煙ハ煤煙ト相混シテ西南ノ強風ニ靡キ、激浪ノ飛沫ト落彈ノ騰潮トハ屢上艦橋ヲ襲ヘリ、同十八分距離五千四百米突ニ近ツキタルヲ以テ、第一戰隊ハ再針路ヲ約東北東之北ニ變シテ敵ト竝航

シ、尋テ四千六百米突ニ及ヒテ急射撃ニ移リ、十二斤砲ヲモ發射セリ、此ノ時ニ當リ、第二戰隊モ亦第一戰隊ニ續航シテ逐次戰鬪ニ加ハリ、砲戰愈々激烈ヲ極メ、彼我ノ砲彈或ハ水面ニ裂ケ、或ハ舷側ニ碎ケ、黒褐ナル硝煙ハ漠ヤトシテ海ヲ掩ヒ、閃々タル紫電ハ其ノ間ニ進リ、股々タル砲聲ハ怒濤ニ和シテ光景轉々、慘澹タリ、我カ第一戰隊ハ常ニ三番、四番艦ヲ以テ、敵ノ先頭ト相對スル如キ位置ヲ採リ、主トシテ敵兩列ノ旗艦タル「スウォーロフ」及ヒ「オスラー」ニ集彈シ、且餘砲ヲ以テ恰好ノ敵ヲ狙撃セシニ、我カ彈著ハ極テ良好ニシテ、敵艦ニ命中炸裂スルモノ頻ニ相踵キ、敵ハ屢火災ヲ起シテ漸ク苦戰ノ狀ヲ現シ、殊ニ前記二艦ノ如キハ、時々爆煙ノ爲メ其ノ艦影ヲ沒スルニ至レリ、而テ此ノ前後ニ於ル敵ノ射撃モ亦巧ニシテ、旗艦三笠ノ如キハ、敵彈叢集シテ既ニ六尹以上ノ砲彈十餘個ヲ受ケ、其ノ他ノ諸艦モ亦多少ノ被彈アリタリ、二時二十四分第一戰隊ハ、約一點右舷ニ變針シテ東微北之北ニ向ヒ、同三十五分更ニ正東ニ變針シ、益々敵ノ先頭ヲ壓セシニ、敵ハ我カ猛撃ニ堪ヘサルモノ、如ク、同三十五分頃約東微北ニ變針シ、尋テ又東之南ニ折レ、頻ニ我カ壓迫ヲ免レントス、是ニ於テ第一戰隊ハ五千乃至六千米突ノ距離ヲ保チ、常ニ敵ノ前面ヲ遮抑シツ、砲撃ヲ繼續セシニ、我カ射撃ハ益々正確ト爲リ、命中彈ノ爆煙海ヲ掩ヒテ敵ノ艦影ヲ隱翳シ、僅ニ檣頭ニ翻ル戰鬪旗ヲ認メ得ルニ過キス、爲メニ二時四十分頃ニハ、一時發砲ヲ中止スルノ已ムヲ得サルニ至レリ、既ニシテ第一戰隊ハ同四十三分ニハ東南東ニ、四十七分ニハ南東之東ニ變針シ、全ク敵ノ前方ニ出テ、敵列ニ對シテ略丁字形ヲ畫キ、第二戰隊ト共ニ益々猛烈ナル縱射ヲ加ヘシニ、敵艦多クハ火災ヲ起シ陣形漸ク混亂セン



トス、就中「クニヤージ、スウオーロフ」及ヒ「オスラーピヤ」ハ、我カ諸艦ノ集弾ヲ被リテ損害最甚シク、或ハ櫓ヲ折ラレ、或ハ煙突ヲ碎カレ、猛煙全艦ヲ蔽ウテ殆ト其ノ影ヲ認ムル能ハス、殊ニ「オスラーピヤ」ハ、艦首著シク沈下シ、且左舷ニ傾斜シ、二時五十分頃遂ニ右舷ニ回頭シテ列外ニ逸走シ、「スウオーロフ」モ亦之ト相前後シテ列ノ右方ニ脱出セリ、是ニ於テ二時五十分過キ、敵艦隊ハ二番艦ヲ嚮導トシ、俄ニ左舷ニ回頭シテ北方ニ向ヒ、我カ艦隊ノ中腹ニ對シテ蔭進シ來ルノ狀アリシヲ以テ、其ノ目的或ハ我カ列後ヲ回り、北方ニ逃走セントスルニアラサルヤヲ慮リ、第一戰隊ハ更ニ其ノ前路ヲ扼センカ爲メ、同五十八分左八點ノ一齊回頭ヲ爲シ、北東ニ變針セリ、然ルニ第二戰隊ハ尙前針路ヲ保チテ、第一戰隊ノ列後ニ進ミ來リ、射線ヲ遮リタルヲ以テ、第一戰隊ハ發砲ヲ中止シ、三時五分再左八點ノ回頭ヲ行ヒ、日進ヲ先頭トセル逆番號單縱陣ヲ作り、以テ敵ノ前面ヲ壓セントセリ、

## 第二目 第二次戰闘

第一次戰闘ハ、午後二時八分敵艦隊ノ先ツ砲火ヲ開キシニ始リ、三時第一戰隊ノ針路ヲ反轉スルニ終ル、此ノ間約五十分時ニシテ、即チ彼我艦隊主力ノ對抗戰ナリ、敵ハ此ノ一戰ニ因リテ甚大ノ損害ヲ被リ、戰艦「オスラーピヤ」先ツ列外ニ逸シ、尋テ沈没シ（第一戰隊ノ各艦ハ之ヲ知ラス）旗艦「スウオーロフ」モ亦三時頃、遂ニ其ノ位置ヲ脱シテ列後ニ落ち、其ノ他ノ各艦均シク大傷ヲ被ラサルナク、勝敗ノ機既ニ此ノ時ニ定レリ、乃チ第二次戰闘ヲ記スルコト左ノ如シ、  
曩ニ左方十六點ノ一齊回頭ヲ行ヒタル我カ第一戰隊ハ、日進ヲ嚮導トシテ約西北西ニ定針シ、

三時七分混亂セル敵艦隊ニ對シテ、更ニ左舷側戰闘ヲ開始シ、三千乃至五千米突ノ距離ヲ測リテ、再敵ノ諸艦ニ向ヒ猛烈ナル砲火ヲ注ギシカハ、敵ノ陣列益々混亂シ、殆ト其ノ隊形ヲ成サ、ルニ至レリ、而テ我カ第一戰隊ノ各艦ハ多少ノ被弾アリシト雖モ、何レモ損害大ナラス、常ニ整然タル陣形ヲ保持シ、同三十分頃孤立彷徨セル「スウオーロフ」ニ對シ、二千乃至三千米突ノ射距離ヲ以テ猛撃ヲ加ヘ、且魚形水雷ヲ發射シ、三時二十四分頃ニハ、全ク敵列ヲ航過シテ之ヲ左舷後方ニ望ムニ至レリ、然ルニ敵ハ此ノ時俄ニ針路ヲ反轉シタルモノ、如ク、彼我ノ距離急激ニ開大シ、遂ニ之ヲ煙霧ノ裏ニ失スルニ至リタルヲ以テ、第一戰隊ハ射撃ヲ中止シ、三時三十二分嚮導艦日進ハ旗艦ノ命ニ依リ、左四點ニ針路ヲ變シ、同四十二分及ヒ四十九分、二回ノ左八點一齊回頭ニ依リテ順番號ニ復シ、三笠ヲ先頭トシ、敵ヲ追ヒテ北東方ニ向進セリ、是ヨリ先キ北方ニ轉針シタル敵艦隊ハ、我カ第一戰隊ノ爲メニ制先セラレ、再其ノ先頭ヲ壓セラレントスルヲ見ルヤ、三時過更ニ右轉シテ南方ニ變針シ、陣形益々混亂スルヲ認メシカ、此ノ時濛氣俄ニ濃密ト爲リ、爾後午後四時頃迄ニ於ル其ノ陣形竝ニ行動ハ、全然不明ナリキ、

已ニシテ三時五十五分頃ニ至リ、第一戰隊ハ東微南約七千米突ニ方リ、敵ノ主戰艦隊ノ北方ニ遁走セルヲ發見シ、嚮導艦三笠ハ之ニ對シ、四時一分距離六千五百米突ヲ測リテ、再右舷側戰闘ヲ開始シ、自餘ノ諸艦モ逐次砲火ヲ開キ、同四分北東ニ變針シ、同十五分更ニ東北東ニ變針シテ、敵ト接近ヲ圖レリ、時ニ第二戰隊ハ第一戰隊ノ左前方ニ先航シ、相共ニ敵ノ主戰艦隊ヲ掩撃セシニ、敵砲火ノ次第二衰フルト共ニ、我カ射撃ノ效果ハ益々發揮シ、敵ハ遂ニ其ノ陣形ヲ保持スル

コト能ハス、殆ト四分五裂ノ状態ニ陥レルモノ、如ク、就中戦艦「スウオーロフ」ハ曩ニ大損害ヲ被リ、運轉ノ自由ヲ失シテ隊列ヲ脱シタル以來、不定ノ蛇行的針路ヲ以テ單獨北方ニ遁走セシニ、此ノ時更ニ我カ諸艦ノ集中砲火ヲ蒙リ、煙突、艦橋、檣等上甲板以上ノ諸構造物ハ殆ト全部破壊セラレ、甲板ニハ猛煙漲リ、砲門ヨリハ火燄ヲ噴キ、其ノ慘澹タル光景宛然岩島ノ噴煙ニ似タリ、斯テ敵艦隊ハ漸次右舷ニ壓下セラレ、第一戦隊モ亦次第ニ針路ヲ右折シテ之ニ迫リ、四時二十四分ニハ約東方ニ向ヒシカ、敵ハ益々右舷ニ回頭シ、遂ニ南方ニ向ヒタルヲ以テ、或ハ再我カ後尾ヲ迂回シテ、北方ニ遁レントスルニアラサルカヲ慮リ、其ノ前路ヲ扼センカ爲メ、同三十分五分右八點一齊回頭ヲ行ヒ、以テ敵ノ運動ヲ制先セントセリ、然ルニ敵ハ一意南方ニ航下シ、北航ヲ斷念シタルカ如キ狀アルヲ以テ、第一戦隊ハ直ニ之ヲ追躡セント欲シ、單縦陣ニ復センカ爲メ、右八點一齊回頭ノ信號ヲ掲ケタルモ、各艦ノ受信ニ時ヲ要シ、四時四十三分漸ク回頭ヲ行ヒ、同時ニ驅逐隊ニ向ヒ敵艦襲撃ヲ命セリ、時ニ敵艦隊ハ全ク煙霧ノ裏ニ没シ、其ノ所在明ナラサルヲ以テ、第一戦隊ハ四時五十一分更ニ南方ニ變針シ、第二戦隊ヲシテ嚮導セシメ、敵ノ主力ヲ追索セシニ、五時零分西南ニ方リ、「ボロジ」ノ型戦艦二隻ノ反航セルヲ發見シ、六千六百米突ヲ測リテ之ト砲火ヲ交ヘ、又西南方約五千米突ニ、敵巡洋艦隊ノ一部ヲ發見シテ、之ヲ砲撃シツ敵ノ主力ヲ索メテ尙南方ニ航下セリ、

### 第三目 第三次戦闘

第一戦隊ハ第二戦隊ヲ前續隊トシテ、敵ノ巡洋艦等ヲ砲撃シツ、南方ニ向ヒ、敵ノ主力艦隊ヲ

追跡スルコト約三十分ニ及ヒシモ、煙霧深クシテ之ヲ發見スルコト能ハス、因テ第一戦隊ハ敵ノ猶北方ニ在ルヘキヲ推斷シ、五時二十八分第二戦隊ト分離シテ北北西ニ變針シ、以テ敵ノ北走ヲ扼セント圖リシニ、遇左舷ニ方リ、敵假裝巡洋艦「ウラール」ノ進退自由ヲ失シテ單獨漂航セルヲ認メ、之ニ對シテ猛火ヲ注キ、同三十五分少シク左折シテ北之西ニ變針シ、同艦ヲ左舷正横約二千米突ノ近距離ニ航過シツ、魚形水雷ヲ放チ、且四十七密砲ヲモ發射シテ遂ニ之ヲ撃沈セリ、尋テ同四十二分北北西ニ復針シ、更ニ運轉ノ自由ヲ失セル敵ノ工作艦「カムチャーツカ」ニ砲火ヲ移シ、多大ノ損害ヲ與ヘ、五時五十二分敵ノ主力ニ近ツカン爲メ西北西ニ變針セシニ、遇敵驅逐艦ノ突進シ來ルカ如キ狀アルヲ以テ一旦北東ニ變針シツ、之ヲ撃退シ、尋テ西北西ニ方リ、敵艦隊ノ北走セルヲ發見シ、六千三百米突ノ距離ヨリ之ト砲戰ヲ再開シ、六時零分再北北西ニ變針セリ、是ヨリ先キ第二次戦闘ノ終ニ於テ、南折シタル敵ノ主力艦隊ハ、全ク潰亂ノ状態ニ陥リシカ、遇我カ第三戦隊以下ト戦ヒ破レタル巡洋艦隊ノ一部ト合シテ一團トナリ、我カ主戦艦隊ノ視界ヲ脱シタルニ乘シ、再隊伍ヲ整ヘ血路ヲ北方ニ求メタルモノ、如ク、午後六時頃戦闘再開ノ時ニ於ル敵ノ隊形ハ、「ボロヂ」ノ型戦艦二隻（「アリヨール」）ヲ先頭トシ、稍後レテ「ニコライ」一世、「セニヤール」非ン、「アブラクシン」ノアレクサンドル三世、「ウシヤール」コフ「之ニ次キ、ナワリン」、「シソイ」、「ウエリーキー」、「ナヒーモフ」等ノ諸艦不規則ニ其ノ左後方ニ配列シ、尙「オレトグ」、「アウローラ」、「ジエムチウダ」ト思ハル、三隻ノ巡洋艦ハ、迥ニ戦艦ノ左舷前方ニ位置セルヲ見タリ、

因テ第一戰隊ハ專ラ敵ノ先頭ニ戰艦ヲ目標トシテ戰鬪ヲ續ケ、六時十二分ニハ距離六千米突内外ニ近ツキシモ、時ニ夕暉波ニ輝キ、彈著不明ノモノ多キヲ以テ射撃速度ヲ緩メ、爾後漸次接近シテ六時二十五分、敵ハ三笠ノ正横稍前方約五百米突ニ位置シ、隊形較、整ヒテ我ニ對シ良好ナル射撃ヲ行ヒ、戰鬪再猛烈ト爲レリ、乃チ我カ諸艦ハ砲火ヲ先ツ敵ノ一番艦ニ集中セシニ、命中適良ニシテ爆煙全ク敵ノ艦影ヲ没シ、照準困難ナルニ至レリ、而テ敵ノ二番艦(アリヨイ、ルナリキト云)ハ尙能ク健戰シ、彈丸我カ艦側ニ集落シ、奔潮ノ艦橋ヲ濕スコト屢ナルヲ以テ、射撃目標ヲ此ノ艦ニ移セリ、敵ハ始メ北方ノ針路ヲ執リシモ、我カ砲撃ヲ受クルヤ、漸次北西方ニ屈折シテ距離再隔遠シ、七時四十二分ニハ約六千六百米突ヲ測リシヲ以テ、第一戰隊ハ同四十五分、敵ニ向ヒ左折シテ北西ニ變針セシモ、敵ハ益々左方ニ轉シ容易ニ近接スヘカラス、因テ專ラ主砲ノミヲ以テ、交々敵ノ兩戰艦ニ對シ緩射撃ヲ繼續セシニ、我カ彈著ハ依然良好ニシテ、敵ノ一番艦ハ其ノ大櫓ヲ摧斷セラレ、後部ニ大火災ヲ起シ、其ノ火焰ハ櫓樓ノ高サニ及ヒ、光景悽愴ヲ極メタリ、已ニシテ敵艦隊ノ距離益々遠サカリ、且日モ亦將ニ暮レントスルヲ以テ、七時十分三笠先ツ發砲ヲ中止シ、後續諸艦モ逐次砲撃ヲ止メ、七時二十分敵艦隊ト分レテ正北ニ變針セシカ、同三十分頃敵ノ先頭艦ハ、恰モ彈藥庫ノ爆發シタルカ如ク、忽焉トシテ轉覆沈没セリ、時ニ夕陽已ニ没シ、暮色蒼然トシテ海上漸ク暗ク、風ハ稍衰ヘシモ長濤ハ未タ收ラス、我カ驅逐隊、艇隊ハ今ヤ東南北ノ三面ヨリ、高波ヲ蹴リテ敗殘ノ敵艦隊ニ迫ラントスルヲ見タリ、尋テ午後八時十分頃第二戰隊ト合シ、豫定ノ夜間配備ニ移リ、翌朝ニ於ル集合地點タル鬱陵島ニ向ヘリ、

#### 第四目 各艦ノ戰況

##### 第一款 一番艦三笠

三笠ハ東郷聯合艦隊司令長官ノ旗艦トシテ、第一戰隊ノ先頭ニ占位シ、午後二時十分距離六千四百米突ヲ測ルニ及ヒ、敵ノ戰鬪艦クニヤージ、スウオーロフニ對シ、始テ砲火ヲ開キタリ、時ニ我カ艦隊ハ新針路ニ向ヒ、約十四點ノ正面變換中ナリシヲ以テ、敵艦隊ノ全砲火ハ已ニ回頭ヲ終リタル先頭ノ諸艦ニ集中シ、就中三笠ハ最猛烈ナル集射ヲ被リ、忽チ數個ノ敵彈ヲ受ケタリ、然レトモ我カ彈著モ亦次第ニ良好ト爲リ、巨彈敵艦ニ命中シテ、濛々タル爆煙ノ奔騰スルモノ數フルニ違アラズ、同十八分ニハ距離五千四百米突ト爲リ、同二十分ニハ更ニ四千六百米突ニ近ツキテ急射撃ニ移リ、此ノ時ニ至ルマテ防禦部内ニ避ケシメタル十二斤砲員ヲモ、亦配員シテ發砲セシメシニ、敵ノ一番艦ハ遂ニ火災ヲ起シ、熾ニ煙焰ヲ噴騰セリ、尋テ距離漸ク開大セシヲ以テ、同二十八分竝射撃ニ復シ、益々正確ナル射撃ヲ行ヒシニ、每彈殆ト虛發ナク、爆煙濛々トシテ敵艦ヲ包ミ、照準困難ナルニ至リタルヲ以テ、同四十一分已ムヲ得ス少時發砲ヲ中止セリ、已ニシテ敵艦隊ノ前方ニ進出シ、更ニ猛烈ナル縱貫射撃ヲ加ヘシニ、敵ハ俄然針路ヲ北方ニ轉シ、我カ後尾ヲ過キテ北走セントスルノ狀アルヲ以テ、三笠以下ノ諸艦モ亦左方ニ回轉シテ、敵ノ前路ヲ扼セントシ、以テ第一次戰鬪ヲ終レリ、時ニ敵先頭ノ諸艦ハ火災ヲ起シ、陣形頗ル混亂ノ狀ヲ呈セシモ、尙克ク奮戰ヲ繼續シタルカ爲メ、三笠ハ此ノ一戰ニ於テ、實ニ二十二尹彈六發、六尹彈十九發ノ敵彈ヲ被ルニ至レリ、

即チ其ノ第一弾(六)ハ午後二時十分、無線電信垂直線取附根ノ碍子ニ命中シテ、垂直線ヲ甲板上ニ落下セシメ、第二弾(六)ハ同十二分前部煙突ヲ右舷ヨリ左舷ニ貫通シ、第三弾(六)ハ同十三分上甲板ノ通風筒、スチーム、パイプ及ヒ「スチーム、サイレン」等ヲ破壊シ、第四弾(六)ハ同十四分三番「ケースメート」上ノ梯子ニ命中炸裂シ、附近ニ在リタル十二斤砲彈藥十發ヲシテ爆發セシメ、彈片四散シテ「ケースメート」内ニ入り、上甲板所々ヲ破損シ、一等水兵中井初之助ヲ斃シ、分隊長海軍大尉村越八郎及ヒ下士卒二十二名ヲ傷ツケ、爲メニ三番六尹砲員ハ、僅ニ一名ヲ殘シテ全部死傷ノ慘狀ヲ呈シ、第五弾(六)ハ同十五分再三番「ケースメート」ヲ襲ヒテ一等水兵星川高吉ヲ斃シ、且彈片ニテ端舟及ヒ通風筒等ニ無數ノ破孔ヲ生セシメタリ、第六弾(六)ハ同十六分上甲板准士官厠ノ稍後方外板ヲ貫通シテ厠内ニ入り、更ニ消毒室内ニ至リ爆發シテ室内ヲ破壊シ、第七弾(六)ハ同十八分右舷側「スウィング、ブーム」ノ根部ニ命中シテ之ヲ折損シ、外板ヲ貫キテ兵員厠内ニ停リ、第八弾(六)ハ同十九分前砲塔ニ近ク上甲板ヲ貫キテ、中甲板天井ニ沿ヒタル清水管、海水管等ヲ破損シ、第九弾(六)ハ同二十一分一番「ケースメート」前方ノ舷側ニ命中炸裂シ、舷梯用「ダビット」ヲ根元ヨリ折斷シ、第十弾(六)ハ同二十二分前艦橋直下ニ命中シ、外板ヲ貫通シテ兵員厠内ニ爆發シ、附近ノ諸倉庫ヲ破リ、「セルター、デッキ」ニ大破孔ヲ穿チテ、其ノ第一片ハ前部司令塔内ニ跳入シ、水雷長海軍少佐菅野勇七、參謀海軍少佐飯田久恆、外卒一名ヲ傷ツケ、又他ノ彈片ハ前艦橋及ヒ附近ニ飛散シテ、副長海軍中佐松村龍雄、參謀海軍大尉清河純一、掌帆長海軍兵曹長境吉次郎、外下士卒十一名ヲ傷ツケ、第十一弾(六)ハ又前弾ト同時

ニ、五番六尹砲門ノ下縁ニ命中爆發シ、彈片「ケースメート」内ニ闖入シテ、砲橋及ヒ照準器等ヲ破損シ海軍三等兵曹岡本喜代八ヲ殪シ、下士卒十四名負傷セシメ、五番六尹砲員ヲ全部死傷セシメタリ、第十二弾(六)モ亦同時ニ右舷ヨリ來リテ、左舷側第二「カッター」ノ「ダビット」ノ根部ヲ截斷シ、同「カッター」ヲ破損セリ、第十三弾(六)ハ同二十一分、十三番十二斤砲門上部ニ命中シテ外板ヲ貫通シ、對舷十四番十二斤砲門ノ裏面ニ其ノ彈痕ヲ印シ、第十四弾(六)ハ同二十二分、十三番十二斤砲門身ニ命中シテ砲口部ヲ折斷シ、炸裂シテ無數ノ彈片ヲ後艦橋附近ニ飛散セシメ、第十五弾(六)ハ同時七番十二斤砲ノ後方ニ命中シ、第十六弾(六)ハ同二十三分後艦橋右舷側ニ命中シ、右舷機械室通風筒ヲ貫通シテ炸裂シ、第三「カッター」ヲ破損シ、第十七弾(六)ハ同時ニ後部右舷機械室通風筒ノ頭部ヲ貫通シ、大櫓ノ前面ヲ擦損シテ炸裂シ、附近ニ損傷ヲ與ヘ、第十八弾(六)ハ同二十四分、右舷ヨリ左舷側士官厠ヲ貫キテ炸裂シ、同内部ヲ破壊シ、第十九弾(六)ハ同二十五分、一番「ケースメート」ノ下方裝甲板部ニ命中炸裂シ、外板ニ直經約七百密米ノ大圓孔ヲ穿チ、附近ノ鉸釘ヲ切斷シ、甲板ヲ脫離セシメ、「ネットスパー」及ヒ「ネット」ヲ破損シ、炭庫内ニ浸水セシメ、下士卒三名負傷セリ、第二十弾(六)ハ同三十五分、「メーンロアーヤード」ノ左舷ニ命中シ、「バンド」ヨリ約四分ノ一ヲ殘シテ切損シ、第二十一弾(六)ハ同四十分、十三番「ケースメート」ノ稍後方水線附近ヲ貫通シ、炸裂シテ機關官事務室ヲ破損シ、卒二名ヲシテ負傷セシメ、第二十二弾(六)ハ同時ニ、七番「ケースメート」砲門下縁ニ命中炸裂シテ、附近裝甲板ニ龜裂ヲ生セシメ、彈片飛ヒテ「ボート、デッキ」上ナル四十七密保砲ノ砲口ヲ損シ、卒



二名ヲ傷ツケタリ、第二十三彈<sup>(六)</sup>ハ同四十五分、後甲板「ケビン、ハッチ」ニ命中シテ、「コーミン  
グ」及ヒ梯子ヲ破損シ、第二十四彈<sup>(六)</sup>ハ同五十分、十一番「ケースメート」上縁ニ命中シテ爆發シ、  
破片「ケースメート」内ニ入りテ海軍二等水兵福岡直藏、三等水兵松澤利吉ノ二名ヲ斃シ、卒五名  
ヲ傷ツケ、又他ノ一彈片ハ後部煙突ヲ右舷ヨリ左舷ニ貫通シ、第二十五彈<sup>(六)</sup>ハ同時ニ、一番「ケ  
ースメート」ノ前方舷側ヲ貫キ、附近甲板ヲ小破シテ、中甲板第三區ニ出テ、補機室通風筒、海水  
管等ヲ破リ、隔壁ヲ貫キテ第二區ニ出テ、一番十二斤砲砲門ヨリ舷外ニ逸出セリ、  
斯ノ如ク三笠ハ第一次戦闘ニ於テ、多數ノ敵彈ヲ受ケシト雖モ、未タ著シク戦闘力ヲ減損スル  
ニ至ラス、第二次戦闘ニ入ルニ及ヒテ、更ニ左舷砲ヲ以テ敵ヲ猛射シ、三時十二分距離三千米突  
ニ近ツキテ、再十二斤砲ヲモ發射シ、専ラ敵ノ嚮導艦ニ集彈セリ、尋テ敵艦隊ノ陣形大ニ亂レ、殆  
ト其ノ隊列ヲ認ムル能ハサルニ至レリ、同十五分「アドミラル、ナヒーモフ」ノ、三千三百米突ノ  
距離ニ現レタルヲ以テ、十二斤砲火ヲ之ニ分チ、同二十一分「スウォーロフ」型戰艦ニ向ヒ、第一  
水雷ヲ發射シ、尙同艦ニ對シテ猛火ヲ注キタリ、尋テ其ノ距離遠サカリタルヲ以テ、全砲火ヲ三  
千九百米突乃至四千二百米突ナル「アドミラル、ナヒーモフ」ニ移シ、ニ、敵艦隊ハ其ノ針路ヲ變  
シタルモノ、如ク、距離急激ニ遠隔シ、遂ニ其ノ影ヲ失フニ至リタルヲ以テ、發砲ヲ中止シ、針路  
ヲ反轉シテ敵艦隊ヲ追ヘリ、同五十分東方約七千米突ニ當リ、曩ニ進退ノ自由ヲ失ヒタル「スウ  
オーロフ」型戰艦ニ對シ、千早竝ニ驅逐隊ノ壯烈ナル襲撃ヲ決行シツ、アルヲ認メ、同五十八分  
東微南ニ方リ右舷正横約七千米突ニ敵ノ主力ヲ發見シ、漸次之ニ接近シテ、四時一分敵ノ三番

艦<sup>(當時オスラービ)</sup>ニ對シ、距離六千五百米突ヲ測リテ、再右舷側砲火ヲ開キ、同三分更ニ目標ヲ  
此ノ時ノ先頭艦「ボロヂ」ノ型ニ移シ、同八分曩ニ一煙突ヲ失ヒタル「スウォーロフ」ト思ハル、  
戰艦ノ再現出シタルヲ以テ、更ニ猛撃ヲ加ヘタリ、同十分ニハ同艦ノ距離五千六百米突ニ近ツ  
キ、爾後益々接近シテ同十八分ニハ、敵ヲ右舷後方約二千七百米突ニ望ムニ至リ、之ニ對シ第二水  
雷ヲ發射シ、同二十四分ニハ二千二百米突ニ迫リテ、更ニ第三水雷ヲ放チ、同三十五分左八點一齊  
回頭ヲ爲セリ、此ノ間我カ彈著ハ愈々良好ニシテ、該敵艦ハ頻ニ火災ヲ起シ、煙突倒レ、艦橋碎ケ、  
殆ト戦闘力ヲ失フニ至レリ、四時五十一分三笠以下、針路ヲ正南ニ轉シテ敵艦隊ヲ追躡セシニ、  
五時零分右舷前方ニ方リ、「ボロヂ」ノ型敵艦二隻反航シツ、距離六千六百米突ヨリ發砲シタル  
ヲ以テ、直ニ之ニ應戰シ、同八分更ニ距離五千米突ニ現レタル假裝巡洋艦「ウラール」ト思ハル  
ル最近敵艦ニ對シテ砲火ヲ移シ、其ノ一煙突ヲ擊破セリ、同十二分距離約四千米突ニ近ツキシ  
カ、時恰モ太陽ニ面シ彈著明瞭ナラサルノミナラス、敵艦隊ノ混亂セル運動ハ、一定ノ目標ニ對  
シ砲火ヲ集注スルコト能ハサルヲ以テ、同十八分暫ク發砲ヲ中止シ、同二十分敵ノ最左翼ニ現  
レタル一巡洋艦ニ對シ、距離四千五百米突ヲ測リテ再砲火ヲ開キ、同二十八分更ニ敵主力ヲ索  
メテ北北西ニ轉針セリ、

第二次戦闘ニ於テハ敵ノ火力大ニ衰ヘタルカ爲メ、我カ被彈モ亦甚タ少クシテ、六尹彈、十二尹  
彈ヲ合シテ僅ニ數個ニ過キス、即チ第二十六彈<sup>(六)</sup>ハ、午後三時第二「カッター」ニ命中シ、之ヲ貫  
キテ「ファンネル、ケーシング」ノ上部ヲ左舷ヨリ右舷ニ貫通シ、第一「カッター」及ヒ傳馬船ヲ破損



シ、第二十七彈<sup>(十二)</sup>ハ同時ニ「メーシントップマスト」ニ命中シ、之ヲ「アップパーヤード」ノ下部ヨリ折斷シテ、甲板ニ墜落セシメ、卒二名ヲ傷ツケ、第二十八彈<sup>(十二)</sup>ハ同十八分、前部煙突ノ上部ヲ左舷ヨリ右舷ニ貫通シ、第二十九彈<sup>(十二)</sup>ハ四時十五分、七番「ケースメート」下方ニ命中シ、裝甲板ヲ貫キ炭庫内ニ入りテ炸裂シ、其ノ部ニ於ル甲板ヲ脫離破摧シ、「ケースメート」ヲ破リ、海軍三等兵曹吉田菊次郎、海軍三等水兵穴山謙治戰死シ、下士卒六名負傷セリ、午後五時三十分左舷側戰闘ニ移リ、三笠ハ距離五千二百米突ヲ測リテ、工作船「カムチャーツカ」ヲ砲撃シ、同三十四分假裝巡洋艦「ウラール」ノ進退自由ヲ失ヒ停止セルニ對シ、距離三千九百米突ヨリ猛撃ヲ加ヘ、同三十八分ニハ其ノ距離二千六百米突ト爲リ、四十七密砲ヲモ發セシニ、彈著益、良好ニシテ、命中炸裂ノ光景歷ヤトシテ眼ニ映シ、敵ハ遂ニ猛烈ナル火災ヲ起シ、同四十二分ニハ敵ヲ左舷正横二千六百米突ニ望ミテ第四水雷ヲ發射シ、其ノ全ク戰闘力ヲ失ヒタルヲ認メテ、小口徑砲ノ外發射ヲ中止セシニ、同五十分ニ至リ、同艦ハ遂ニ傾斜シテ沈没セリ、適、敵驅逐艦ノ一隊、我ニ向ヒ突進シ來ラントスルカ如キ狀アルヲ認メタルヲ以テ、直ニ之ヲ擊攘シ、尋テ同五十七分西北西約六千三百米突ニ方リ、「ボロヂノ」型戰艦二隻ノ北走スルヲ發見シ、之ニ對シテ砲火ヲ開キシモ、彼我針路竝行ノ爲メ距離容易ニ閉縮セス、六時三十三分ニ至リ、漸ク五千四百米突ニ減セリ、而テ我カ砲彈ノ敵艦ニ命中スルモノ多キト共ニ、敵モ亦能ク射擊シ、落彈ノ飛沫屢甲板ヲ洗ヒ、六時二十六分ニハ六尹彈一發<sup>(第三)</sup>十番「ケースメート」砲門上縁ヲ貫通シ、「ケースメート」内ニ入り、砲身ニ中リテ爆發シ、砲架照準器等ヲ大破シ、海軍一等兵

曹太田正太郎ヲ斃シ、乗組海軍少尉安野康及ヒ同砲員六名ヲ負傷セシメ、同四十五分ニハ十二尹彈一發<sup>(第二十)</sup>前砲塔ノ後方藥劑室「スカイライト」ニ命中炸裂シ、同室内及ヒ附近ヲ破リ、下士卒ヲ傷ツケタリ、爾後彼我ノ距離再開大シ、六時五十九分ニハ敵一番艦ノ距離七千二百米突ト爲リ、尙主砲ヲ以テ戰闘ヲ繼續セシニ、七時四分敵艦ノ大橋折斷シ、且大火災ヲ起スヲ認メ、同十分日没ニ近ツキタルカ爲メ、發砲ヲ中止シ、以テ當日ノ戰闘ヲ終結セリ、此ノ日三笠ハ十二尹砲彈百二十四個、六尹砲彈約一千五十個、十二斤砲彈一千九十五個、四十七密砲彈五十六個ヲ發射シ、十八吋魚形水雷四個ヲ發テリ、

### 第二款 二番艦敷島

二番艦敷島ハ三笠ニ續航シ、午後二時十分距離六千八百米突ヲ測リ、敵左翼列ノ嚮導艦「オスラービヤ」ニ對シテ發砲ヲ開始シ、漸次接近シテ五千四百米突ト爲リ、戰闘次第烈シク、我カ彈丸ノ敵艦ニ命中スルモノ頗ル多シ、同三十分頃敵ノ六尹彈一個、右舷後部水線附近ヲ貫通シテ海水侵入セシモ、直ニ應急處置ヲ施シ、同四十分ニハ距離稍開キテ六千米突以上ニ達シ、加フルニ騰煙濛氣ノ爲メ照準困難ナルニ至リタルヲ以テ、同五十分暫時發砲ヲ中止シ、其ノ薄ラクラ待チテ再緩射撃ヲ始メ、專ラ敵ノ先頭艦「スウォーロフ」ヲ攻メ、同五十七分旗艦ニ倣ヒテ左方十六點ノ一齊回頭ヲ行ヒ、發砲ヲ中止セリ、

午後三時十分第二次戰闘ニ移リ、再敵ノ先頭艦ニ對シ距離四千九百米突ヨリ左舷砲火ヲ開キ、緩射撃ヨリ漸次竝射撃ニ移リ、十二斤砲ヲモ發射セリ、同十八分敵ノ十二尹砲彈一個、六番「ケ

「スメートル」直下ニ命中シ、舷側裝甲板ヲ貫通シ、中甲板第七區士官病室内ニ入りテ炸裂シ、彈片附近ニ飛散シテ上下甲板ニ多大ノ損害ヲ與ヘ、六番六尹砲員海軍三等兵曹島岡甲、同有田助市、海軍一等水兵平野榮一郎、同東莊五郎、海軍三等水兵藤本廣人ノ五名ヲ斃シ、砲臺指揮官分隊長海軍大尉油谷堅藏、及ヒ卒三名ヲ傷ツケ、同砲員ヲシテ全滅セシメ、且同區劃内ニ在リシ海軍三等兵曹平野源次郎、海軍三等尉宰坂井種七、海軍一等水兵西野常吉、同中村長四郎、同町田金一、海軍二等信號兵木野定四郎ノ六名ヲ斃シ、炊烹監督ノ任ニ在リシ海軍大主計黒田太一郎、外下士卒三名ヲシテ負傷セシメ、又彈藥供給口ヨリ落下シタル彈片ハ、下甲板ニ於テ三名、彈藥通路ニ於テ二名ノ下士卒ヲ傷ツケ、慘害ヲ逞シウセリ、

同二十一分「スウォーロフ」型敵艦一隻ノ大火災ヲ起シ、殆ト進退ノ自由ヲ失シテ孤立セルモノニ對シ、二千二百米突ノ近距離ヨリ之ヲ猛撃シ、同三十五分發砲ヲ中止シ、尋テ左方十六點ノ一齊回頭ヲ爲シ、順番號單縱陣ニ復セリ、四時七分距離七千米突ヲ測リテ右舷戰闘ヲ再始シ、同十五分前砲塔ノ右砲身發放ノ爲メニ破損シテ廢砲ト爲リ、爲メニ下士卒二名負傷セリ、同三十二分大破漂航セル「スウォーロフ」型戰艦ニ近ツキテ再之ヲ猛射シ、二千三百米突ノ距離ヲ測リテ魚形水雷ヲ放チ、同四十分敵ト遠サカリタルヲ以テ、射撃ヲ中止シテ南方ニ變針シ、尋テ五時五分頃南西方ニ當リ反航セル敵艦ニ對シ、距離六千六百米突ヲ測リテ射撃ヲ始メ、同十三分砲火ヲ「ウラール」型假裝巡洋艦ニ移シテ、之ニ大損害ヲ與ヘタリ、

午後五時二十七分針路ヲ北方ニ反轉シテ、再戰闘側ヲ左舷ニ變シ、同四十二分孤立セル「ウラール」

「型假裝巡洋艦」ニ對シ、近距離ヨリ四十七密砲以上ノ全砲火ヲ集注シ、尋テ二千二百米突ノ距離ヨリ、魚形水雷ヲ發射シテ命中爆發ノ狀ヲ認メ、同五十一分該艦ハ遂ニ沈没スルニ至レリ、同五十五分五千六百米突ヲ測リテ、他ノ假裝巡洋艦ヲ砲撃シ、同五十八分敵艦隊ノ主力ト思ハルルモノヲ、北西約六千三百米突ニ發見シテ更ニ砲火ヲ之ニ移シ、爾後七時三十分頃ニ至ル迄、敵ト略竝行ノ航路ヲ取リツ、六千乃至八千米突ノ距離ヲ測リテ、緩徐ナル砲撃ヲ繼續セリ、六時三十分頃敵ノ十二斤砲彈一發、前橋ニ命中炸裂シ、彈片ノ爲メ前砲臺長分隊長海軍大尉行廣清太、及ヒ二等水兵瀬尾義忠戰死シ、艦首砲臺長從屬海軍中尉森田但次、及ヒ最上艦橋ニ在リテ距離測定ニ從事セシ、航海長從屬海軍少尉候補生白濱清、外下士卒三名ヲ傷ツケタリ、然レトモ我カ十二尹彈二發モ亦七時過、敵ノ嚮導艦ニ命中セシヲ明認シ、其ノ後艦橋附近ニ大火災ヲ起サシメ、同二十七分敵ト遠隔シタルヲ以テ、戰闘ヲ終止セシカ、幾モナク敵嚮導艦ノ猛焰ニ包マレツ、沈没スルヲ見タリ、

此ノ日敷島ノ發射彈數ハ、十二尹砲彈七十四個、六尹砲彈千三百七十二個、十二斤砲彈千二百七十二個、四十七密砲彈四十九個ニシテ、又二個ノ魚形水雷ヲ放テリ、而テ敵艦ノ同艦ニ命中シタルモノハ、前記ノ外十二斤砲彈一個ハ、中甲板第六區右舷士官厠ニ命中シテ厠内ヲ大破シ、他ノ同彈一個ハ、橋樓下約三十四呎ノ部ニ於テ、前橋ヲ貫通シテ炸裂シ、彈片上甲板ニ飛散シテ、多少ノ損害ヲ醸シ、又十尹砲彈及ヒ六尹砲彈各一個ハ、「メーレンデリック」ヲ貫通シテ之ヲ毀損シ、其ノ他六尹砲彈一個、十二斤砲彈二個ハ、「砲門扉」レール等ニ中リテ輕微ノ損害ヲ生セシメタリ、

第三款 三番艦富士

三番艦富士ハ、午後二時十分、前續艦ニ踵テ新針路ニ入り、同十一分敵左翼列ノ先頭艦「オスラービヤ」ニ向ヒ、距離六千二百米突ヲ測リテ砲撃ヲ開始シ、同十四分五千二百米突ニ近ツキ益々之ヲ猛撃セシニ、「オスラービヤ」ハ火災ヲ起シ、前櫓ノ倒ル、ヲ見ル、同十五分距離五千五百米突ニ開キシカ、同十八分ニハ再四千八百米突ニ縮マリ、同二十一分敵ノ左翼列ハ右翼列ノ後尾ニ入り、單縦陣ヲ制リタルカ如キヲ以テ、距離四千七百米突ヲ測リテ、更ニ目標ヲ一番艦「スウォーロフ」ニ變セシニ、同四十二分目標敵艦ハ火災ヲ起シ、焰煙艦ヲ包ミテ距離ノ測定困難ナルニ至リタルニ依リ、更ニ砲火ヲ五千四百米突ナルニ二番艦ニ移セリ、同五十二分敵ノ戰艦一隻、我カ諸艦ノ集彈ヲ蒙リ、前櫓及ヒ後部煙突ヲ失ヒ、列外ニ逸出スルヲ認ム、午後三時零分左方十六點ノ一齊回頭中、敵彈一個後部砲塔ニ命中シ、一時發砲ヲ不能ナラシメシモ、約四十分ノ後再之ヲ使用スルヲ得タリ、

午後三時二分新針路ニ入りテ左舷戰闘ヲ開始シ、同十分距離三千二百米突ナル「ボロヂノ」型敵艦ヲ砲撃シ、同十五分ニハ二千六百米突ニ接近シ、水雷發射ノ用意ヲ爲セシモ實施スルニ至ラズ、同十八分射撃目標ヲ二千五百米突ナル「シソイ、ウエリーキー」ニ移シ、同三十七分ニハ距離五千八百米突ナル巡洋艦「アドミラル、ナヒーモフ」ヲ砲撃シ、同三十八分射撃ヲ中止シ、尋テ針路ヲ反轉シテ、再戰闘側ヲ右舷ニ變セリ、四時五分距離六千四百米突ナル「シソイ、ウエリーキー」ニ對シテ砲火ヲ開キ、同二十分ヨリハ更ニ目標ヲ大破セル「スウォーロフ」型戰艦ニ轉シ、同三十

五分ニハ其ノ距離千八百米突ニ迫リ、水雷發射ノ準備ヲ爲シ、カ、同艦ハ戰闘力已ニ盡キ、復水雷攻撃ニ價セサルヲ認メ之ヲ中止シテ北方ニ向ヒ、同四十九分射撃ヲ停止シテ更ニ南方ニ變針セリ、

午後五時五分「ボロヂノ」型戰艦二隻、其ノ他數隻ノ敵艦、我カ右舷前方ヲ反航スルニ會シ、距離六千八百米突ヨリ射撃ヲ始メシニ、距離ノ變化急激ニシテ、同六分ニハ五千三百米突ニ近ツキ、同七分ニハ最近距離四千八百米突ト爲リ、爾後再隔遠セシヲ以テ、同十四分射撃ヲ中止シ、尋テ右舷正横ニ假裝巡洋艦「ウラール」、工作船「カムチャーツカ」及ヒ巡洋艦、海防艦等數隻ヲ認メ、十斤砲ヲ以テ「ウラール」ヲ撃チ、他ノ諸砲ハ主トシテ「ナヒーモフ」型巡洋艦ヲ射撃シ、同二十六分ノヲ中止セリ、

午後五時三十分頃、北方ニ轉針シテ再左舷戰闘ニ復リ、同三十二分第三次戰闘ヲ開キ、距離六千二百米突ヨリ「ウラール」ヲ砲撃シ、同四十一分二千七百米突ニ迫リテ益々之ヲ猛撃シ、同艦ノ沈没ニ垂ントスルヲ認メ、一旦砲火ヲ止メ、同五十分更ニ五千四百米突ヲ距ツル「カムチャーツカ」ニ向ヒテ之ヲ再始シ、其ノ大破スルニ及ヒテ同五十四分目標ヲ「ナヒーモフ」ニ轉セリ、午後六時「ボロヂノ」型戰艦二隻ヲ左舷正横六千四百米突ニ望ミ、其ノ先頭艦ニ向テ射撃ヲ開始シ、爾後七時二十二分戰闘終止ニ至ル迄、七千乃至八千米突ノ射距離ヲ以テ、交々敵ノ二艦ヲ砲撃セシニ、其ノ先頭艦ハ大火災ヲ起シ、同三十分頃遂ニ覆没スルニ至レリ、此ノ日ノ戰闘ニ於テ、富士ハ大小ノ敵彈十一發ヲ受ケ、兵器ニ於テハ十二尹砲及ヒ四十七密砲各一門破損シ、乗員ニ於テハ卒七名

戦死シ、准士官以上五名、下士卒十七名負傷セリ、即チ其ノ主ナルモノハ午後三時零分、十二尹砲弾一個ハ、後部砲塔ノ右砲砲眼孔ヲ貫キ、塔内ニ入りテ炸裂シ、上部装填室内ニ在リシ八個ノ装薬ヲ燃焼セシメ、右砲砲身ヲ毀損シ、塔内ニ在リタル海軍一等水兵玉秋文吉、同官腰松藏、同兼石新作、海軍二等水兵鋤柄仁右衛門、同芝田五十吉、同中南源右衛門、同宗田宗太郎ヲ即死セシメ、海軍一等水兵永坂竹次郎ヲ重傷死ニ至ラシメ、海軍兵曹長寺西益次郎外下士卒八名ヲ負傷セシメ、破片後艦橋ニ飛ヒテ「レール」等ヲ破損セリ、午後三時二十七分、六尹乃至十二尹砲弾一個ハ、前部煙突ヲ左舷後部ヨリ右舷前部ニ貫キ、最上甲板ノ「スタンション」通風筒等ヲ破リテ卒二名ヲ傷ツケ、炸裂セスシテ舷外ニ飛ヒ去リ、又煙突ノ破片汽罐室ニ落下シテ、分隊長海軍大機關士安部富次ニ輕傷ヲ負ハシメ、午後五時三十分六尹砲弾一個ハ、六番砲ノ後方ヨリ上甲板將官豫備室ニ入り、室内ノ甲板ヲ貫キテ中甲板ニ降り、後部砲塔壁ニ中リテ反撥シ、更ニ下甲板ニ降り、炸裂セスシテ停止セリ、午後六時十分六尹乃至十二尹砲弾一個ハ、司令塔蓋ヲ擦過シテ、塔内ニ在リシ航海長海軍中佐志摩猛及ヒ水雷長海軍少佐高橋鎗吉ヲ傷ツケ、艦橋ニ出テ、海圖室ヲ破リ、海軍少尉候補生池田光一及ヒ下士一名ニ輕傷ヲ負ハシメタリ、又同種彈一個ハ(命中時)右舷後部舷梯附近ニ於テ舷側ヲ貫キ、艦長食器室ヲ經テ砲塔壁ニ命中炸裂シ、附近ニ多少ノ損害ヲ與ヘ、十二尹砲弾一個ハ、右舷後部中甲板部ニ命中(時刻不明)シテ將官室ニ入り、左舷側「エヤトラシク」内ニ停止セリ、其ノ他彈徑不明ノ敵彈ノ爲メ、四十七密砲一門毀損シ、前檣索具及ヒ煙突「ステイ」等ヲ破損セラレ、船體竝ニ屬具等小損害ヲ被レリ、而テ此ノ日富士八十二尹砲彈百零一個、六尹砲

彈五百二十三個、十二尹砲彈百二十五個ヲ發射セリ、

#### 第四款 四番艦朝日

四番艦朝日ハ午後二時十二分、敵先頭艦「スウォーロフ」ノ距離七千米突ヲ測リ、之ニ對シテ砲撃ヲ開始シ、漸次接近シテ同二十四分ニハ、距離五千七百米突、同三十四分ニハ、更ニ四千七百米突ト爲リシヲ以テ、十二尹砲ヲモ戰闘ニ參與セシメ、同四十一分暫時砲火ヲ敵ノ二番艦ニ移シ、同四十八分ニハ五千二百米突ヲ測リテ、目標ヲ一番艦ニ復セシカ、此ノ時濛氣爆煙海面ヲ蔽ヒ、敵艦ヲ認視シ難キニ至リタルニヨリ、射撃ヲ中止シ、尋テ左方ニ一齊回頭ヲ行ヒ、三時九分更ニ目標ヲ距離四千一百米突ナル敵ノ一番艦ニ定メ、左舷戰闘ヲ開始シ、同十四分ニハ三千百米突ヲ測リテ、全砲火ヲ他ノ戰艦ニ移シ、同十六分ニハ最近距離二千三百米突ニ接近セシカ、爾後再離開シテ、同二十一分ニハ三千七百米突ト爲リ、十二尹砲ノ發砲ヲ停止シ、同二十八分ニハ更ニ五千五百米突ニ開キタルヲ以テ、全射撃ヲ中止セリ、時ニ目標敵艦ハ煙突折レテ大火災ヲ起シ、頗ル苦戰ノ状態ニ陥レルヲ見ル、尋テ第一戰隊ハ針路ヲ反轉シ、朝日ハ四時八分距離六千五百米突ヲ測リテ再右舷戰闘ヲ始メ、同二十八分七千五百米突ヨリ「アドミラル」ナヒーモフ」ヲ砲撃シ、同三十二分再前記ノ火災ヲ起セル敵戰艦ニ近ツキ、距離二千五百米突ヨリ之ヲ猛撃セシニ、同艦ハ殆ト戰闘力ヲ失ヒ、益々右舷ニ傾斜セルヲ認メ、同四十二分發砲ヲ中止セリ、尋テ南方ノ針路ニ入り、五時五分ヨリ六千八百米突ヲ距ル「ボロダ」型敵艦ヲ砲撃シ、同十三分ニハ砲火ヲ距離五千三百米突ナル「ウワール」型假裝巡洋艦ニ移シ、同二十二分ニハ四千米突ニ近ツキ、同



敵艦ノ煙突倒レ、大破セルヲ認メ、更ニ目標ヲ距離五千四百米突ナル「ナヒーモフ」ニ改メ、同二十  
六分距離遠サカリタルヲ以テ、射撃ヲ中止セリ、  
午後五時三十分頃針路ヲ反轉シ、敵主力ヲ索メテ北方ニ向進シ、再左舷戦闘ト爲リ、距離六千二  
百米突ヨリ、工作船「カムチャツカ」ニ對シテ射撃ヲ始メ、同四十三分大破セル「ウラール」型敵  
艦ニ近ツキ、二千三百米突ノ近距離ヨリ之ヲ猛撃シ、同五十一分頃同艦ノ沈没スルニ及ヒ、更ニ  
目標ヲ五千六百米突ナル一巡洋艦ニ轉シ、同五十五分發砲ヲ中止セリ、尋テ六時二分距離七千  
五百米突ヲ測リ、北方ニ航走セル「ボロヂ」型戦艦ヲ目標トシテ砲撃ヲ始メ、爾後七時三十分頃  
ニ至ル迄、六千乃至八千米突ノ距離ヲ以テ、同一敵艦ヲ射撃シ、目標艦ノ大火災ヲ起シテ沈没ス  
ルニ及ヒ、射撃ヲ停止シ、以テ此ノ日ノ戦闘ヲ終レリ、

此ノ日朝日ハ敵ノ數彈ヲ蒙リシト雖モ、損害多クハ上甲板以上ニ止リ、一彈ノ舷側ヲ貫キタル  
モノナク、但乗員ニ於テハ分隊長心得海軍中尉森下基一、海軍三等兵曹前田正幹、同上野又一郎、  
海軍一等水兵官澤義九、同佐々木惣七、同森助太郎、同山本安太郎、海軍二等水兵河井元次郎ノ八  
名戦死シ、乗組海軍中尉合田四郎及ヒ下士卒二十二名負傷(内十五名ハ受療後)セリ、而テ我カ發射  
彈數ハ十二尹砲彈約百三十發、六尹砲彈約六百八十發、十二斤砲彈約五百發ナリ、

#### 第五款 五番艦春日

一等巡洋艦春日ハ、第一戦隊ノ五番艦トシテ戦艦朝日ニ續航シ、午後二時十分敵艦隊ニ對シ  
テ試射ヲ行ヒ、同十二分敵左翼列ノ先頭艦「オスラービヤ」ヲ目標トシ、距離五千八百米突ヲ測リ

テ砲撃ヲ開始シ、漸次射撃速度ヲ増シ、同十六分ニハ發射撃ト爲シ、同十八分距離四千七百米突  
ト爲リ、益々猛烈ニ砲撃ヲ加ヘタリ、時ニ「オスラービヤ」ハ我カ諸艦ノ集彈ヲ被リテ大爆煙ヲ揚  
ケ、敵ノ陣形漸ク動揺セルノ狀アリ、同二十分敵ノ左翼列ハ我カ猛撃ニ堪ヘサルモノ、如ク、次  
第ニ右折シテ右翼列ノ後尾ニ入り、一列ノ單縱陣ヲ爲シタルヲ以テ、同二十五分春日ハ、砲撃目  
標ヲ五千二百米突ナル敵ノ一番艦「クニヤージ」ニ轉シ、同二十六分發射撃ニ改  
メ、精密ナル照準ヲ以テ敵ヲ射撃セリ、同三十分敵ノ彈片前部煙突ノ「ガイ」ニ中リテ之ヲ切斷  
シ、同三十三分敵ノ十二尹砲彈一個、右舷「フオールステイ」ニ命中シテ炸裂シ、附近ニ多大ノ損  
害ヲ與ヘ、海軍一等水兵高橋初太郎、同貝原丈四郎、同池田作五郎、海軍二等水兵飯田庄藏、海軍  
三等水兵林謙治、同玉井嘉十、同藤井元市ノ七名ヲ殲シ、乗組海軍中尉右田熊五郎、同海軍少尉候  
補生三浦誠輔及ヒ下士卒十三名ヲ傷ツケタリ、二時三十四分距離四千三百米突ト爲リタルヲ  
以テ、射撃速度ヲ増シ、且十二斤砲ノ射撃ヲ開始シ、砲戦愈々激烈ト爲リ、同四十分頃敵ノ戦艦  
「スヴォーロフ」ハ大火災ヲ起シ、運轉ノ自由ヲ失ヒタルカ如キ狀アルヲ以テ、直ニ砲火ヲ二番艦  
ニ移シ、同四十分發射撃ト爲セリ、同五十分騰煙漠トシテ敵ノ艦影ヲ掩ヒ、照準困難ナルニ至リ  
タルヲ以テ、少時發砲ヲ見合セ、同五十三分再發砲ヲ始メ、尋テ左舷ニ回頭シ、三時一分射撃ヲ中  
止セリ、

午後三時七分第二次戦闘ニ移リ、距離三千六百米突ヲ測リテ、左舷前方ニ在ル敵艦隊ヲ砲撃  
シ、同十分「イズムルード」型巡洋艦一隻、我ニ向ヒ突進シ來ルヲ認メ、直ニ之ヲ猛撃セシニ該艦



ハ約三千米突迄接近シテ引返セリ、時ニ敵ノ陣形大ニ混乱シ、其ノ最近敵艦ハ二千五百米突ニ過キサルモノアリ、乃チ恰好ノ敵ヲ選ヒテ之ヲ砲撃シ、同二十二分距離漸ク隔離セシニ依リ、八尹砲以外ノ發砲ヲ中止シ、同二十五分ヨリ距離五千二百米突ナル「ナヒーモフ」ヲ射撃シ、同三十分ニ至リテ射撃ヲ中止シ、針路ヲ反轉セリ、四時七分敵艦隊ヲ右舷前方約七千米突ニ望ミテ砲撃ヲ開始シ、爾後六千乃至七千米突ノ距離ヲ以テ、混乱セル敵艦隊ト砲火ヲ交ヘシニ、敵ノ射撃力ハ大ニ減衰シ、唯四時二十一分頃六尹砲彈一發、右舷中央部裝甲板ニ命中セシモ貫通セスシテ炸裂シ、附近ニ小損害ヲ與ヘタルニ過キス、同三十分射撃ヲ止メテ南方ニ變針シ、五時十分右舷前方約四千四百米突ニ、敵艦二隻ノ反航セルヲ認メ、其ノ先頭艦ハ煤煙ノ爲メ照準困難ナルニ依リ、四千九百米突ナル二番艦ヲ砲撃シ、同十六分ニハ敵艦八隻亂陣ノ儘、北西方ニ航進セルヲ認メテ、猛火ヲ之ニ注キシニ、敵艦ハ漸次増加シテ、同二十五分ニハ戰艦、巡洋艦、假裝巡洋艦等ヲ合シテ、十四隻ヲ算スルニ至レリ、

午後五時三十分北方ニ變針シテ敵艦隊ヲ追ヒ、同三十分運轉自由ヲ失セルカ如キ「ツワール」型假裝巡洋艦ニ向ヒテ左舷砲火ヲ開キ、同五十分其ノ沈没スルニ迫ヒ、更ニ目標ヲ左舷中央約五千米突ナル工作船「カムチャヤーツカ」ニ移シテ之ヲ大破セシメ、六時零分「ボロヂ」型戰艦二隻ヲ先頭トシ、「インペラートル」ニコライ一世「アドミラル、セニヤール」ヲ「ダネラル、アドミラル、アブラクシン」等之ニ續キ、雜然トシテ西北方ニ航走セル敵主力艦隊ヲ認メ、主トシテ先頭ノ二戰艦ニ向ヒテ砲火ヲ開キ、時々他ノ諸艦ヲモ砲撃シ、同四十五分六尹砲以下ノ射撃ヲ中止

シ、七千乃至八千米突ノ射距離ヲ測リ、八尹以上ノ砲ヲ以テ緩徐ナル射撃ヲ繼續シ、七時二十四分戰闘ヲ終止セリ、此ノ日春日ノ發射彈數ハ、十尹砲彈四十七個、八尹砲彈百零二個、六尹砲彈八百六十八個、十二斤砲彈二百七十個ニシテ、前記ノ外、舷外炸裂彈ノ爲メ、下士卒五名ノ輕傷者ヲ生セリ、

#### 第六款 六番艦日進

一等巡洋艦日進ハ、第一艦隊司令官海軍中將三須宗太郎ノ旗艦トシテ、第一戰隊ノ殿後ヲ承ケ、午後二時十五分距離七千米突ヲ測リテ、敵戰艦「オスラービヤ」ニ向ヒ始テ砲火ヲ開キ、漸次接近シテ五千八百米突ト爲リ、又十二斤砲ヲモ發射シ、戰闘益々猛烈ト爲リ、二時四十分敵ノ十二尹砲彈一發、前砲塔右方ニ命中シテ之ヲ破壊シ、其ノ彈片艦橋及ヒ各層甲板ニ飛散シ、艦橋ニ在リタル參謀海軍中佐松井健吉ヲ殲シ、下士卒二名ヲ傷ツケ、上甲板ニ於テハ下士卒六名ヲ傷ツ傷セシメ、中甲板ニ降りテハ海軍一等筆記松井尙敏、割烹稻垣駒太郎ヲ殲シ、下士卒六名ヲ傷ツケ、下甲板ニ於テモ亦下士卒二名ヲ傷ツケ、一時二十九名ノ死傷者ヲ生セリ、時ニ目標艦ハ船體少シク傾斜シテ戰列ヨリ脱シ、敵ノ一番艦モ亦火災ヲ起シ、速力漸ク弛ムヲ見タリ、午後三時頃左方十六點ノ一齊回頭ヲ行ヒ、日進嚮導ト爲リテ約西北西ニ向ヒ、左舷砲火ヲ以テ敵ノ先頭ヲ猛撃シ、同十五分ニハ距離三千五百米突ニ近ツキシニ、「シエムチウグ」型敵巡洋艦全速力ヲ以テ突進シ來リ、水雷攻撃ヲ爲サントスルノ狀アルヲ認メ、直ニ輕砲砲火ヲ之ニ移セシニ、該艦ハ二千九百米突迄接近シテ退却セリ、同二十分敵ノ十二尹砲彈一個、十四番六尹砲臺ノ前方ニ命中

シ、中甲板ニ在リシ下士卒三名ヲ傷ツケ、同四十分頃第一戦隊ハ、針路ヲ反轉シテ順番號單縱陣ニ復シ、日進ハ再殿艦ト爲リテ北東ニ向ヒ、四時五分右舷側戦闘ヲ開始セリ、時ニ最近敵艦ハ猛煙ニ包マレテ艦影明ナラサルニ依リ、目標ヲ七千米突ヲ距ツル「ナワリシ」「ナヒーモフ」等ニ選ヒテ之ヲ撃チシニ、此ノ時敵ノ九尹砲弾一發前砲塔ニ命中炸裂シ、其ノ破片司令塔ヲ襲ヒ、塔内ニ在リタル三須第一艦隊司令官及ヒ航海長海軍少佐田中行尙ヲ傷ツケ、附近ニ在リシ海軍三等水兵田中與次郎ヲ殲シ、下士卒三名ヲ負傷セシメタリ、四時八分殆ト戦闘力ヲ失ヘル「スウォーロフ」型戦艦ノ尙餘喘ヲ保チテ、射撃ヲ繼續セルヲ認メ、之ニ對シテ砲火ヲ注キシニ、同三十分敵ノ六尹砲弾一個、五番十二斤砲砲身ニ中リテ之ヲ破壊シ、彈片ノ爲メ下士卒十二名負傷セリ、同三十五分左方ニ回頭シテ射撃ヲ中止シ、尋テ南方ニ變針シ、五時再砲撃ヲ始メ、「ツヨール」型假裝巡洋艦ヲ目標トセシニ、同二十分敵ノ十二尹砲一個、後部砲塔左方ニ命中シテ砲身ヲ摧斷シ、附近甲板ヲ破リ、下士卒三名ヲ傷ツケタリ、

午後五時三十分前續艦ニ續キテ北方ニ轉針シ左舷砲ヲ以テ工作船「カムチャーツカ」ヲ射撃シ、六時目標ヲ「ボロヂノ」型戦艦ニ移シ、七時三十分頃ニ至ル迄砲火ヲ繼續セリ、七時頃敵ノ十二尹砲弾一個、前砲塔右砲ニ中リテ炸裂シ、同砲身ヲ破壊シ、乗組海軍中主計太田利一、同海軍少尉候補生高野五十六、及ヒ下士卒五名ヲ傷ツケ、同時ニ六尹砲弾一個ハ檣樓ニ命中シ、樓上ニ在リシ見張員海軍三等兵曹中島文彌ヲ殲シ、又十二斤砲弾一個モ同時ニ上甲板通風筒ニ命中シ、卒一名ヲ傷ツケタリ、而テ此ノ日日進ノ發射彈數ハ、八尹砲彈約百八十個、六尹砲彈約千百八十個、十二

斤砲彈約七百六十ニシテ、我カ損害ノ主ナルモノハ、八尹砲三門、十二斤砲一門、死傷合計九十三名(内戦死五名、重傷九名、輕傷五十九名、微傷二十五名)ナリ、

#### 第七款 通報艦龍田

第一艦隊ノ通報艦タル龍田ハ、朝來第一戦隊ノ左方約一千乃至一千五百米突ニ位置シ、同戦隊ニ附隨行動セシカ、激浪ノ爲メ艦ノ動搖劇シク、傾斜三十度以上ニ達シ、殊ニ風上ニ向フ際ノ如キハ、怒濤甲板ニ躍リテ飛沫艦橋ヲ襲ヒ、距離測定儀、望遠鏡、雙眼鏡等悉ク海水ニ浸サル、ニ至レリ、午後二時敵艦隊ト近邇シ、彼我兩艦隊ノ中間ニ挟ル、ニ至リタルヲ以テ、東郷司令官ノ命ニ依リ、反航シテ右舷側ニ就カントセシニ、幾何モナク第一戦隊ハ針路ヲ反轉シテ、右舷側戦闘ヲ開始シタルニ依リ、再戦隊ノ左方約二千米突ノ位置ニ復シ、水雷攻撃ノ機ヲ待チシモ、爆煙ハ濛氣ト混シテ海面ヲ掩ヒ、唯閃々タル砲火ト股々タル砲聲トヲ見聞スルノミニシテ、戦況毫モ明ナラス、午後三時第一戦隊ニ倣ヒテ左方ニ回頭シ、其ノ右舷側ニ轉位セリ、時ニ「ボロヂノ」型戦艦一隻孤立シテ火災ニ罹リツ、アリシカ、更ニ第二戦隊ノ猛撃ヲ受ケテ益々大破セルヲ見タリ、同二十五分頃飛彈無線電信ノ碍子ヲ毀シ、又前部煙突ニ小孔ヲ穿テリ、四時頃再第一戦隊ト共ニ、左方十六點ノ回頭ヲ爲シテ其ノ左側ニ移リ、先ニ大破セシ敵戦艦ノ大火災ヲ起シ、煙焰ノ間僅ニ一櫓ヲ殘セルノミナルモ、尙戦闘ヲ繼續セルヲ見、距離四千米突ヲ測リテ十二拇砲ヲ發射シ、尋テ戦隊ニ從ヒテ回頭シ南方ニ變針セリ、同三十分更ニ右十六點ノ正面ヲ變シ、再戦隊ノ右側ニ遷位シ、距離三千五百米突ヲ測リテ、敵ノ假裝巡洋艦ヲ砲撃セリ、時ニ右舷後方ニ當リ、我

カ第三、第四、第五、第六戰隊ノ濛氣ノ裡ニ隱見スルヲ認メ、第一戰隊ハ左舷前方ニ在ル三隻以上ノ敵戰艦ト交戦シツ、在ルヲ見シカ、午後七時三十分頃ニ至リ、各方面ニ於ル砲聲殆ト絶エ、以テ此ノ日ノ晝戰ヲ終レリ、

此ノ日龍田ハ、常ニ第一戰隊ノ非戰闘側、約二千米突ノ處ニ位置シテ戰隊ニ隨從シ、敵彈屢艦側ヲ襲ヒシモ、僅ニ一二彈片ノ飛來セルノミニシテ、乗員、船體共ニ著シキ損傷ナク、又常ニ水雷攻撃ノ機ヲ窺ヒシモ、濛氣深ク敵狀不明ナルカ爲メ、遂ニ之ヲ實行スルニ至ラス、發射彈數モ亦僅ニ十二擲砲彈二十四個ニ過キス、

第三節 第二戰隊ノ戰況

第一目 第一次戰闘

第二戰隊出雲(上村第二艦隊司令官海軍)、吾妻、常磐、八雲、淺間、磐手(第二艦隊司令官海軍)ハ上村第二艦隊司令官之ヲ直率シ、通報艦千早及ヒ第二、第五驅逐隊ヲ列右ニ備ヘ、以テ第一戰隊ノ後方ニ續航シ、午後一時四十分南南西ニ變針スルト同時ニ、南西微南約一万三千米突ニ方リ、煙霧模糊ノ裡ニ敵艦隊ヲ發見セリ、是ニ於テ速力ヲ増シテ十五海里トシ、同五十分戰闘旗ヲ掲ケ、尋テ前續隊ニ倣ヒテ右折シ、針路ヲ北西微北ニ變シ、二時五分更ニ西微南ニ變針シ、同七分ニハ敵先頭艦ノ距離九千五百米突ヲ測定セシカ、同八分第一戰隊ノ左方ニ回頭ヲ始ムルヤ、敵艦隊ハ之ニ對シテ忽チ猛烈ナル砲火ヲ開ケリ、此ノ日風強ク、濤高ク、潮水屢艦内ニ奔入シ、中甲板砲臺ノ如キハ、浸水脛ヲ沒スルニ至レリ、二時九分第二戰隊ハ少シク右舷ニ變針シテ、第一戰隊ト間隔ヲ取り、同

十五分左方ニ回轉シ、距離八千米突ヲ測リ、敵ノ五番艦「オスラーピヤ」ニ對シ、旗艦出雲先ツ砲火ヲ開キ、踵テ第二戰隊ノ各艦モ、亦主トシテ同敵艦ヲ目標トシテ之ニ砲火ヲ集中セリ、(「オスラーピヤ」ハ敵ノ戰艦中唯一ノ三煙突艦ナルヲ以テ我カ射撃ノ好目標ト爲レリ)同二十分左舷ニ變針シ、第一戰隊ニ倣ヒテ東北東ニ向ヒシニ、射距離漸ク減スルニ從ヒ、我カ彈著モ亦次第ニ適良ト爲リ、同二十六分頃ニハ「オスラーピヤ」及ヒ七番艦「ナワリン」ハ大火災ヲ起シ、殊ニ「オスラーピヤ」ハ多大ノ損害ヲ受ケタルモノ、如ク、頗ル苦戰ノ狀ヲ呈セリ、此ノ時我カ速力十五海里ニ對シ、敵ハ約十海里ヲ出スニ過キサリシヲ以テ、我カ艦隊ハ漸次敵ヲ追越シ、同三十五分頃ニハ、敵ノ先頭艦タル「クニヤージ」スウオーロフ「ハ我カ先頭艦出雲ノ右舷正横約五千米突ニ來リ、射撃ノ好目標ト爲リシヲ以テ、第二戰隊各艦ノ砲火ハ一時之ニ集中シ、今ヤ同敵艦ハ我カ第一、第二兩戰隊ノ猛火ヲ受ケテ、屢大火災ヲ起シ、黒煙噴騰卷舒シテ全艦ヲ包ミ、一時照準スルコト能ハサルニ至レリ、因テ我カ各艦ハ主トシテ砲火ヲ敵ノ二番艦及ヒ三番艦ニ移セリ、時ニ彼我ノ距離四千乃至四千五百米突ニシテ、我カ射撃ハ益々正確ト爲リ、巨彈敵艦ニ中リテ炸裂スルノ狀最凄壯ヲ極メタリ、而テ敵モ亦能ク奮戰シ、大小ノ彈丸ハ我カ艦上ヲ掠メ、舷側ヲ打チ、水柱林ノ如ク艦周ニ簇立シ、酣戰今ヤ其ノ極ニ達セリ、同四十分頃ニ至リ、敵ノ二番艦ハ火災ヲ起シ、三番艦モ亦稍傾斜シ、同五十分頃「オスラーピヤ」ハ遂ニ列外ニ逸シ、敵陣漸ク混亂ノ狀ヲ呈セリ、而テ我カ諸艦モ亦多少ノ被彈アリシモ損害大ナラス、獨リ五番艦淺間ノ、二時二十七分頃敵彈命中ノ激動ニ依リ、舵機ニ故障ヲ生シ、修理ノ爲メ列外ニ出テタルアルノミ、(同艦ハ午後五時頃ニ至リ漸ク第二戰隊艦隊ノ位置ニ就ケリ)

尋テ二時五十六分頃、第一戰隊ハ左八點一齊回頭ヲ行ヒシニ依リ、第二戰隊モ亦之ニ倣ハントセシカ、此ノ時敵ノ先頭部隊ハ陣形大ニ亂レ、恰モ右方ニ轉回セントスルノ狀アリシヲ以テ、第二戰隊ハ敵ノ南方ニ逸走スルヲ防カンカ爲メ、回頭ヲ止メ速力ヲ増シテ十七海里ト爲シ、單横陣ヲ爲セル第一戰隊ノ艦尾ヲ航過シツ、直進シ、三千米突内外ノ距離ヲ以テ、敵ノ先頭ヲ壓迫猛撃セリ、敵ハ頻ニ火災ヲ起シ、焚煙ト爆煙トニ覆ハレツ、漸次右方ニ回頭スルヲ以テ、第二戰隊モ亦次第ニ右折シテ南東方ニ進ミ敵ノ先頭ヲ繞リテ愈、之ヲ掩撃セシカハ、敵陣益々亂レ、三十分頃「オスラービヤ」ハ右舷ニ傾斜シテ、遂ニ覆没スルニ至レリ、而テ敵ハ尙且右方ニ轉回シ、彼我ノ距離漸ク伸長セシヲ以テ、第二戰隊ハ三時十分左十六點ノ正面變換ヲ行ヒ、左舷戰闘ニ轉セリ、

## 第二目 第二次戰闘

第二戰隊(淺間ハ未ダ列ニ復セス)ハ午後三時十分頃、左十六點ノ正面變換ヲ行ヒ、敵ヲ追ヒテ、同十六分約西北西ニ定針シ、同二十分列ヲ亂シテ北方ニ向進セル敵主力艦隊ニ對シ、左舷戰闘ヲ開始セリ、時ニ敵艦隊ハ、第二戰隊ノ左舷正横稍前方約六千米突ニ在リシカ、爾後次第ニ接近シテ、同二十六分ニハ三千百米突ニ減シ、愈々猛烈ナル砲撃ヲ加ヘシニ、我カ砲火ノ效果顯著ニシテ、敵ハ益々苦戰ノ狀ヲ呈シ、先頭ノ一戰艦ハ稍左舷ニ傾斜スルヲ認メタリ、會々濃氣俄ニ濃厚ト爲リ、且騰煙之ニ加ハリテ敵艦隊ノ行動明ナラス、爲メニ彼我ノ識別ニ苦シムニ至リタルヲ以テ、一時射撃ヲ緩メ、橋頭ノ旗色ニ依テ僅ニ戰闘ヲ繼續セシニ、同三十四分頃、スウォーロフト思ハル、敵艦

ノ煙焰ニ包マレツ、濃氣ノ裡ヨリ現レタルヲ以テ、第二戰隊ハ左舷僅ニ一千七百米突ノ處ニ迫リテ猛火ヲ集注セシカハ、已ニ多大ノ損害ヲ蒙リタル同艦ハ、更ニ此ノ近距離ニ於ル砲火ノ爲メ、橋、煙突、艦橋其ノ他上甲板ニ於ル諸構造物ノ殆ト全部ヲ破壊セラレ、今ヤ進退自由ナラス、全ク戰闘力ヲ失ヒタルカ如ク、唯時々艦尾ノ小口徑砲ヲ發スルノミナルヲ以テ、射撃ヲ中止セリ、第二戰隊ノ砲撃終ルヤ、第五驅逐隊ハ敵主力艦隊ノ猛撃ヲ冒シテ、「スウォーロフト」ヲ襲撃シ、千早モ亦同時ニ水雷攻撃ヲ決行セシニ、同艦ハ水線下ニ敵彈ヲ受ケテ浸水スルニ至リタルニ依リ、應急修理ノ爲メ戰線ヲ遠サカリ、日没後第二戰隊ニ合セリ、

是ヨリ先キ煙霧ノ裡ニ其ノ影ヲ没シタル敵ノ主力艦隊ハ、第二戰隊ノ殿後ヲ過キリテ、北方ニ逃レントスルモノ、如ク、同時ニ我カ第一戰隊ハ針路ヲ反轉シテ、第二戰隊ノ方ニ向進シ來ルヲ認メタルヲ以テ、第二戰隊モ亦午後三時四十七分、右方ニ回轉シテ、第一戰隊ノ行動ニ準シ、其ノ左前方ニ占位シ、敵ヲ追ヒテ相共ニ北東ニ向ヘリ、此ノ時第二戰隊ハ再「スウォーロフト」ヲ右舷ニ望ミテ通過セシカ、該艦ハ已ニ大損害ヲ被リ、最早砲撃ノ價値ナキヲ認メテ烈シク之ヲ攻撃セス、尋テ四時二分ニ至リ、右舷前方ニ在ル敵主力ニ對シ、距離約五千米突ヲ測リテ砲撃ヲ再開シ、漸次右折シテ敵ト接近ヲ圖リツ、第一戰隊ト協力シテ益々之ヲ壓撃セシカハ、既ニ混亂ニ陥レル敵艦隊ハ益々潰敗シテ、遂ニ南方ニ向針シタルモノ、如ク、同三十分頃一時其ノ艦影ヲ失スルニ至レリ、是ニ於テ第二戰隊モ亦右方ニ變針シ、同三十五分ニハ約南東ニ、同四十二分ニハ約正南ニ變針セシモ、彼我ノ距離管ニ遠隔スルノミナラス、第一戰隊ハ北方ニ向進シ、動モ



スレハ之ト相失セントスルノ虞アリシニ依リ、第二戰隊ハ同四十七分、右舷ニ回頭シテ約北西ニ向進シ、以テ第一戰隊ニ近ツカントス、然ルニ此ノ時南方ニ當リ、遠ク砲聲ノ轟クヲ聞キ、敵ノ一部ハ同方面ニ在ルヲ知り、且第一戰隊モ亦南進シ來リ、其ノ針路互ニ相交叉セルヲ以テ、第二戰隊ハ再右方ニ回轉シテ南方ニ向ヒシカ、五時頃東郷聯合艦隊司令長官ヨリ、第二戰隊ハ第一戰隊ノ先頭ニ位置スヘシ、トノ命ヲ受ケ、乃チ第一戰隊ノ左前方ニ占位シ、砲聲ヲ尋ネテ南方ニ航進セリ、已ニシテ同五分頃前方ニ當リ濃氣ノ裡遙ニ一二ノ敵影ヲ發見シ、之ニ向ヒテ直進セシニ、其ノ特務船ナルコトヲ知レリ、又同時ニ右舷艦首ニ方リテ猛烈ナル砲聲ヲ聞キ、其ノ必ス我カ巡洋艦ノ敵ト劇戰セルモノナルヲ推想シ、之ニ向ヒテ急航スルコト數分時ニシテ同十分頃ニ至リ、果シテ我カ第三、第四、第六戰隊ノ敵ノ一群ト奮戰シツ、アルヲ發見シ、距離七千米突ヲ測リテ砲撃ヲ始メ、且我カ巡洋艦隊ヲ掩護センカ爲メ、彼我兩艦隊ノ中間ニ進入シ、好敵ヲ擇ヒテ緩徐ナル砲撃ヲ加ヘタリ、尋テ同二十五分南西ニ變針シ、第五戰隊ノ敵ト交戦シツ、來ルニ會シ、再其ノ中間ニ進ミ、爾後敵艦隊トノ距離次第ニ減シテ五千七百米突ト爲リシカ、敵ハ漸次右轉シテ西北方ニ遁走セントセルヲ以テ、同三十一分第二戰隊ハ沖ノ島ヲ南西約七海里ニ望ミテ約西北西ニ變針シ、益、敵ヲ追撃セリ、是ヨリ先キ淺間ハ五時五分、第二戰隊ノ列ニ復シ、殿艦ノ位置ニ就キテ戰闘ニ從事セリ、

此ノ時ニ當リ、敵艦隊ハ其ノ陣列全然潰裂シテ、或ハ北方ニ向フモノアリ、或ハ西方ニ走ルモノアリ、又或ハ南西ニ逃ル、モノアリ、恰モ雜然タル鴉群ノ如ク毫モ隊形ヲ成サス、因テ第二戰隊ハ南西ニ向ヘル敵ヲ擇ヒテ之ヲ追躡セシニ、敵ノ速力優大ニシテ距離漸次遠隔シ、音ニ追及ノ見込ナキノミナラス、時亦已ニ日没ニ近ツキ、且第一戰隊ト視界外ニ相分離シタルヲ以テ、夜間同戰隊ト遠ク分離セルハ、爾後ノ作戰上不利ナランコトヲ慮リ、午後六時三分追撃ヲ止メ、左方ニ回頭シテ第一戰隊及ヒ敵主力ノ所在想定方位ニ向ヒテ航進セリ、此ノ時第二戰隊ハ第一次戰場ノ跡ヲ航セシニ、破壊セル端舟、半燒セル船具等ハ、其ノ附近海面ニ浮游充滿シテ、尙劇戰ノ慘狀ヲ留メ、又「オスラービヤ」ノ乗員ト思ハル、多數ノ士卒ハ、僅ニ船具ノ破片ニ縋リテ怒濤ノ間ニ漂蕩シ、或ハ手ヲ擧ケ、或ハ聲ヲ發シ、頻ニ救助ヲ哀願セルノ狀、人ヲシテ轉々惻然タラシムルモノアリシト云フ、

### 第三目 第三次戰闘

第二戰隊ハ第一戰隊ニ合セント欲シ、午後六時七分約東南東ニ變針シ、幾何モナク左舷前方ニ當リ、敵ノ敗艦「スウォーロフ」及ヒ工作船「カムチャツカ」ノ在ルヲ發見セシカ、適第六戰隊ノ之ニ迫ラントシテ進ミ來ルヲ認メタルヲ以テ、其ノ運動ヲ妨ケサランカ爲メ、同十五分左舷ニ回頭シテ北方ニ向針シ、「スウォーロフ」及ヒ「カムチャツカ」ヲ右舷ニ見ツ、航過シテ暫時之ヲ砲撃セシニ、兩艦トモ既ニ其ノ戰闘力ヲ失ヘルヲ以テ、之カ處分ヲ第六戰隊等ニ委ネ、尙北方ニ進行セシニ、右舷艦首約一万一千米突ニ方リ「ナヒーモフ」ヲ殿艦トセル數隻ノ敵艦隊、我カ第一戰隊ノ壓迫ヲ受ケテ、南下シ來ルヲ發見シ、之ニ向ハント欲シ、約北西ニ變針セシニ、又右舷前方ニ當リ、濃氣ヲ透シテ遙ニ第一戰隊ノ砲火ヲ認メタルヲ以テ、同四十分更ニ北微東ニ



變針シ、速力ヲ増シテ第一戰隊ノ方向ニ航進セリ、尋テ同五十分頃ニ至リ、敵艦隊トノ距離七千五百米突ニ減シタルヲ以テ、更ニ戰鬪ヲ開始セシニ、敵ハ再北西方ニ轉向セシヲ以テ、之ニ近ツカンカ爲メ、七時四分左四點一齊回頭ヲ行ヒ、同十分再右四點一齊回頭ヲ以テ單縱陣ニ復シ、同十五分更ニ北北西ニ定針シ、約七八千米突ノ距離ヨリ緩射撃ヲ繼續セリ、是ヨリ先キ午後七時頃、左舷正横ニ方リ敵艦一隻(アレクサンドル三世ナリト云フ)顛覆シテ艦底ヲ水面ニ露出シ、多數ノ敵兵其ノ上ニ群集シ、シエムナツグ型敵艦一隻、其ノ傍ニ來リテ彷徨セルヲ以テ之ヲ砲撃セシニ、爆煙一時其ノ船體ヲ覆フニ至リ、幾何モナク敵艦隊ノ方向ニ遁走シ去レリ、同十八分日全ク没シ、且距離遠シカリタルヲ以テ、第二戰隊ハ同三十分此ノ日ノ戰鬪ヲ終ヘ、驅逐隊ニ襲撃ヲ令シ、第一戰隊ヲ艦首ノ方ニ發見シテ其ノ通跡ニ入レリ、而テ敵艦隊ハ漸次左方ニ屈折シテ西南方ニ向ヒ、遂ニ其ノ影ヲ暗中ニ没セシカ、幾何モナクシテ南方ニ當リ、我カ驅逐隊、艇隊ノ攻撃ニ對スル敵艦隊ノ猛烈ナル砲聲ヲ聞キ、且探照燈ノ輝クヲ見タリ、

#### 第四目 各艦ノ戰況

##### 第一款 一番艦出雲

出雲ハ上村第二艦隊司令長官ノ旗艦トシテ、第一戰隊ノ殿艦日進ノ右舷後方ニ占位シ、以テ第二戰隊ヲ嚮導シ、午後二時十五分、敵ノ五番艦「オスラーピヤ」ノ距離八千米突ヲ測リテ戰鬪ヲ開始シ、同二十分ニハ距離六千五百米突ニ減シ、同二十四分ニハ更ニ六千米突ニ近ツケリ、尋テ目標ヲ四番艦「アリヨール」ニ變シ、砲戰漸ク激烈ト爲リ、同二十六分ニハ「オスラーピヤ」及ヒ七番艦「ナワリン」ノ大火災ヲ起シ、黑煙ノ奔騰スルヲ見、同二十七分再砲火ヲ五千九百米突ナル「オスラーピヤ」ニ移セリ、是ノ時六尹大ノ敵艦一個、落角ヲ以テ右舷中央「ネッチング」ヲ貫通シ、上甲板ニ中リテ爆裂シ、其ノ彈片ノ一部ハ「マントレット」ヲ破リテ、五番六尹砲臺附近ニ飛散シ、同砲員海軍一等水兵川畑六右衛門及ヒ海軍二等水兵北岡龜太ヲ殞シ、下士卒六名ヲ傷ツケテ殆ト同砲員ヲ全滅セリ、又其ノ他ノ彈片ハ中央煙突、及ヒ小蒸氣艇等ニ數十ノ孔ヲ穿チ、又其ノ他ノ一部ハ中甲板藥劑室ニ降りテ、室内ノ諸器具ヲ破壊セリ、

同三十五分距離五千米突ヲ測リテ、更ニ敵ノ一番艦「スウオーロフ」ヲ猛撃セシニ、我カ彈著良好ニシテ、爆煙全ク敵艦ヲ掩フニ至リタルヲ以テ、同四十分目標ヲ二番艦「アレクサンドル三世」ニ轉シ、同四十三分ニハ距離四千三百米突ニ短縮シ、十二斤砲ノ發射ヲ始メ、戰鬪最猛烈ヲ極メタリ、同四十六分目標ヲ三タヒ「オスラーピヤ」ニ變シ、同四十九分ヨリハ更ニ二番艦ヲ砲撃セシニ、此ノ頃ヨリ敵陣漸ク混亂ノ狀ヲ呈シ、同五十三分二番艦ト思ハル、モノハ煙突 本ヲ摧斷セラレ、右舷ニ回轉シテ列外ニ出テタルニ因リ、再一番艦ヲ目標トシ益々猛撃ヲ加ヘタリ、尋テ午後三時五分頃、敵ノ十二尹砲彈一個、後方ヨリ斜ニ右舷後部水線上七呎半ノ處ニ命中シ、舷側ヲ貫キテ下甲板士官病室ノ「ビーム」ニ中リ、炸裂シテ同室及ヒ附近ノ諸室ヲ破壊シ、尙上方ナル士官室ノ甲板ヲ破リテ、彈片ハ中甲板ニ飛ヒ、下士卒四名ヲ傷ツケタリ、是ヨリ先キ敵艦「オスラーピヤ」ハ、其ノ大櫓ヲ折ラレ、且左舷ニ傾斜シテ列外ニ逸セシカ、幾何モナク猛煙ニ包マレ、忽焉トシテ激濤ノ裡ニ沈没スルヲ見タリ、

午後三時十分頃、前續艦ニ倣ヒテ約東北ニ變針シ、同十七分更ニ北西方ニ變シテ、左舷戦闘ニ移リ、同二十分敵ノ一番艦ヲ目標トシ、距離六千米突ヲ測リテ砲撃ヲ再始シ、同二十五分ニハ砲戰再激烈トナリ、目標敵艦ハ大ニ左舷ニ傾斜スルヲ見タリ、同二十七分約西微北ニ變針シ、濛氣濃密ノ爲メ一時發砲ヲ中止セシカ、同三十四分頃敵ノ旗艦「スウォーロフ」ト思ハル、戰艦一隻、大火災ニ罹リツ、突然濛氣ノ裡ヨリ、左舷正横約二千米突ノ近距離ニ現レタルヲ以テ、直ニ猛火ヲ之ニ注キ、且水雷發射ノ準備ヲ爲シ、モ、時機遅レタルカ爲メ、遂ニ之ヲ止メ、偶第五驅逐隊ハ、該敵艦ヲ襲撃セントシ之ニ向ヒタルヲ以テ、同四十二分發砲ヲ中止セリ、尋テ三時四十七分、右舷ニ回頭シテ約東北東ニ向ヒ、再右舷戦闘ニ復シ、四時二分速力ヲ増シテ十六海里ト爲シ、距離五千米突ヲ測リテ、想定「スウォーロフ」ニ對シ再砲撃ヲ開始セリ、同七分頃敵艦一發、後部右舷側ナル傳馬船「ダビット」ニ中リテ之ヲ折リ、卒三名ヲ傷ツケ、彈丸ハ炸裂セスシテ舷外ニ逸去セリ、同八分頃「スウォーロフ」ハ、其ノ嚮導艦ニ重リ見エタルヲ以テ之ヲ猛撃シ、同十一分ニハ他ノ「スウォーロフ」型戰艦二隻ト、並行戰ヲ行ヒツ、敵ノ前方ニ出テ、漸次右折シテ其ノ先頭ヲ壓シ、同十四分ニハ約東方ニ向進セリ、同二十分ニハ距離七千米突ヲ測リテ敵ノ三番艦ヲ射撃シ、尋テ敵艦隊ヲ濛氣ノ裡ニ失シタルヲ以テ、敵ヲ索ネテ針路ヲ南方ニ屈折シ五時十分頃右舷前方ニ敵巡洋艦ヲ發見シ、距離七千米突ヨリ、砲撃ヲ始メ、次第ニ近ツキテ五千七百米突ト爲リシニ、敵ハ小圈ヲ畫キツ、逃走シ、距離再遠隔シタルヲ以テ、射撃ヲ中止セリ、同十八分頃約十二拇大ノ敵艦一個、右舷艦首ニ近キ水面ニ於テ炸裂シ、其ノ破片前艦橋ニ飛ヒ來リ、爲メニ

下士卒三名輕微ノ傷ヲ負フ、同二十三分ヨリ二十八分マテ、混亂セル敵艦隊ヲ撃チ、同四十分ニハ左舷側（事實疑フヘキモノア  
ルモ報告ノ儘記述ス）ニ在ル艦名不詳ノ敵ト砲火ヲ交フルコト、約十分間ニ及ヒ、六時十分第一戰隊ニ會合スルカ爲メ北方ニ轉向セリ、

尋テ午後六時二十二分頃、敗艦「スウォーロフ」及ヒ「カムチャツカ」ヲ右舷約三千米突ニ見テ航過セシニ、「スウォーロフ」ハ煙突、檣、其ノ他上甲板ノ構造物全部ヲ失ヒ、全艦焰煙ニ包マレタルニモ拘ラス、尙且殘存セル艦尾ノ小口徑砲ヲ用ヒ、戰鬥ヲ繼續セルヲ以テ、之ニ對シ數發ノ砲撃ヲ加ヘ、同二十九分頃前方濛氣ノ裡ニ、我カ第一戰隊ノ砲火ヲ認メテ其ノ方向ニ直進シ、同四十三分頃左舷艦首ニ敵艦隊ヲ發見シ、其ノ殿艦「ナヒーモフ」ノ距離一万一千米突ヲ測リ、同五十分ニハ距離七千五百米突ニ減シタルヲ以テ、之ニ對シ緩射撃ヲ開始セリ、七時零分左舷ニ於テ、敵戰艦一隻ノ沈没スルヲ認メ、爾後距離再遠サカリシカ、同十分頃敵ノ十二尹砲彈一發、左舷中央部ナル小蒸氣艇ノ「ダビット」ニ中リ之ヲ切斷シ「ネッチング」及ヒ下甲板ヲ貫キテ斜ニ中甲板ニ降り、准士官室ノ障壁ヲ破リテ同室内ノ器具ヲ破損シ、更ニ下甲板ニ降りテ汽罐室「ケーシング」ヲ貫キ、防禦甲板上ヲ滑走シテ、原形ノ儘右舷側炭庫内ニ止レリ、此ノ彈ハ中甲板ニ於テ、海軍三等機關兵副島儀八ヲ即死セシメ、汽罐室ニ在リシ卒二名負傷セリ、同十五分九千八百米突ヲ測リテ、左舷正横ノ敵ヲ攻撃シ、同二十九分射撃ヲ止メ、以テ此ノ日ノ戰鬥ヲ終レリ、此ノ日出雲ノ發射シタル彈數ハ、八尹砲彈百六十一發、六尹砲彈七百四發、十二斤砲彈三百八十八發ニシテ、敵彈ノ命中シタルモノハ前記諸彈ノ外、十尹以上ノ敵艦一個ハ、大落角ヲ以テ右舷

ヨリ來リ、左舷後部ナル艦長寢室上ニ落下シ、上甲板及ヒ舷側ヲ貫キテ海中ニ落ち、其ノ他無線電信用「ヅハンク」、靜索、艦橋「レール」等ヲ破損シタルモノ數個アリシモ、損害大ナラス、

### 第二款 二番艦吾妻

二番艦吾妻ハ、常ニ出雲ニ續航シ、午後一時五十五分、旗艦ニ倣ヒテ戰鬪旗ヲ掲ケ、二時十五分頃敵ノ一番艦「クニヤ」シ、スウオーロフ<sup>(敵ハ未ダ後部諸砲ニ照準線)</sup>ノ緩射撃ヲ始メ、同十七分ニハ距離四千六百米突ニ減シ、砲戰漸ク盛ナルト共ニ、目標敵艦ハ一時爆煙ノ裡ニ隠レタルヲ以テ、同十八分目標ヲ四千三百米突ナル最近敵艦「オスラー」ニ轉シ、同時ニ十二斤砲及ヒ後部諸砲ノ發砲ヲ始メ、戰鬪益々激烈ト爲リ、同二十分敵ノ巨彈一發、我カ艦側ニ近ク炸裂シ、其ノ破片ハ七番六尹砲ノ砲身<sup>(砲口ヨリ約二呎ノ處)</sup>ニ命中シテ之ヲ折斷シ、下士卒二名ヲ負傷セシメタリ、同二十三分距離三千六百米突ニ短縮シ、並射撃ニ移レリ、初メ梯縱陣ナリシ敵艦隊ハ此ノ時殆ト單縱陣ニ變シ、我カ第一、第二戰隊ニ對シテ奮戰甚タカメ、飛彈我カ艦側ヲ掠ルモノ多ク、同二十五分頃敵ノ六尹砲彈一個ハ、我カ中甲板舷側ヲ貫キテ艦内ニ停止シ、中甲板傳令ニ從事セシ海軍一等水兵三浦伊勢藏ヲ殺シ、外ニ卒一名ヲ傷ツケタリ、時ニ目標艦「オスラー」ニハ、我カ諸艦ノ集彈ヲ蒙リ、稍右方ニ列ヲ脱シタルモノ、如シ、尋テ同三十五分一番艦「スウオーロフ」モ、亦其ノ前砲塔及ヒ前艦橋ヲ破ラレ、且前部ニ火災ヲ起シ、列外ニ逸出スルヲ見タリ、同四十分頃我カ砲擊最猛烈ト爲リ、敵ノ一番艦ハ遂ニ濛々タル爆煙ノ裡ニ沒シ、オスラー「ビヤ」モ亦其ノ大櫓ヲ折ラレ、大火災ヲ起シ、三時過ニ至リ、右舷ニ傾斜シテ遂ニ沈

沒セリ、然レトモ敵ノ抗戰モ亦甚タ強烈ニシテ、二時五十分頃十二尹砲彈一個ハ、我カ後部砲塔右砲ノ砲口下部ニ命中炸裂シ、同砲ヲ破壞シ、海軍二等水兵加藤豊吉ヲシテ重傷死ニ至ラシメ、砲塔長海軍上等兵曹中村兼次郎、及ヒ下士卒二名ヲ傷ツケ、又其ノ彈片上甲板ヲ破リテ、中甲板左舷側ナル艦長公室ヲ粉碎セリ、同五十五分他ノ十二尹砲彈一發ハ、七番「ケースメート」ノ上部ニ命中シテ之ヲ貫キ、其ノ上方「セルター」デッキニ在リシ十二斤砲一門ヲ根柢ヨリ飛散セシメ、後艦橋及ヒ「セルター」デッキ等ニ大破損ヲ與ヘ、附近ニ在リシ海軍三等兵曹坂内講平、海軍一等水兵和田定次郎、海軍二等水兵小林惣一、同村田友作、海軍三等水兵中尾由平ノ五名ヲ殲シ、海軍一等水兵井上甚三郎、海軍二等水兵水島金藏ヲ海中ニ吹落シ、副長海軍中佐東郷靜之介、乘組海軍少尉候補生竹中德太郎、及ヒ外下士卒六名ヲ傷ツケ、又三時零分ニハ大口徑砲彈一個、前部舷側ニ極テ近ク落下炸裂シ、水煙高ク騰リテ前甲板ヲ洗ヒ、水線下ニ損害ヲ生セサリシヤヲ疑ハシメタリ、午後三時七分煙燄敵艦隊ヲ掩ヒ、目標不明ト爲リシヲ以テ一時射撃ヲ中止シ、尋テ北西方ニ變針シテ左舷戰鬪ニ移リ、距離三千四百米突ヲ測リ、敵ノ戰鬪艦二隻ヲ目標トシテ緩射撃ヲ始メタリ、是ノ時敵ノ大口徑砲彈左舷舷側ニ近ク炸裂シ、其ノ破片上甲板中部ニ在ル八番十二斤砲身ニ中リテ之ヲ破壞シ、同砲員海軍三等兵曹諏訪現未ヲ即死セシメ、卒三名ヲ傷ツケ、同三十分ニハ敵ノ小口徑砲彈飛來シテ、上甲板傳令ニ從事セル海軍一等兵曹大坪仁藏ヲ殺シテ舷外ニ飛去レリ、我カ射撃ノ效果ハ尤正確ニシテ屢命中ノ爆煙ヲ認メ、漸次速度ヲ増シテ並射撃ト爲リ、距離三千米突ヲ測リテ後部水雷ヲ發射セリ、同三十五分左舷正横千四百米突ニ、敵ノ

戰艦「スウォーロフ」ノ大火災ヲ起シ、單獨漂泊セルヲ認メテ之ヲ射撃セシモ、千早及ヒ第五驅逐隊ノ之ニ對シ襲撃ニ向フヲ見テ、同四十分ノヲ中止シ、尋テ約東北東ニ變針シ、再左舷戰艦ニ轉セリ、四時八分距離六千百米突ヲ測リ、火災ニ罹レル二煙突ノ戰艦ニ對シ、緩射撃ヲ再始シ、同二十分ニハ五千五百米突ニ近ツキシニ、同二十五分頃ニ至リ、敵艦隊ハ其ノ針路ヲ變シタルモノノ如ク、濃氣ノ中ニ没シタルヲ以テ、射撃ヲ中止シ南方ニ向進セリ、此ノ時約六尹大ノ砲彈一個濃氣中ヨリ來リテ「ランチ」艇ニ命中シ、上甲板ヲ貫キ更ニ左舷中央部ノ舷側ヲ破リテ海中ニ落チ、卒一名ヲ負傷セシメタリ、

午後五時十五分「ナヒーモフ」型敵艦ニ對シ、距離五千五百米突ヨリ右舷砲火ヲ開キ、同二十分ニハ四千八百米突ニ接近セシニ、同三十分ニ至リ濃氣ノ爲メ目標再不明ト爲リタルヲ以テ、射撃ヲ中止シ、六時三十分頃右舷約三千米突ニ方リ、猛煙ニ掩ハレタル「スウォーロフ」及ヒ「カムチヤーツカ」ヲ見シモ、兩艦トモ既ニ戰鬪力ナキモノト認メテ射撃ヲ行ハス、同五十分右舷正横約七千米突ニ敵戰艦三隻ヲ認メテ緩射撃ヲ始メシモ、同五十三分距離八千米突ニ遠サカリ、且照準線日光ニ正向シ、目標ヲ見ルコト困難ナルニ至リ、七時射撃ヲ中止セリ、此ノ時「ボロヂ」型戰艦一隻、右舷ニ傾キテ遂ニ沈没シ、「ジエムチウグ」型巡洋艦頻ニ其ノ附近ヲ彷徨セルヲ以テ、七千六百米突ヲ測リテ之ヲ砲撃シ、同二十五分射撃ヲ中止シ、以テ戰鬪ヲ終結セリ、

此ノ日吾妻ノ發射彈數ハ、八尹砲彈百六十五發、六尹砲彈七百十九發、十二斤砲彈七百五十二發ニシテ、敵彈ノ命中シタルモノハ、前記ノ外、六尹大ノ砲彈一個(命中時問不詳)ハ、右舷舷側ヲ貫キテ准

士官室ヲ破壊シ、同食器室ヲ貫通シテ隔壁ヲ破リ、炸裂セスシテ艦内ニ止リ、又六尹大ノ砲彈一個(命中時問不詳)ハ右舷ヨリ來リテ「ランチ」艇ニ「ペンネース」ヲ貫キ、機關室天窓ヲ破リテ炸裂シ、彈片防禦甲板ニ墜落セリ、其ノ他煙突、端舟等ニ數個ノ十二斤砲彈、及ヒ舷外炸裂彈ノ破片ノ爲メ、輕微ノ損害ヲ生セシメタルモノアリ、

### 第三款 三番艦常磐

常磐ハ第二戰隊ノ三番艦トシテ吾妻ニ續航シ、午後二時十七分、敵ノ五番艦「オスラーピヤ」ノ距離五千五百米突ヲ測リテ戰鬪ヲ開始シ、(此ノ時敵ノ三番艦ハ距離最近カリシモ「オスラーピヤ」ハ敵ノ大戰艦中唯一ノ三煙突艦ニシテ他艦ト區別シ易キニヨリ特ニ目標艦ニ選定セリ)同二十五分頃ヨリ、我カ彈著漸次正確トナリ、續々「オスラーピヤ」ニ命中シ、同三十五分距離四千七百米突ニ減シ、同艦ハ遂ニ火災ヲ起スニ至レリ、同四十分ニハ目標四千二百米突ナル最近ノ二番艦ニ轉セシニ、幾何モナク目標艦モ亦火災ヲ起シ、三番艦ハ少シク左舷ニ傾斜シテ列外ニ出テタルカ如キヲ認メタリ、爾後適當ノ敵ヲ選ヒテ益々猛烈ナル砲撃ヲ續ケシニ、三時ヲ過クル頃「オスラーピヤ」ハ右舷ニ傾斜シテ遂ニ沈没スルヲ見タリ、尋テ針路ヲ變シテ左舷戰艦ニ移リ、三時二十分距離四千五百米突ナル敵ノ一番艦ニ對シ、左舷砲火ヲ開キ、距離次第ニ接近シテ、同二十四分ニハ三千六百米突、同二十六分ニハ三千四百米突ト爲リテ、砲火ノ效力益々顯ル、同三十分ニハ大火災ヲ起シテ黑煙ニ包マレツ、孤立セル敵ノ旗艦「スウォーロフ」ヲ二千米突ニ認メテ之ヲ砲撃シ、同五十分頃右舷ニ回頭シテ戰鬪側ヲ右舷ニ復シ、四時五分「スウォーロフ」ニ對シ、距離四千四百米突ヨリ再砲撃ヲ開始セリ、時ニ敵ノ主力艦隊ハ「スウォーロフ」ヲ掩護セン



トスルモノ、如ク、之ニ近ツキ來リシヲ以テ、四時十五分距離三千九百米突ヲ測リテ砲火ヲ時  
 ノ一番艦ニ移セシカ、距離ノ變化急激ニシテ、同十八分ニハ六千米突ト爲リ、同二十一分ニハ遂  
 ニ濛氣ノ裡ニ其ノ影ヲ失スルニ至レリ、已ニシテ同四十五分頃ニ至リ、南西方ニ敵艦隊ヲ發見  
 シ、「ドミトリ」ト思ハル、敵艦ニ對シ、距離約六千五百米突ヨリ之ヲ砲撃セリ、此  
 ノ時敵艦隊ハ或ハ西向シ、或ハ南向シ、隊形全ク崩レタルモノ、如シ、因テ濛氣ノ裡ニ隱見ス  
 ル敵艦隊ヲ砲撃シツ、南方ニ航下シ、五時四十五分ヨリ右舷五千六百米突ニ反航スル一隻ノ  
 假裝巡洋艦ヲ射撃シ、六時十五分北方ニ轉向シ、同二十分ニハ工作船「カムチャーツカ」ノ、大破  
 セル「スウオーロフ」ニ向ヒ近ツキツ、アルヲ認メ、距離五千米突ヲ測リテ之ヲ撃チ、尙敵ノ主力  
 ヲ索メテ北進セシニ、幾何モナク左舷艦首ニ方リ、「ボロヂノ」型戰艦一隻、シソイ、ウエリーキー、  
 「ナワリン」、「ナヒーモフ」等ヨリ成ル敵艦隊ヲ發見シテ砲撃ヲ始メ、六時五十分距離八千米突ニ  
 遠サカリタルヲ以テ、射撃ヲ中止シ、以テ戰鬪ヲ終レリ、

此ノ日常艦ハ敵艦九個ヲ受ケシモ、何レモ小口径砲彈若クハ舷外炸裂彈ノ破片ノミニシテ、艦  
 内ニ於テ炸裂シタルモノハ、僅ニ一個ニ過キカリシヲ以テ、一人ノ即死者ナク、船體ノ損害モ亦大  
 ナラス、即チ其ノ主ナルモノハ十二斤砲彈一個ハ、午後二時二十分下甲板第八區右舷側水線上  
 約三呎ノ處ヲ貫通シ、士官豫備室ヲ過キ、更ニ左舷舷側ヲ貫キテ舷外ニ出テ、船體動搖ノ際海水  
 ヲ侵入セシメ、同一個ハ、午後三時二十分左舷ヨリ來リテ中甲板後部ニ在ル十二番十二斤砲ニ  
 命中シテ砲身ヲ破損シ、炸裂シテ卒四名ヲ傷ツケ、又右舷水面ニ近ク炸裂(時間不詳)シタル彈片八十

三番「ケースメート」ノ砲門扉ニ命中シテ之ヲ凹メ、海軍二等水兵中本太三郎ヲシテ重傷死ニ至  
 ラシメタリ、其ノ他十二斤砲彈一個ハ、上甲板右舷中央部「ネツチング」ヲ貫キ、同一個ハ左舷ヨリ  
 來リテ艦尾ニアル「ライフブイ」ヲ破リ、上甲板ヲ擦過シテ右舷海中ニ落チ、同一個ハ中甲板第一  
 區右舷側揮發油庫ニ命中シ、同一個ハ中甲板第一區前部八尹砲塔支柱ニ命中シ、又彈徑不明ノ  
 敵彈二個ハ「デリック」ノ「トッピングリフト」、竝ニ八番「ケースメート」上部ニ其ノ痕ヲ印セシモ、  
 何レモ乗員ニ損害ヲ與ヘス、而テ同艦ノ發射シタル彈數ハ、大約八尹砲彈百九十發、六尹砲彈七  
 百十發、十二斤砲彈六百七十五發ナリ、

#### 第四款 四番艦八雲

四番艦八雲ハ、午後二時二十分頃、敵艦隊ノ距離六千米突ヲ測リテ、先ツ六尹砲ノ射撃ヲ開始  
 シ、尋テ同二十二分五千四百米突ナル五番艦「オスラーピヤ」ヲ目標トシテ、八尹砲ノ發砲ヲ始  
 メタリ、同二十五分敵ノ十二吋砲彈一發、中甲板右舷ナル准士官室ニ命中炸裂シテ、同室竝ニ附  
 近ノ倉庫等ヲ破リ、下士卒三名ヲ傷ツケ、同二十六分ニハ敵ノ十二吋砲彈一個、前砲塔ノ前方ニ  
 命中シ、上甲板ニ大破孔ヲ穿テリ、初メ八雲ハ「オスラーピヤ」ト竝航セシモ、敵ハ漸次後レテ同  
 三十八分頃ニハ、其ノ一番艦ト相竝フニ至リタルヲ以テ、砲火ヲ四千五百米突ナル「ボロヂノ」型  
 戰艦ニ移シ、同十分ヨリ八十二斤砲ノ發砲ヲ開始セリ、同四十三分目標ヲ四千三百米突ナル二  
 番艦「イムペラートル」アレクサンドル三世ニ轉シ、同四十六分ニハ再砲火ヲ四千八百米突ナル  
 「オスラーピヤ」ニ移シ、尋テ同五十五分ニハ、四千乃至三千五百米突ナル敵ノ旗艦ヲ射撃セシニ

「オスラービヤ」ハ三時五分頃火災ニ罹リツ、遂ニ列外ニ出テ、幾何モナク沈没スルヲ見タリ、同十五分十二擲砲弾一發、左舷小蒸氣艇ニ命中炸裂シ、上甲板ニ在ル清水罐及ヒ給水管等ヲ破壊シ、海軍三等兵曹田鎖丹治、及ヒ海軍三等水兵金澤三之丞ヲ殪シ、海軍一等機關兵石崎與一ヲ重傷死ニ至ラシメ、其ノ他下士卒五名ヲ傷ツケタリ、

午後三時二十分右舷戦闘ニ移リ、敵先頭艦ノ距離五千四百米突ヲ測リテ射撃ヲ始メ、同二十六分ニハ三千百米突ナル三番艦ヲ目標トシ、同三十三分ニハ距離四千四百米突ニ開キシカ、同三十四分左舷約二千米突ニ「スウォーロフ」ノ大火災ニ罹リ孤立セルヲ認メテ、十二斤砲以上ノ全砲火ヲ之ニ注キ、且魚形水雷一個ヲ發射セリ、尋テ針路ヲ反轉シテ再敵ヲ右舷ニ望ミ、四時六分敵ノ一番艦ニ對シ、距離六千米突ヲ測リテ緩射撃ヲ始メ、十二斤砲ハ五千五百米突ナル「スウォーロフ」ヲ射撃セリ、四時二十五分距離遠サカリタルヲ以テ、打方ヲ中止シ、漸次右折シテ南方ニ向ヒ、同三十分更ニ各分隊ノ指名射撃ヲ行ヒ、五時十六分ヨリハ六千二百米突ヲ測リテ敵ノ先頭ヲ撃チ、爾後右舷側ニ隱見スル最近ノ敵艦ニ對シテ、斷續砲撃ヲ行ヒ、六時二十分第一戦隊ヲ追ヒテ北方ニ變針セリ、尋テ「スウォーロフ」ノ尙焚燒シツ、漂航シ、其ノ傍ニ工作船「カムチャーツカ」ノ在ルヲ認メ、十二斤砲ヲ以テ五千四百米突ナル「カムチャーツカ」ヲ、六尹砲ヲ以テ四千五百米突ナル「スウォーロフ」ヲ射撃シツ、北上シ、同三十三分ニハ「スウォーロフ」ノ距離二千六百米突ト爲リシヲ以テ、八尹砲ヲモ發射セリ、時ニ該艦ハ殆ト戦闘力ヲ失ヒ、唯時々後部ノ小口徑砲ヲ發スルノミニシテ、「カムチャーツカ」モ亦甚シク傾斜スルヲ見タリ、六時五十五分

前方約八千米突ニ、敵ノ主力艦隊ト思ハル、モノヲ發見シ、試射ヲ行ヒシモ、彈著不明ナルヲ以テ、射撃ヲ見合ハセ、爾後敵ト六千米突内外ノ距離ヲ以テ竝航セシモ、濛氣竝ニ日没ノ爲メ敵ヲ明視スルコト能ハズ、遂ニ砲撃再始ノ機ナクシテ、七時三十九分戦闘ヲ終結セリ、而テ前記ノ外六尹砲弾一個(命中時 問不詳)ハ、左舷第二「カッター」ダビットニ命中炸裂シテ「ダビット」ニ其ノ痕ヲ印シ、同二個(命中時 問不詳)ハ前部及ヒ中部煙突ニ各一個ツ、ノ彈孔ヲ穿テ、又彈徑不明ノ一彈ハ「フオールト」ツプ「マス」トニ中リテ之ヲ傷ツケタリ、此ノ日八雲ノ發射彈數ハ、八尹砲彈百四十九發、六尹砲彈五百六十二發、十二斤砲彈八百九十九發ニシテ、他ニ魚形水雷一個ヲ發射セリ、

第五款 五番艦淺間

五番艦淺間ハ、前續艦八雲ニ續航シ、午後二時二十分頃、敵ノ左翼列ト戦闘ヲ開始シ、同二十八分頃右舷艦尾ナル艦長寢室ニ、敵ノ十二尹砲彈一個ヲ受ケ、其ノ激動ニ因リ前艦橋操舵輪齒車ノ箱合ニ異狀ヲ生シ、爲メ一時操舵ノ自由ヲ失セリ、此ノ時恰モ少シク取舵ニ轉舵中ナリシヲ以テ、艦ハ自ラ左舷ニ回頭シツ、列外ニ出テタルニヨリ、直ニ之カ修理ヲ行ヒ、同三十四分故障復舊シタルヲ以テ、全速力ニテ僚艦ヲ追ヒシモ、時ニ第一、第二戦隊ハ已ニ進ミテ前方濛氣ノ裡ニ没シ、淺間ハ全ク孤立ノ状態ニ陥リタルニ由リ、忽チ敵ノ諸艦ヨリ猛烈ナル集彈ヲ蒙リ、命中彈數發ニ及ヘリ、即チ二時五十分ニハ十二斤砲彈一個、前艦橋ニ命中シテ海圖室ヲ貫キ、下士一名ヲ負傷セシメ、三時零分ニハ二個ノ十二尹砲彈、右舷後部水線上約五呎ノ部ニ命中シ、舷側ニ大破孔ヲ穿テ、艦内ニ於テ炸裂シ、艦長室及ヒ附近中下甲板ノ諸倉庫等ヲ破壊シ、多數ノ彈片ハ右舷側水

線附近ヲ貫通シ、海軍二等兵曹中村勤、海軍二等水兵藤田豊吉ヲ殲シ、下士卒五名ヲ負傷セシメ、激浪艦内ニ奔入シテ、中甲板ハ忽チ浸水膝ヲ没スルニ至リ、同十分ニハ十二斤砲彈一個、後部「セ」ルター、テッキ」ノ右舷側「レール」ニ命中シテ炸裂シ、後艦橋、舷梯、機關室通風筒等ヲ破壊シ、海軍一等水兵尾越柳一ヲ殲シ、下士卒四名ヲ傷ツケ、又同十三分ニハ六尹砲彈一個、右舷側中甲板部ニ命中炸裂シ、主計官事務室、士官食器室ニ損害ヲ與ヘ、海軍船匠長酒井辰五郎外卒一名ヲ傷ツケタリ、其ノ他命中時不明ノ大口徑砲一個ハ、後甲板ニ中リテ甲板及ヒ「レール」ヲ破リ、砲塔ヲ撃チテ炸裂シ、附近ノ通風筒ニ多數ノ彈孔ヲ穿チ、十二斤砲彈一個ハ、前砲塔ヲ擦過シテ燈具室ニ穿入シ、尙數個ノ彈片或ハ煙突ヲ破リ、或ハ索具ヲ切斷シ、一時頗ル危急ニ瀕セリ、此ノ時恰モ我カ第一戰隊ノ日進ヲ嚮導トシ、逆列ヲ以テ進ミ來ルニ會シ、三時十五分其ノ先頭ニ占位シテ、同戰隊ト共ニ行動シ、損所ノ應急修理ヲ爲シツ、主トシテ「スウォーロフ」型戰艦隊ト砲火ヲ交ヘタリ、尋テ同五十分頃ニ至リ、左舷艦首ニ第二戰隊ヲ發見セシヲ以テ、直ニ速力ヲ増シ、第一戰隊ノ非戰側ヲ航過シテ之ヲ追跡セシモ、曩ニ艦尾ニ受ケタル損害ノ爲メ、浸水次第ニ増シテ艦尾沈下スルコト五呎ニ及ヒ、且四時十分頃敵ノ六尹砲彈一個、後部煙突ノ下部ヲ貫通シテ、焚火十分ナラサルカ爲メ、約十海里以上ノ速力ヲ出スコト能ハス、因テ煙突ノ損所ヲ修理シ、五時五分漸ク第二戰隊ニ追及シ、其ノ殿艦ト爲リテ戰鬪ヲ繼續シ、七時二十五分打方ヲ止メ、以テ此ノ日ノ戰鬪ヲ終レリ、

淺間ハ、上記ノ如ク此ノ日ノ酣戰中、多クハ單獨行動シタルカ爲メ、合戰ノ時期短ク、從テ其ノ發

射彈數モ僚艦ニ比スレハ著シク少シ、即チ八尹砲彈七十四發、六尹砲彈四百六十發、十二斤砲彈二百六十六發ナリ、

#### 第六款 殿艦撃手

撃手ハ、第二艦隊司令官海軍少將島村速雄ノ旗艦トシテ、第二戰隊ノ殿後ニ位置シ、午後二時十分距離八千五百米突ヲ測リ、敵ノ戰艦「オスラービヤ」ヲ目標トシテ、左舷砲ノ射撃ヲ開始シ、同十九分之中止シ、尋テ前續艦ニ倣ヒ、左舷ニ回頭シテ右舷戰鬪ニ移リ、敵艦列ノ後尾ヨリ四番艦ナル「インペラートル」ニコライ」ニ世ニ對シ、距離六千八百米突ニテ砲撃ヲ再始セシニ、忽チ敵後尾ノ諸艦ヨリノ集火ヲ被リ、數個ノ敵彈ヲ受ケタリ、就中二時二十三分頃、下甲板第三區ナル士官寢室ニ命中シタル八尹砲彈一個ハ、水線上ノ稍上方ニ、長サ十八吋幅十吋ノ破孔ヲ穿チ、同室隔壁及ヒ附近ノ通風筒等ヲ破リ、掌帆科倉庫内ニ入り、炸裂セスシテ庫内ニ止リ、幸ニ死傷者ヲ生セサリシモ、舷側ノ彈丸ヨリハ激浪滔々トシテ艦内ニ侵入シ、同區劃内ノ如キハ浸水忽チ二呎半ニ達シ、非常ナル困難ヲ冒シテ防水ニ努ムル際、同二十五分十二吋砲彈一個、再同區劃ニ命中炸裂シ、數十ノ彈片四方ニ散亂シ、防水ニ從事セル船匠師松崎安平、及ヒ卒二名ヲ傷ツケ、又同三十分ニハ十二尹敵彈一個、艦長室ニ命中シテ炸裂シ、同室内ヲ大破シ、下士卒四名ヲ傷ツケタリ、已ニシテ二時三十五分ニハ距離四千八百米突ト爲リ、十二斤砲ノ射撃ヲ開始シ、專ラ敵ノ先頭艦ニ集彈シ、尋テ急射撃ニ移リシニ、同四十分頃目標敵艦ハ遂ニ大火災ヲ起シ、ニ依リ、更ニ砲火ヲ三番艦ニ轉シ、益々猛烈ナル砲撃ヲ加ヘ、爆煙ハ空ヲ掩ヒ、落彈ハ浪ヲ騰ケ、劇戰ノ

狀眞ニ壯烈ヲ極メタリ、時ニ我カ艦隊ハ漸次敵艦隊ノ前路ニ進ミ出テ、敵陣ニ對シテ恰モ丁字ヲ形成シ、砲火ノ效力最顯著ト爲リ、同四十八分ニハ我カ砲彈一個敵三番艦ノ中央部ニ命中スルヤ、同艦ハ盛ニ白煙ヲ噴出シツ、列外ニ走り、敵ノ後尾數艦モ亦混亂シテ列外ニ逸出スルヲ見タリ、同五十分距離三千百米突ニ短縮シ、益々敵ヲ掩撃セシカハ、敵ノ隊列大ニ亂レ、漸次右方ニ屈折セリ、獨リ「シユム、ヂウグ」型敵艦一隻、三時四分頃第二戰隊ノ後尾ニ對シテ突進シ來リ、水雷攻撃ヲ試ミントスルカ如キ狀アルヲ以テ、直ニ之ヲ猛撃セシニ、同艦ハ爆煙ニ包マレツツ退却シ、同七分頃敵ノ五番艦タリシ「ホス、ラー、ビヤ」轉覆沈没シ、敵驅逐艦二隻其ノ附近ニ彷徨シテ、乗員ノ救助ニ從事セルカ如キヲ見、同十分頃左舷ニ回頭シ、同十三分右舷戰闘ヲ中止セリ、(警手ハ「ホス、ラー、ビヤ」沈没ヲ以テ「シユム、ヂウグ」型ノ沈没セシモノト誤認セリ)

午後三時二十一分、大損害ヲ負ヒテ孤立セル敵ノ旗艦「スウ、オー、ロフ」ニ對シテ左舷戰闘ヲ開始シ、同三十五分ニハ、其ノ距離僅ニ一千五百米突ニ減シ、我カ彈丸ノ命中頗ル多クシテ、同艦ハ全ク戰闘力ヲ失ヒタルモノ、如ク、其ノ上甲板以上ハ煙焰ニ蔽ハレテ、唯僅ニ水線附近ヲ認視シ得ルニ過キサルニ至リ、同四十分距離再遠サカリタルヲ以テ戰闘ヲ中止シ、同五十二分右舷ニ回頭セリ、四時六分右舷戰闘ニ復シ、時ノ嚮導艦ヲ目標トシテ、距離五千五百米突ヨリ砲撃ヲ再開シ、同十五分ニハ距離三千米突ニ近ツキ、再敵ノ前路ヲ壓セシカ、此ノ時敵ノ抗戰稍強烈ニシテ、飛彈舷側ヲ掠ムルモノ多ク、十二斤砲彈一個ハ前部煙突ニ命中炸裂シテ之ヲ貫キ、彈片ハ四番十二斤砲ヲ小破シ、十二斤砲彈一個ハ後部煙突直後ノスキット、ピトムニ中リテ炸裂シ、彈片

飛散シテ「メー、イン、デリック」及「ヒ其ノ附近ヲ破損シ、又反對舷ナル「ボート、ダビット」ヲ截斷シ、八尹彈一個ハ下甲板第二區舷側ヲ貫キテ炸裂シ、水準線ノ稍上方ニ於テ外飯ニ長サ一呎半幅九吋ノ破孔ヲ穿テ、附近ノ隔壁竝ニ清水罐及ヒ海水罐等ヲ破リ、十二斤彈一個モ亦同區劃ヲ貫キテ共ニ波浪ノ侵入ヲ來シ、又彈徑不明ノ一彈ハ前橋「リッギン」ヲ破斷セリ、四時二十五分距離遠サカリタルヲ以テ砲撃ヲ中止シ、爾後五時三十分頃ニ至ルマテ、濃氣ノ間ニ現出スル敵艦ニ對シテ射撃ヲ斷續シツ、敵ヲ索メテ南方ニ航下セリ、

午後五時三十分第二戰隊ハ第一戰隊ト分離シ、敵ヲ追ヒテ西方ニ向進シ、警手ハ同四十五分一煙突ノ敵艦ニ對シテ右舷砲火ヲ開キ、同五十分ニハ距離四千七百米突ニ、同五十五分ニハ六千七百米突ニ遠サカリ、目標ヲ二橋三煙突ナル敵艦ニ移シ、六時過追撃ヲ止メテ東方ニ變針シ、以テ第一戰隊ニ合センカ爲メ北方ニ向ヒ、同四十九分左舷戰闘ヲ開始シテ敵ヲ追撃シ、七時三十分頃日没ノ爲メ戰闘ヲ終結セリ、

此ノ日警手ハ殿艦タリシ故ヲ以テ、大ニ敵ノ集中火ヲ被リ、其ノ命中セシコト第一、第二兩戰隊中三笠ニ次キテ最多ク、其ノ數大小十七個ニ達セリ、即チ前記諸彈ノ外十二斤砲彈一個ハ、右舷中央「ネッチング」ニ命中シテ上甲板ヲ破リ、炸裂セスシテ艦内ニ止リ、同一個ハ中甲板第一區右舷側ヲ貫キテ衣囊棚、食器棚等ヲ破壞シ、同一個ハ右舷中央部ナル掌砲長室ニ穿入シ、室内書籍棚ヲ壞リ、炸裂セスシテ停止シ、不明彈一個ハ前橋右舷「リッギン」ヲ切斷シ、六尹彈一個ハ右舷側艦長室ニ命中シ、更ニ左舷側ヲ貫キテ艦外ニ飛去シ、其ノ他數個ノ六尹以上ノ跳彈、竝ニ舷外炸



裂彈破片ノ爲メ、端舟其ノ他ニ輕度ノ損害ヲ蒙レリ、然レトモ幸ニ乗員ノ損害ハ比較的輕少ニシテ、一名ノ戰死者ナク、僅ニ重傷二名輕傷十二名ヲ出シ、ニ過キス、而テ撃手ハ八尹砲彈百二十五個、六尹砲彈六百二十四個、十二斤砲彈五百個ヲ發セリ、

#### 第七款 通報艦千早

第二艦隊通報艦タル千早ハ、第二戰隊ト共ニ鎮海灣ヲ發シ、同隊ニ附隨シテ行動中、午前八時五十分頃、右舷機低壓偏心器帶環螺釘折損シタルカ爲メ、直ニ列ヲ離レテ之カ換裝ヲ行ヒ、午後一時二十五分修理終リテ列ニ復シ、第二戰隊ノ殿艦撃手ノ後方ニ續航セリ、一時四十分頃南西方ニ敵艦隊ヲ發見シ、二時二十分其ノ距離五千六百米突ヲ測リ、十二拇砲ヲ以テ戰鬪ヲ開始シ、同二十八分距離四千米突ニ減シ、十二斤砲ノ射撃ヲ始メシニ、同四十分ニハ敵ノ戰鬪艦火災ヲ起シ、同五十分ニハ「オスラービヤ」熾ニ白煙ヲ噴出シ、敵陣漸ク混亂シテ隊列明ナラス、同五十六分ニハ敵ノ四番艦(ボロヂノ型)ノ櫓折レ、二番艦(ボロヂノ型)ノ煙突倒レ、一番二番艦(共ニボロヂノ型)ハ大火災ヲ起スヲ見タリ、因テ千早ハ此ノ好機ニ乘シ、挺進シテ敵ニ近ツキ、三時六分右舷正横二千五百米突ナル三番艦ニ對シ、十四尹甲種水雷二發ヲ放チ、同十八分右舷砲ノ射撃ヲ中止シ、第二戰隊ニ倣ヒテ左方ニ回頭セリ、

午後三時二十七分、距離三千八百米突ヲ以テ左舷戰鬪ヲ開始セシニ、敵ノ隊列益々亂レ、スウオーロフト思ハル、戰艦一隻ハ火災愈烈シク、遂ニ運轉ノ自由ヲ失シ、僅ニ艦尾ノ輕砲一二門ヲ發射スルノミナルヲ認メ、千早ハ襲撃準備ヲ整へ、同三十九分距離二千六百米突ニ迫リ、尙

命中ノ正確ヲ圖ルカ爲メ速力ヲ半減シ、左舷ヨリ十四尹甲種魚形水雷二個ヲ發射セシニ、内一個ハ確ニ命中シタルカ如ク、敵ノ艦側ヨリ爆煙及ヒ水柱ノ昇騰スルヲ認メタリ、然ルニ同敵艦ハ何等ノ異狀ヲ呈セサルヲ以テ、更ニ艦首水雷ヲ發射センカ爲メ左舷ニ回頭シ、同五十分距離一千四百米突ト爲リ、將ニ水雷ヲ發射セントセシニ、艦首水雷ハ發砲ノ激動ト波浪ノ衝動トニ因リ、已ニ半ハ發射管外ニ脱出シテ發射不能ト爲リ、且適第五驅逐隊ノ同敵艦ニ向ヒテ突進シ來リタルヲ以テ、千早ハ少シク敵ヲ避ケテ四時零分汽機ヲ停止シ、獨リ戰場ニ孤立シテ艦首水雷ノ收込ニ著手シ、四時四十六分ノ終レリ、千早ハ其ノ襲撃中敵ノ三彈ヲ受ケ、一ハ大櫓、ベッキステイ「一條ヲ切り、一ハ後部探海燈臺ノ支柱一本ヲ折リ、一ハ左舷水線下ニ命中シテ炭庫内ニ浸水スルニ至リタルヲ以テ、直ニ應急防水工事ニ著手シ、午後六時之ヲ終レリ、遇敵ノ主力艦隊ハ南方ヨリ漸次近ツキ來リシヲ以テ、千早ハ我カ艦隊ニ合センカ爲メ、砲聲ヲ辿リテ第二戰隊所在ノ方面ニ向ヒシニ、其ノ途中、同十五分頃第一戰隊ノ東方ヨリ來ルニ會シ、其ノ命ニ依リ同戰隊ノ右舷後方ニ隨航シ、七時五十分第二戰隊ニ合セリ、

此ノ日千早ハ、十二拇砲彈百五十六發、十二斤砲彈百二十二發ヲ發射シ、十四尹魚形水雷四個ヲ放テリ、乗員ノ損害ハ敵彈ニ基因セサル輕傷者四名ヲ生シタルニ過キス、

#### 第四節 第三戰隊ノ戰況

##### 第一目 戰鬪前記

出羽第一艦隊司令官ノ引率セル第三戰隊ノ笠置(同司令官旗艦)、千歲、音羽、新高ハ、東郷聯合艦隊司令

長官ノ命ニ依リ、五月二十六日午前八時三十分、第四驅逐隊ト共ニ尾崎灣ヲ發シ、第四警戒線ニ向ヒシカ、天候漸ク險惡ト爲リシヲ以テ、出羽司令官ハ驅逐隊ヲシテ尾崎灣ニ避難セシメ、第三戰隊ハ是ノ日夕刻「（附圖參照）」ニ達シテ附近ヲ警戒中、翌二十七日午前四時五十分、哨艦信濃丸ヨリ、敵艦隊ヲシキ煤煙見ユ、トノ電信ニ接シ、續テ敵ノ第二艦隊二〇三地點ニ在リトノ確報ニ接セリ、是ニ於テ出羽司令官ハ直ニ之ヲ根據地ニ在ル聯合艦隊司令長官ニ轉電シ、敵ト出會スルノ目的ヲ以テ、速力ヲ増シテ南東ニ向ヒ索敵セシニ、五時五十分敵病院船一隻ノ二二四地點ヲ北東ニ航進セルヲ發見シ、且其ノ南方ニモ煤煙ヲ認メタルヲ以テ、尙同方向ニ航下シツ、索敵セシニ、七時五分和泉ヨリ、敵ハ今二二五地點ニ在リテ北東ニ進ム、トノ報ニ接シ、茲ニ初テ敵ノ已ニ我カ北方ニ脱出セルヲ知り、乃チ速力ヲ十六海里ニ増シ、針路ヲ反轉シテ北東ニ追敵セリ、已ニシテ十時三十分ニ至リ、對馬神埼ノ南方約十五海里ニ於テ、霧霧ノ裡微ニ二三ノ艦影ヲ發見シテ之ニ向ヒシニ、同四十二分ニ至リ、稍明ニ其ノ敵艦タルヲ認識スルコトヲ得、爾後之ヲ右舷正横四海里乃至五海里ニ見テ、觸接ヲ保チツ、東水道ヲ北上セシニ、我カ第三艦隊モ亦既ニ敵ノ左前方ニ在リテ觸接スルヲ見タリ、而テ敵ハ霧霧ノ裡ヨリ一隻一隻其ノ姿ヲ現シ、十一時頃ニ至リテハ、軍艦二十八隻、驅逐艦八隻ノ陣形蜿蜒トシテ相連ルヲ明認シ、敵狀ヲ視察シテ之ヲ三笠ニ電報セリ、時ニ敵艦隊ノ速力八十二海里ヲ超エサルモノ、如ク、第三艦隊ハ益、敵ニ接近シテ、同四十分ニハ敵ヲ右舷正横八千米突ニ望ムニ至レリ、此ノ時敵ハ二列縱陣ヲ作り、其ノ右翼列ハ「スウォーロフ」型戰艦四隻ヲ先頭トシ、其ノ他ノ戰艦四隻之ニ次キ、左

翼列ハ右翼列ヨリモ稍後方ニ位置シ、「ニコライ」一世ヲ嚮導トシテ海防艦、巡洋艦及ヒ特務船ノ順序ニ配列セルカ如ク、檣頭高ク戰闘旗ヲ翻シ、約東北東ノ針路ヲ保テリ、第三戰隊ハ之ト竝進シツ、益、偵察ニカムルウチ、同四十二分敵先ツ開砲シタルヲ以テ、我亦直ニ應戰セシカ、敵ツ彈著良好ニシテ、彈丸悉ク我カ附近ニ落下セリ仍テ、第三戰隊ハ之ヲ避ケンカ爲メ、速力ヲ増シテ十八海里ト爲シ、左四點一齊回頭ヲ行ヒ、交戰距離以外ニ出ツルヤ、再單縱陣ニ復シ、爾後速力ヲ加減シツ、約九千米突ノ距離ヲ以テ、敵ト觸接ヲ保持シ、尋テ其ノ前路ニ出テ、午後一時二十分頃、始テ我カ主力艦隊ノ北東濛氣ノ裏ヨリ現出スルニ會シ、乃チ敵ヲ之ニ讓リテ北方ニ轉針セリ、是ヨリ先キ前夜風波ヲ尾崎灣ニ避ケシメタル第四驅逐隊ハ、此ノ朝敵艦隊現出ノ警電ニ接スルヤ、直ニ出港シテ午前九時頃早クモ敵ト觸接シ、午後一時頃東水道ニ於テ第三戰隊ニ合セシカ、出羽司令官ハ當日ノ如キ天候ニテハ、高速力ヲ以テ第三戰隊ト共ニ行動セシムルコトノ困難ナルヲ思ヒ、之ニ任意行動ヲ命シ、同驅逐隊ハ他ノ驅逐隊ト共ニ第一戰隊ニ隨行セリ、

## 第二目 一般戰況

五月二十七日朝來敵艦隊ト觸接ヲ保チツ、行動セシ第三戰隊ハ、午後一時三十分頃、我カ主力艦隊ノ敵ト觸接スルニ及ヒ、其ノ運動ヲ妨ケサランカ爲メ、第二戰隊ノ後方ヲ過キテ其ノ北方ニ出テ、二時十分速力ヲ十八海里ニ増シ、我カ第一、第二戰隊ノ外方ヲ迂回旋航シテ、敵ノ後尾ニ出テ、二時四十五分「オレーグ」「アウローラ」「ドミトリ」「ドンズロイ」「ツラヂイミル」、モソマ

フ等ノ巡洋艦竝ニ特務船隊ニ對シ、約七千八百米突ノ距離ヨリ戰鬥ヲ開始セシカ、風波強烈ニシテ艦ノ動搖甚シク、怒濤屢艦内ニ打込ミ、殊ニ風浪ニ逆行スル際ノ如キハ、艦首砲ハ激浪ノ爲メ發砲スル能ハス、砲員ハ常ニ雨合羽ヲ著シテ戰鬥ニ從事セリ、已ニシテ第三戰隊ハ敵ノ後尾ヲ横過シテ、敵巡洋艦列ノ右側ニ出テ、略之ト竝航シツ、我カ第四戰隊ト共同聯絡シテ、五千米突内外ノ射距離ヲ以テ、益々敵ヲ猛撃セシニ、此ノ時敵ハ巡洋艦隊ヲ主戰艦列ノ右側後方ニ置キ、假裝巡洋艦及ヒ特務船ハ、巡洋艦隊ノ後方ニ續航セルカ如ク、砲撃少時ノ後敵ノ後尾ハ大ニ亂レ、殊ニ特務諸船ノ損害著シク、或ハ火災ヲ起シ、或ハ進退ノ自由ヲ失スルモノ續出シ、「オレーグ」「アウローラ」「ドンスコイ」等ハ其ノ救援ノ爲メ、三時三十分頃針路ヲ反轉シテ一時西方ニ向ヘリ、是ニ於テ第三戰隊モ亦敵ノ運動ニ對應シ、且北方ニ行動セル我カ主力艦隊ノ運動ヲ妨ケサランカ爲メ、三時三十五分約十八點右舷ニ回頭シテ敵ノ前路ヲ扼シ、右舷砲火ヲ以テ「オレーグ」「アウローラ」等ニ當リ、屢火災ヲ起サシメ、高速力ヲ利用シテ敵ヲ旋撃シツ、四時七分頃再東方ニ向進シ、左舷戰鬥ニ復セリ、此ノ時ニ當リ敵ノ陣形ハ益々潰亂シ、工作船「カムチャーツカ」ハ半ハ沈没セルカ如ク、二橋二煙突ノ假裝巡洋艦ハ進退ノ自由ヲ失ヒ、四橋一煙突ノ特務船及ヒ「ウラール」型假裝巡洋艦一隻ハ大火災ニ罹リ、其ノ他ノ巡洋艦モ亦多少ノ損害ヲ蒙ラサルハナク、各艦相分離シテ右往左往始ト隊形ヲ成サル、ニ至レリ、四時三十分速力ヲ十五海里ニ減シ、第四戰隊以下ト協力シテ、倍々敵ヲ追撃シツ、漸次北東方ニ向進セシニ、曩ニ我カ第一、第二戰隊ト交戦シツ、北東方ニ向ヒタル敵ノ主力艦隊ハ、此ノ時突然北方靄霧ノ裡ヨリ現

出シ來リ、其ノ巡洋艦及ヒ特務船ヲ掩護シテ、我カ第三、第四戰隊ニ向ヒ砲火ヲ開キ、爲メニ兩戰隊ハ多少ノ損害ヲ蒙リ、且一時苦境ニ陥ラントセシヲ以テ、第三戰隊ハ五時零分速力ヲ十六海里ニ増シ、右四點一齊回頭ヲ以テ敵ヲ東方ニ避ケ、五時八分再右四點一齊回頭ヲ以テ單縱陣ニ復シ、北方ニ向進セリ、適我カ第一、第二戰隊ハ敵主力ヲ追ヒテ南下シ來リ、彼我ノ中間ニ進入セシヲ以テ、第三戰隊ハ同二十五分南東方ニ變針シ、十四海里ニ減速シ、第一、第二戰隊ノ後ニ從ヒテ再敵ニ迫ラントセリ、

然ルニ是ヨリ先キ午後三時八分頃、旗艦笠置ハ水線下右炭庫ニ敵彈ヲ受ケ、直ニ防水ニカメシモ其ノ效ナク、浸水漸次増加シテ遂ニ汽罐室ヲ侵シ、汽罐ノ一部ヲ消火スルノ已ムヲ得サルニ至リタルヲ以テ、出羽司令官ハ其ノ旗艦ヲ千歳ニ移サント欲シ、午後六時新高、音羽ヲシテ列ヲ解キ、臨時、第二艦隊司令官海軍中將瓜生外吉ノ指揮下ニ入リテ、第四戰隊ニ合セシメ、笠置、千歳ヲシテ戰線外ニ出テ、漂泊セシメシモ、風波烈シクシテ移乘困難ナルノミナラス、笠置ノ浸水ハ刻々増加シテ、今ヤ單獨避難セシムルコトノ危険ヲ認ムルニ至リタルヲ於テ、千歳ヲシテ最近陸岸マテ之ヲ護送セシムルコトニ決シ、同二十分笠置、千歳ヲ率非テ戰場ヲ去リ、八時三十分油谷灣ニ著シ、直ニ旗艦ヲ千歳ニ移シ、笠置ヲ留メテ應急修理ニ從事セシメ、午後九時五十分千歳ヲ率非テ油谷灣ヲ出發セリ、

### 第三目 各艦ノ戰況

一番艦笠置ハ出羽第一艦隊司令官ノ旗艦トシテ列ノ先頭ニ位置シ、午後二時五十分頃敵巡洋

艦ニ對シ、左舷側ヲ以テ反航戰ヲ開始シ、漸次敵ノ後尾ヲ旋リテ其ノ右側ニ出テ、戰鬪次第ニ劇烈ト爲リ、而テ敵ノ射撃モ亦良好ニシテ、其ノ飛彈ノ艦側ヲ掠ムルモノ頗ル多ク、午後三時八分頃、一彈左舷石炭庫水線下十二呎ノ處ニ命中シテ破孔ヲ生シ、同十分頃、六尹砲彈一個第一區左舷側ヲ貫通シ、此處ニ設ケタル治療所ノ諸設備ヲ一掃シ、第一、第二兩區間ノ隔壁ヲ貫キ、第二區ノ「スチーム、ヒーター」「ボーム」等ヲ破壊シ、海軍三等機關兵松下島吉ヲ傷ツケテ死ニ至ラシメ、其ノ他下士卒八名ヲ傷ケタリ、而テ此ノ時敵ノ後尾ハ其ノ陣形已ニ大ニ亂レ、頗ル苦戰ノ狀ヲ呈セシヲ以テ、益、敵ニ近ツキ、約五千米突ヨリ猛烈ナル砲撃ヲ加ヘタリ、午後三時四十分頃、敵驅逐艦三四隻我ニ向ヒ突進シ來レルヲ以テ、直ニ之ヲ撃退シ、四時二十分頃ニハ、進退ノ自由ヲ失シタルカ如キ工作船「カムチャーツカ」ト思ハル、敵船ヲ猛撃シ、同二十八分頃ニハ、距離六千米突ヨリ、「ドミトリ」「ドンスコイ」ニ集彈シ、四時五十分頃我カ主力艦隊ノ壓迫ヲ受ケテ、北方ヨリ航下セル敵ノ主力ト思ハル、モノ四隻ノ砲撃ヲ受ケシヲ以テ、之ヲ避ケツ、「ジエムチツグ」及ヒ「ウラール」型艦ヲ砲撃セリ、是ヨリ先キ午後三時八分頃左舷水線下ニ受ケタル彈孔ヨリ、浸水甚シキヲ以テ、其ノ防水ニ努メシモ、損所ハ水線下炭庫内ナルニ由リ、應急修理ヲ施スコト甚困難ニシテ、且各唧筒ノ吸水弁ハ、炭塊、灰塵等ニヨリ閉塞セラレ、驅水スルコトヲ得ス、爲メニ浸水ハ漸次増加シテ、五時三十分頃遂ニ汽罐ノ一部ヲ消火スルノ止ムヲ得サルニ至レリ、加之四周ノ隔壁ハ膨出シテ漸ク危険ノ兆ヲ呈セルヲ以テ、出羽司令官ノ命ニ依リ、午後六時戰列ヲ脱シ、總員排水ニカメツ、千歳ニ掩護セラレテ最近港灣ニ避難シ、翌二十八日午前十一時

修理完成シタルヲ以テ、直ニ戰場ニ向ヒテ出發セリ、此ノ日笠置ノ發射シタル彈丸ハ、八尹砲彈四十一個、十二拇砲彈三百四十個、十二斤砲彈百九十九個ニシテ、敵彈ノ命中シタルモノハ、前記ノ外數個ノ彈片ヲ受ケ、煙突、「レール」、錨等ニ輕微ノ損害ヲ蒙レリ、二番艦千歳ハ、笠置ニ續行シ、二時五十五分前部八尹砲ヲ以テ、距離約七千八百米突ヨリ、敵巡洋艦列ノ後部ニ對シ砲撃ヲ開始シ、漸次接近シテ三時四十分頃ニハ約四千米突ニ近ツキ、「オレーグ」「アウローラ」「ドンスコイ」「アルマーズ」等ノ巡洋艦、及ヒ特務艦ヲ猛撃シテ、妙カラサル損害ヲ與ヘ、尋テ針路ヲ西方ニ變シ、敵ト遠サカリタルヲ以テ、一時射撃ヲ中止セリ、午後四時頃右舷前方約四千五百米突ニ、敵驅逐艦四隻ヲ發見シテ之ヲ撃退シ、爾後再敵巡洋艦及ヒ特務艦ヲ砲撃セリ、同二十分頃彈徑不明ノ敵彈一個、六番十二斤砲ニ命中シテ之ヲ破壊シ、該砲員海軍一等水兵中森彦四郎、同飯田利吉ノ二名ヲ殲シ、下士卒四名ニ重傷ヲ負ハシメ、又他ノ十二拇大ノ敵彈一個ハ、第一「カッター」ヲ貫通セリ、同四十五分頃ヨリ六千乃至七千米突ノ距離ヲ以テ、敵主力艦隊ト思ハル、モノト砲火ヲ交ヘ、五時戰鬪ヲ止メ、六時戰場ヲ離レ、笠置ヲ護衛シテ油谷灣ニ到リ、出羽司令官ノ旗艦ト爲リ、九時五十分同灣ヲ發シ、翌朝ノ豫定集合地點タル鬱陵島ニ向ヘリ、此ノ日千歳ハ八尹砲彈六十二個、十二拇砲彈二百五十九個、十二斤砲彈百五十六個ヲ發射セリ、三番艦音羽ハ、午後三時七分敵艦隊ノ後尾ニ對シ始テ砲火ヲ開キ、八千乃至五千米突ノ距離ヲ以テ戰鬪ヲ持續シ、同三十分頃三櫓二煙突ノ敵特務艦一隻、稍左舷ニ傾斜セルヲ認メ、行々之ヲ砲撃シ、其ノ他巡洋艦及ヒ假裝巡洋艦等ノ列ヲ亂シテ彷徨セルモノヲ撃チ、大ニ敵ヲ混亂セシ



メツ、午後六時出羽第一艦隊司令官ヨリ、音羽、新高ハ瓜生第二艦隊司令官ノ指揮下ニ入ルヘシ、トノ命アリタルヲ以テ、笠置、千歳ト分離シ、第四艦隊ノ列ニ入レリ、  
 四番艦新高ハ、午後三時十八分距離八千米突ヨリ、「オレーグ」型巡洋艦ニ對シテ、六尹砲ノ射撃ヲ始メ、距離短縮スルニ從ヒ、漸次射撃速度ヲ増シ、六千米突以内ニ近ツクニ及ヒ、十二斤砲ノ發射ヲ開始セリ、同二十七分二橋一煙突ノ敵假裝巡洋艦ヲシキモノ一隻、猛煙ニ包マレツ、アルヲ見、距離四千米突ヨリ之ヲ猛撃セシニ、少時ノ後忽焉トシテ其ノ影ヲ沒セリ、此ノ時敵ノ六尹砲彈一個、左舷側四番六尹砲臺ノ「スポンソン」ヲ貫通シ、砲橋ノ下部ニ中リテ炸裂シ、附近ニ小損害ヲ與ヘ、海軍一等兵曹吉田秀三郎ヲ殲シ、卒ニ名ヲ傷ツケタリ、同三十五分針路ヲ反轉シテ右舷戰鬪ニ移リ、「スウォーロフ」型戰艦一隻ノ大火災ヲ起シ、進退自由ナラサルカ如キヲ認メ、距離五千五百米突ヨリ之ヲ猛射シ、尋テ驅逐艦數隻ノ突進シ來ルヲ撃攘セリ、四時十五分距離六千四百米突ヨリ、再左舷戰鬪ニ復シ、敵巡洋艦隊ヲ砲撃シ、五時六分敵ト遠サカリテ發砲ヲ中止シ、六時旗艦ヨリノ命ニ依リ、音羽ト共ニ瓜生第二艦隊司令官ノ指揮下ニ入り、第四艦隊ト行動ヲ共ニセリ、

#### 第五節 第四艦隊ノ戰況

##### 第一目 一般戰況

瓜生第二艦隊司令官ノ引率セル 第四艦隊浪速(瓜生司令官旗艦)、高千穂、明石、對馬ハ、二十七日朝鎮海灣出發以來第一、第二艦隊ト共ニ行動シ、午後一時三十分頃敵艦隊ノ先頭ヲ南西迴ニ濛氣ノ裡

ニ發見スルニ及ヒ、豫定戰策ニ從ヒ行動センカ爲メ、第一、第二艦隊ト分レ、左方ニ轉回シテ北方ニ向ヒ、速力ヲ十六海里ニ増シ、二時十分北東方ニ變針シ、第三艦隊ノ運動ニ合セントス、時ニ敵艦隊ノ先頭ヲ左舷約八千米突ニ望ミタルヲ以テ、之ニ對シテ約十分間砲火ヲ注キ、尋テ二時二十五分南方ニ變針シ、同四十五分敵ノ後尾ニ對シテ左舷反航戰ヲ再始シ、爾後常ニ第三艦隊ノ内方ニ位置シ、之ト相呼應シテ運動ヲ共ニセリ、時ニ「アウローラ」ト思ハル、モノ、其ノ隊列ヲ離レテ單獨突進シ來ルカ如キヲ認メ、四千乃至六千米突ノ距離ヨリ之ヲ猛射シテ撃退シ、漸次南東ヨリ東方ニ向進シ、敵隊列ノ後尾ヲ攻撃シツ、之ヲ繞リ、三時十分頃ヨリハ敵巡洋艦列ノ右側ニ出テ、之ト竝行戰ヲ持續セリ、時ニ左舷前方約五千米突ノ處ニ於テ、敵驅逐艦數隻ノ何事カヲ爲シツ、アルヲ認メ、直ニ砲火ヲ之ニ集中セシニ、敵ハ倉皇トシテ隊列中ニ遁入セリ、其ノ舉動ヨリ察スルニ、機械水雷ヲ撒布シタルモノ、如ク、後ニ至リ我カ艦隊ハ果シテ數個ノ機械水雷ノ戰場ニ浮流スルヲ確認シタリト云フ、(實際ハ「オスマービー」乗員救助中ナリシモノ、如シ)而テ此ノ頃ニ至リ、敵ノ後尾ナル特務艦船ハ、我カ第三、第四艦隊砲撃ノ爲メ漸ク混亂シ、火災ヲ起スモノ、運轉ノ自由ヲ失スルモノ等ヲ生シ、「オレーグ」、「アウローラ」等ハ其ノ掩護ニカマルモノ、如ク、三時二十八分頃其ノ針路ヲ反轉シ來リタルヲ以テ、我カ諸艦ハ約四千米突ノ距離ヨリ、益々猛烈ナル砲撃ヲ加ヘシニ、我カ彈丸著々敵艦ニ命中シ、屢火災ヲ起スヲ見タリ、三時三十八分頃第四艦隊ハ右舷ニ回頭シテ西方ニ向進シ、敵巡洋艦ニ對シテ緩徐ナル右舷砲火ヲ加ヘシカ、此ノ前後我カ諸艦モ亦多少ノ敵彈ヲ被リ、高千穂ノ如キハ水面ヲ打チタル敵彈ノ激動ニ因リ、舵鎖ニ故障ヲ生

シ、修理ノ爲メ遂ニ列外ニ出テ、南方ニ避戦スルノ已ムヲ得サルニ至レリ、四時十分浪速、明石對馬ノ三艦ハ、再東方ニ變針シテ戦闘側ヲ左舷ニ復シ、同三十分頃、ルズ「ト思ハル、二橋二煙突ノ敵特務船一隻、隊列ヲ離レテ孤立セルヲ認メ、一擧ニ之ヲ撃沈セント欲シ、一千八百米突ノ近距離ニ肉薄シテ殆ト沈没ニ至ラシメ、尋テ四千米突乃至五千米突ノ距離ヲ測リテ、敵巡洋艦及ヒ假裝巡洋艦ニ砲火ヲ移シ、特ニ巡洋艦「オレグ」「イズムルード」及ヒ特務船「イルツイシ」等ニ砲火ヲ集中シツ、同五十分北東ニ變針セリ、然ルニ我カ主力艦隊ノ壓迫ヲ受ケタル敵主力艦數隻ハ、此ノ時突如トシテ北方ヨリ現出シ、其ノ巡洋艦隊ト合シ、約四千米突ノ距離ヨリ、我ニ對シテ猛火ヲ注キシカハ、敵彈ノ命中スルモノ少カラス、爲メニ動モスレハ苦境ニ陥ラントスルノ虞アルヲ以テ、第四戰隊ハ五時零分東方ニ、同十分北東ニ變針シテ戦ヲ避ケ、尋テ我カ第二戰隊ノ敵ヲ追ヒテ來ルニ會シ、其ノ運動ニ準シテ同二十分再西方ニ向進セリ、是ヨリ先キ五時頃旗艦浪速ハ、左舷後部水線附近ニ一彈ヲ受ケ、浸水ヲ見ルニ至リタルヲ以テ、五時四十分速力ヲ緩メ、彈孔ノ應急杜塞ヲ行ヒ、同四十三分再戦闘速力ニ復シ、六時十分敵ヲ追ヒテ北方ニ變針セリ、午後六時零分出羽第一艦隊司令官ヨリ、音羽、新高ヲ瓜生第二艦隊司令官ノ指揮下ニ入ルル旨ノ無線電信ニ接シ、幾何モナク兩艦ハ第四戰隊ノ航跡ニ入り、對馬ノ後尾ニ續航シ、又曩ニ舵機故障ノ爲メ列外ニ出テタル高千穂モ、故障復舊シテ同二十分來會シ、新高ノ後ニ入りテ殿艦ノ位置ヲ占メ、茲ニ六隻ノ單縦陣ヲ制レリ、尋テ敵兵ノ乗レル端舟、船具等ノ數多浮流セル海面ヲ航過シ、同三十分進退自由ヲ失シ且甚シク傾斜セル工作艦「カムチヤトツガ」ヲ、三千米突ヨリ

砲撃シテ、更ニ多大ノ損害ヲ與ヘ、同時ニ橋及ヒ煙突ヲ失ヒ、煙焰ニ包マレタル戦艦「スウオーロフ」ヲ二千二百米突ニ見テ航過セシモ、其ノ既ニ戦闘力ヲ失ヘルノミナラス、我カ第五、第六戰隊ノ之ニ當レルヲ以テ、少許ノ砲撃ヲ加ヘタルノミニテ、同五十分射撃ヲ中止シ、前方迥ニ濛氣ノ裡ニ敵主力ノ砲火ヲ認メ、之ニ向ヒテ直進セシモ、遂ニ敵ト砲火ヲ交フルニ至ラスシテ日暮ト爲リ、此ノ日ノ戦闘ヲ終結セリ、

## 第二目 各艦ノ戦況

瓜生司令官ノ旗艦浪速ハ、第四戰隊ノ先頭ニ位置シ、午後二時十分頃ヨリ、距離五千五百乃至七千五百米突ヲ測リテ、敵ノ嚮導艦「クニヤージ」「スウオーロフ」ニ對シテ少時砲撃ヲ加ヘ、尋テ敵ノ後尾ヲ繞リ、三時零分距離六千五百米突ヨリ、敵巡洋艦ニ對シテ緩射撃ヲ開始シ、距離ノ近ツクニ從ヒテ射撃速度ヲ増シ、特ニ其ノ先頭艦ヲ猛撃セリ、同四十分針路ヲ反轉シテ右舷戦闘ニ轉シ、距離四千米突ヨリ、敵巡洋艦及ヒ特務船ニ對シテ急射撃ヲ加ヘ、同五十二分ヨリハ、距離六千七百米突ナル巡洋艦ニ對シテ緩射撃ヲ行ヒ、四時三分頃敵驅逐艦三隻、巡洋艦隊ノ列中ヨリ顯レ、距離四千米突ニ近ツキタルヲ以テ、直ニ急射撃ヲ加ヘテ退却セシメ、同十分右舷ニ轉針シテ再東方ニ向進セリ、四時二十五分艦首ニ方リ、敵ノ特務船一隻運轉自由ヲ失セルヲ認メ、最近距離一千八百米突ニ迫リテ之ヲ猛撃シ、同四十分敵巡洋艦、特務船等ノ混亂重疊セルヲ認メ、約六千米突ヲ測リテ巡洋艦「オレグ」「アウローラ」「イズムルード」型等ヲ射撃シ、尋テ約四千四百米突ニ現レタル戦艦四隻ト砲火ヲ交ヘ、更ニ射撃目標ヲ四千八百米突ナル「ウラール」型假裝巡洋艦

及ヒ運送船「イルツイシ」ニ移セリ、五時零分敵ノ六尹彈一個、左舷後部水線附近ニ命中シ、士官糧食庫内ニ入りテ炸裂シ、其ノ彈片ハ附近諸食庫ニ損害ヲ與ヘ、且浸水ヲ見ルニ至リタルヲ以テ、同四十分速力ヲ緩メテ彈孔ヲ杜塞シ、六時二十五分大破セル工作船「カムチャーツカ」竝ニ戰艦「スウォーロフ」ヲ近距離ヨリ砲撃シツ、之ヲ航過シ、尋テ戰鬥ヲ止メタリ、此ノ日浪速ハ前記ノ外、午後四時三分頃四十七密砲彈一個、左舷前部水雷方位盤ノ直上ニ中リテ、下士一名ヲ傷ツケ更ニ上甲板ヲ貫通シテ下甲板ニ至リ、海軍中尉小高鎌之助ヲ殛シ、五時七分ニハ六尹大ノ敵彈一個、第一「カッター」収納ビーム附近ニ炸裂シテ、卒一名ヲ傷ツケ、六時三十分ニハ六尹砲彈一個、後艦橋下方ニ命中シテ卒一名ヲ傷ツケ、其ノ他後艦橋下方ニ數個ノ彈孔ヲ生セシモ、孰レモ幸ニシテ損害大ナラサルヲ得タリ、

二番艦高千穂ハ、午後二時十一分、距離約八千六百米突ヨリ、敵ノ戰艦隊ニ對シテ砲火ヲ開キ、同二十分之中止シ、二時四十七分更ニ敵ノ後尾ナル特務船ニ對シ、距離六千米突ヲ測リテ砲撃ヲ開始シ、漸次接近シテ四千三百米突ニ至リ、益々敵ヲ急撃シ、三時七分砲火ヲ「オレーグ」アウローラ等ニ移セリ、同三十分頃此等巡洋艦ハ特務船隊ヲ掩護セントスルモノ、如ク、針路ヲ反轉シ來リテ距離四千米突以内ニ近ツキ、戰鬥頗ル劇烈ヲ極メ、敵ハ屢火災ヲ起シ、且陣形殆ト潰亂ノ狀ヲ呈セリ、三時三十分前續艦ニ倣ヒ、右舷ニ回頭中敵ノ一巨彈、右舷艦尾水線下ニ命中シ、未タ穿孔スルニ至ラザリシモ、船體ニ大激動ヲ與ヘ、爲メニ舵機ニ故障ヲ生シタルヲ以テ、射撃ヲ中止シテ列外ニ出テ、五時修理ヲ終リ速力ヲ増シテ本隊ヲ追躡セリ、已ニシテ同十二分左

舷艦首約五海里ニ、敵ノ戰艦三隻及ヒ巡洋艦數隻ノ我ニ向ヒ來ルヲ認メ、之ヲ南方ニ避ケシカ、同二十分距離八千六百米突ヨリ敵先ツ發砲シタルヲ以テ、高千穂モ亦應戰シツ、遇敵ヲ追ヒテ東方ヨリ來航セル我カ第二戰隊ノ後尾ヲ繞リ、六時二十分第四戰隊ニ合シ、新高ノ後方ニ就キテ殿艦ト爲レリ、同二十六分距離四千八百乃至三千三百米突ヨリ「カムチャーツカ」竝ニ「スウォーロフ」ヲ砲撃シ、同三十七分射撃ヲ中止シ、以テ此ノ日ノ戰鬥ヲ終レリ、高千穂ハ此ノ日午後三時四十二分頃敵ノ一彈煙突中央部ヲ貫キ、徑約三百密米ノ穿孔ヲ生シ、卒一名輕傷ヲ負ヒタルノミニシテ、他ニ損害ヲ蒙ラス、

三番艦明石ハ、午後三時十分、距離六千米突ヲ測ルニ及ヒ、敵巡洋艦列ニ對シ始テ砲火ヲ開ケリ、此ノ時「オレーグ」アウローラ「」兩艦ハ、其ノ隊列ヲ離レ恰モ我ニ向ヒ進ミ來ルカ如ク、距離三千九百米突ニ近ツキタルヲ以テ、之ニ對シ猛烈ナル砲撃ヲ加ヘシニ、我カ彈丸ノ敵ニ命中スルモノ頗ル多ク、其ノ先頭艦ハ屢火災ヲ起スヲ見タリ、同三十五分頃敵ノ六尹彈一發、前甲板ニ中リシモ炸裂セス、斜ニ右舷側ヲ貫キテ海中ニ落下セリ、同四十五分頃西方ニ變針シ、右舷戰鬥ヲ準備セシモ、距離遠クシテ發砲スルニ至ラス四時過ニ番艦高千穂、舵機故障ノ爲メ列外ニ出デシヲ以テ、二番艦ノ位置ニ就キ、四時十五分再右舷ニ回頭シテ東方ニ向ヘリ、四時二十分頃「ス」型ノ特務艦一隻、運轉ノ自由ヲ失セルカ如キヲ認メ、近距離ヨリ之ヲ猛撃シテ多大ノ損害ヲ與ヘ、尋テ左舷艦首ニ現レタル敵戰艦隊ニ對シ、距離六千八百米突ヲ測リテ砲火ヲ交ヘ、漸次接近シテ四千五百米突ニ至リシニ、敵彈艦周ニ雨下シ、明石ハ忽チ數個ノ敵彈ヲ受ケタリ、即チ



五十七密彈一個ハ、二番砲門下舷側ヲ貫キ、炸裂セスシテ防禦甲板上ニ落下シ、又同種彈一個ハ、六番砲門下水線附近ヲ貫通シテ石炭庫内ニ止リ、十二擲砲彈一個ハ、後部煙突ノ中央部ヲ貫キ、其ノ他或ハ「リッギン」ヲ切斷シ、或ハ通風筒ヲ破リタルモノアリシモ、何レモ損害大ナラザリキ、五時稍過クル頃、十二擲砲彈一個、艦尾ヨリ艦長室ニ入りテ炸裂シ、室内器具等ヲ破壊シ、海軍二等水兵櫻井年松ヲ即死セシメ、同猪熊惣平、海軍四等水兵井口定一ヲ重傷死ニ至ラシメ、其ノ他卒七名ヲ傷ツケタリ、遇我カ第二戰隊ハ敵主力ヲ追ヒテ、彼我ノ中間ニ進入シタルヲ以テ、敵ノ砲火漸ク衰へ、同十五分砲戰距離以外ニ出テ、尋テ第二戰隊ノ運動ニ倣ヒテ、再西方ニ變針シ、六時十分更ニ北方ニ向ヒ、同三十分進退ノ自由ヲ失セル「カムチャーツカ」竝ニ「スウオーロフ」ヲ右舷近距離ニ航過シツ、之ヲ射撃シ、尋テ戰闘ヲ中止セリ、

四番艦對馬ハ、午後一時十六分、敵左右列ノ先頭艦「オスラービヤ」及ヒ「スウオーロフ」ニ對シ、距離五千五百米突ヲ測リテ、左舷戰闘ヲ開始シ、尋テ距離遠サカリタルヲ以テ射撃ヲ中止シ、敵ノ後尾ヲ繞リテ、三時八分假裝巡洋艦ト思ハル、三煙突ノ敵艦ニ對シ、六千二百米突ノ距離ヨリ砲撃ヲ再始シ、漸次接近シテ五千三百米突ニ至レリ、同十二分「オレーグ」竝ニ「アウローラ」ト思ハル、敵艦ニ對シ、五千四百米突ヲ測リテ砲火ヲ注キ、同二十一分六千六百米突ナル二煙突ノ假裝巡洋艦ニ砲火ヲ移シ、同三十分四千五百米突ニ近ツキテ急射撃ヲ爲シ、同三十三分ニハ更ニ四千四百米突ニ迫リ、目標敵艦ハ火災ヲ起スコト二回ニ及ヒ、其ノ他特務船モ亦多大ノ損害ヲ蒙リタルモノ、如ク見エタリ、同三十五分頃敵ノ巡洋艦之ヲ掩護センカ爲メ、針路ヲ轉シテ續々

濃氣ノ裡ヨリ現出シ來リ、距離三千七百米突ニ近ツキ、戰闘愈劇烈ト爲リ、我カ砲彈頻ニ敵艦ニ命中シテ、火災ヲ起スモノ尠カラサルト共ニ、敵彈ノ我カ四周ニ落下スルモノ亦甚タ多ク、三時二十七分ニハ五十七密砲彈一個「ラムコンバートメント」ニ命中シテ、同區劃ニ浸水シ、同三十分ニハ一彈戰闘旗ノ「ハリヤード」ヲ切斷セリ、已ニシテ同四十分頃ヨリハ敵陣全ク潰亂シ、加フルニ硝煙、煤煙相混シテ敵影明ナラス、同四十六分ニハ距離再開キテ四千八百米突ト爲リ、前續艦ニ從ヒテ右舷ニ回頭シ、砲撃ヲ中止セリ、四時十五分頃再右轉シテ敵ヲ追ヒ、同二十四分二橋二煙突ノ敵特務船一隻、進退ノ自由ヲ失ヘルヲ認メ、之ニ對シテ距離四千九百米突ヨリ右舷砲火ヲ開キ、漸次近ツキテ二千三百米突ニ迫リ、益之ヲ猛撃シテ殆ト沈没セシメタリ、同四十分頃ニ至リ「オレーグ」以下ノ巡洋艦隊、再左舷艦首ニ現出シタルヲ以テ、先ツ先頭艦「オレーグ」ニ對シ、五千八百米突ヲ測リテ左舷反航戰ヲ開始シ、漸次接近シテ約四千米突ト爲リ、我カ彈著良好ニシテ、敵ハ忽チ火災ヲ起シ、盛ニ煙焰ヲ揚グルヲ認メ、尋テ距離次第ニ遠サカリタルヲ以テ、目標ヲ四千八百米突ナル「アウローラ」ニ轉シテ、益々猛烈ナル砲撃ヲ加ヘタリ、然ルニ五時頃ニ至リ、敵主力艦數隻濃氣ヲ破リテ突然南下シ來リタルヲ以テ、距離五千三百米突ヨリ、更ニ之ト砲火ヲ交ヘシニ、敵ノ射撃ハ極テ猛烈ニシテ、無數ノ水柱艦周ニ簇立シ、六尹砲彈一個ハ第一佐山崎米三郎輕傷ヲ負ヒタリ、爾後砲火ヲ距離約五千米突ナル假裝巡洋艦ト思ハル、敵艦竝ニ四千三百米突ナル「ジエムチウグ」、「イズムルード」等ニ轉セリ、此ノ時六尹砲彈一個、左舷後



方ヨリ、艦長公室ニ命中シテ炸裂シ、同室内ノ諸器具及ヒ附近ノ諸室ヲ破リ、艦長室ニ在ル十二斤砲砲員海軍一等水兵金谷要太郎、海軍三等水兵嵐惣吉、同山本文平ヲ殲シ、海軍三等兵曹横山辰之助、海軍二等水兵吉澤榮吉、及ヒ其ノ附近ニ在リシ下士卒十一名ヲ傷ツケ、尋テ約三十秒ノ後、十二吋砲弾一個復同室ニ命中シテ炸裂シ、前弾ノ負傷ニ屈セス尙發砲ニ從事シツ、アリシ横山海軍三等兵曹ヲ殲シ、吉澤海軍二等水兵ニ再重傷ヲ負ハシメタリ、尋テ更ニ「ドンスコイ」型敵艦ニ對シテ、距離四千二百米突ヨリ少時砲撃ヲ行ヒ、六時三十分頃ヨリ「カムチャツカ」及ヒ「スツオーロフ」ヲ撃チ、同五十分頃此ノ日ノ戦闘ヲ終止セリ、

又第三戰隊ヨリ、臨時瓜生第二艦隊司令官ノ指揮下ニ入りタル音羽、新高ノ兩艦ハ、午後六時頃第四戰隊ノ列ニ入りテ對馬ニ續航シ、カムチャツカ及ヒ「スツオーロフ」ヲ砲撃シ、六時五十分戦闘ヲ中止セリ、

#### 第六節 第五戰隊ノ戰況

片岡第三艦隊司令官ハ、第三艦隊ヲ率非竹敷方面ヲ根據トシテ、朝鮮海峽ノ哨戒ヲ指揮セシカ、五月二十七日午前五時、哨艦信濃丸ヨリ、敵ノ第二艦隊見ユ、トノ警報ニ接シタルヲ以テ、直ニ麾下艦艇ニ出港準備ヲ命シ、午後六時第五戰隊嚴島(同司令官)、鎮遠、松島、橋立(第三艦隊司令官)ヲ率非テ尾崎灣ヲ出港シ、通報艦八重山及ヒ附屬艇隊ヲシテ戰隊ノ後部ニ續航セシメ、東水道ニ於テ敵ト觸接スルノ目的ヲ以テ、速力ヲ十二海里トシ、對馬南方ニ向ヒテ航進セリ、已ニシテ續々諸哨艦ヨリ發スル敵狀報告ニ依リ、敵ハ第二、第三艦隊ノ全力ニシテ、東水道ニ向ヘル

コトヲ確メ、午前九時對馬ノ南方ニ達シ、速力ヲ緩メテ其ノ來ルヲ待チ、第七戰隊ニハ竹敷鴻島間ヲ警戒スヘキヲ命シ、八重山ヲシテ水雷艇隊ヲ率非、風波ヲ豆酸灣ニ避ケシメ、同三十分第六戰隊ト合シ、原速力ニ復シテ南東方ニ向進セリ、九時五十分頃第四艦隊西方ヨリ來リ、告クルニ敵艦隊ハ已ニ第五戰隊ノ南方ニ在ル旨ヲ以テセシカ、幾何モナク南東約七八海里ニ方リ、幽ニ濛氣ノ裡ニ於テ二十餘隻ノ敵艦隊ニ列縱陣ヲ作り、「ジエムチツグ」型巡洋艦ヲ嚮導トシ、戰艦巡洋艦等之ニ續キ、約十海里ノ速力ヲ以テ北東ニ向ヒ航進スルヲ認メタリ、是ニ於テ第五戰隊ハ敵ヲ我カ主力艦隊ニ誘致センカ爲メ、十時零分戰鬥旗ヲ掲ケテ稍敵艦隊ニ近ツキ、爾後之ヲ右舷後方約五六海里ニ保チツ、北東微北ニ向進シ、且敵ノ位置、針路等ヲ三笠ニ電報シ、尋テ戰鬥旗ヲ下シ、同四十五分八重山ニ向ヒ、水雷艇隊ヲ率非テ來會スヘキヲ命セリ、午後零時三十分頃ニ至リ、朝來ノ靄霧稍薄ヲキ、一時三十分我カ第一、第二戰隊ノ東方ヨリ來ルヲ認メ、戰機漸ク迫リタルヲ以テ、二時再戰鬥旗ヲ掲ケ、同時ニ片岡司令官ハ麾下ニ對シ、霧晴レ風靜リ天佑限リナシ、勝敗ノ決此ノ一戰ニ在リ、各員一層奮勵努力セヨ、トノ信號ヲ掲揚シ、針路ヲ東方ニ變シ、第一、第二戰隊ノ方ニ向進セリ、已ニシテ午後二時八分頃ニ至リ、猛烈ナル戰鬥ハ彼我主力艦隊ノ間ニ開始セラレシカ、遇靄霧再濃厚ト爲リ、戰鬥ノ狀況ヲ目撃スルコト能ハス、唯閃々タル砲火ヲ煙霧ノ間ニ認ムルニ過キス、尋テ同十分東郷聯合艦隊司令官ヨリ、第五、第六ノ兩戰隊ハ敵ノ後尾ヲ攻撃セヨ、トノ電命ニ接シタルヲ以テ、片岡司令官ハ第六戰隊ヲシテ適宜ノ運動ヲ取ラシメ、第五戰隊ヲ率非テ直ニ敵ノ後尾ニ向ヒ急進セシモ、此ノ時濛氣益々深クシテ敵影

ヲ認ムルコト能ハス、纔ニ敵ノ砲火ヲ辿リテ之ヲ索メ、幾度カ針路ヲ轉折シテ、午後三時十五分、漸ク「オレーグ」、「アウローラ」等ノ巡洋艦隊ヲ東北東約一萬米突ニ發見セリ、敵ハ直ニ我ニ對シテ砲火ヲ開キシモ、我ハ距離遠キヲ以テ應戰セス、此ノ時我カ第一、第二戰隊ハ北方ヨリ敵ノ主力ヲ壓シ、第三、第四戰隊ハ常ニ敵ノ南方ニ在リテ其ノ巡洋艦隊ヲ攻撃シ、砲戰頗ル激烈ナルヲ認メタリ、三時二十五分針路ヲ南方ヨリ南東ニ變シ、同四十分更ニ東方ニ變シ、四時十分我カ第三、第四、第六戰隊ヲ北西方ニ認メタルヲ以テ、之ト合センカ爲メ、速力ヲ十二海里ニ増シテ之ニ向ヒ、同三十分北東ニ、同四十五分東南東ニ變針シ、漸次敵ト接近セリ、四時五十分敵艦隊ノ距離七千乃至八千米突ニ近ツキ、之ニ對シ始テ左舷反航戰ヲ開始シ、五時三十分頃之ヲ中止シ、北東方ニ變針セシカ、此ノ時三番艦松島ハ舵機故障ノ爲メ、列外ニ出テタリ、時ニ我カ第一、第二戰隊ハ北方ヨリ航下シ來リ、敵ヲ追ヒテ北西方ニ向ヒシヲ以テ、嚴島、鎮遠、橋立モ亦同方面ニ變針シ、六時三十分頃左舷艦首ニ當リ、敵工作船「カムチャツカ」、竝ニ戰艦「スウォーロフ」ノ大破漂航セルヲ認メテ、同四十八分距離四千五百乃至三千五百米突ヨリ砲撃ヲ開始セリ、此ノ時「カムチャツカ」ハ已ニ著シク右舷ニ傾斜シテ進退自由ヲ失セルカ如ク、「スウォーロフ」ハ其ノ前橋ト兩煙突トヲ失ヒ、前後ノ艦橋、砲塔ハ共ニ全然破壊セラレ、上甲板上僅ニ半折ノ後橋ヲ殘セルノミニシテ、殆ト艦形ヲ存セス、加フルニ艦内大火災ヲ起シ、砲門、舷窓多クハ紅焰ヲ吐キ、霧鬱タル黒煙ハ濛々トシテ低ク甲板ニ卷騰シ、慘澹タル光景實ニ名狀スヘカラス、而モ尙敵ハ僅ニ殘存セル一二ノ艦尾砲ヲ以テ奮戰シツ、左轉右迴一意脫走

ヲ試ミントスルニ似タリ、而テ我ハ恰モ演習ニ於ル教練射撃ノ如ク、悠々敵ヲ狙撃セシカハ、彈丸頻ニ敵艦ニ命中シ、或ハ橋ヲ飛ハシ、或ハ舷側ヲ穿チ「カムチャツカ」ハ七時過遂ニ右舷ニ傾倒シテ徐ニ沈没セシモ、「スウォーロフ」ハ尙依然トシテ運航セルヲ以テ、片岡司令長官ハ時已ニ日没ニ近ツキタルト、砲彈ノ浪費ヲ防カントノ爲メ、第十一艇隊ニ「スウォーロフ」襲撃ヲ命ス、同艇隊ハ直ニ進ミテ攻撃ヲ決行シ、魚形水雷二個以上ヲ命中セシム、「スウォーロフ」ハ七時二十五分遂ニ沖ノ島ノ北東方約十三海里ノ位置ニ、其ノ乗員全部ト共ニ沈没セリ、(ロジエストウエンスキー司令長官ハ午後五時頃既ニ驅逐艦「アイヌイ」ニ移乘セリ)因テ第五戰隊ハ戰闘ヲ中止シ、敵艦隊ヲ追ヒテ北方ニ向進シ、尋テ松島ヲ合セリ、松島ハ「カムチャツカ」竝ニ「スウォーロフ」沈没ノ跡ヲ航過セシニ、多數ノ敵兵波間ニ浮沈シツ、悲鳴喚叫救助ヲ哀願セルヲ認メタリト云フ、

此ノ日第五戰隊ハ、戰闘開始ノ時機遅カリシヲ以テ、其ノ戰闘時間比較的短ク、從テ各艦ノ損害モ亦極テ輕ク、唯四番艦橋立ハ午後五時七分頃、約十二拇大ノ敵彈、左舷「ブープ」上四十七密砲架ニ命中シテ砲身ヲ脱架シ、卒一名ヲ傷ツケ、續テ同九分頃約十五拇大ノ敵彈一個、左舷後部舷側ヲ貫通シ、炸裂セスシテ上甲板ヨリ艦外ニ飛去シ、海軍少尉候補生伊藤源太郎及ヒ下士卒二名ヲ傷ツケ、又松島ハ水面炸裂彈ノ破片ニ因リ、卒一名微傷ヲ被リタルノミニシテ、嚴島鎮遠ノ二艦ハ一彈ヲモ蒙ラサリキ、通報艦八重山ハ第五戰隊ト共ニ尾崎灣ヲ發シ、午前九時片岡司令長官ヨリ、水雷艇隊ヲ嚮導掩護スヘキ命ヲ受ケ、尋テ同十時艇隊ヲ率非テ風波ヲ豆酸灣ニ避クヘキ命ニ接シ、第十一、第十七、第十八、第二十艇隊ヲ率非、針路ヲ轉シテ同灣ニ向ヒシカ、十

時五十三分同司令長官ヨリ、更ニ水雷艇ヲ率非テ來會スヘキ電命ヲ受ケタルヲ以テ、十四海里ノ速力ニテ本隊所在地ニ向ヒ、午後一時二十分第五戰隊ト會合シ、其ノ左舷前方ニ位置ス、爾後常ニ艇隊ヲ嚮導シテ同戰隊ノ非戰側ニ占位シ、其ノ運動ニ倣ヒテ行動シ、四時三十分更ニ第十、第十五艇隊ヲ合セタリ、同四十五分頃、第五戰隊ハ戰鬪ヲ開始シ、敵彈屢艦側ニ落下セシモ、幸ニ命中セルモノナク、同六時片岡司令長官ノ命ニ依リ、艇隊ヲシテ襲撃ノ準備ヲ整ヘシメ、同十八分艇隊ヲ放チテ敵艦隊ニ向ハシメ、午後七時頃「カムチャーツカ」竝ニ「スウォーロフ」ニ對シ、距離三千四百乃至四千二百米突ヲ以テ砲撃ヲ行ヒ、同八分之ヲ中止シ、八時五十分第五戰隊ノ後尾ニ入レリ、

#### 第七節 第六戰隊ノ戰況

東郷第三艦隊司令官ハ、五月二十六日和泉ヲJU地點(五島白瀬ノ北西、方約二十海里)ニ、秋津洲ヲJE地點(韓國城列島ノ南東方約二十海里)ニ派遣シ、以テ敵艦隊ノ北來ヲ警戒セシメ、而テ親ヲ須磨(同司令官旗艦)、千代田及ヒ附屬艇隊ヲ率非テ尾崎灣ニ警泊セシニ、二十七日午前五時敵艦隊現出ノ警報ニ接シタルヲ以テ、須磨、千代田及ヒ第十、第十五艇隊ヲ率非テ同四十四分尾崎灣ヲ發シ、和泉竝ニ秋津洲ニハ對馬神埼ニ集合スヘキヲ電命セリ、已ニシテ午前九時神埼ノ南方約三海里ニ達シテ、第五戰隊ト會合シ、暫ク敵ノ動靜ヲ窺ヒシニ、哨艦ヨリノ情報ニ依リ、敵ハ愈々東水道ヲ通過セントスルコト確實ナリシヲ以テ、同三十分豫定ノ戰鬪序列ヲ制リテ、第五戰隊ニ續行シ、十二海里ノ速力ヲ以テ東水道ノ中央ニ向ヒ航進セリ、尋テ十時十五分ニ至リ、秋津洲來會シ、同三十分敵影ヲ南東方ニ發見セシヲ

以テ、速力ヲ増シテ之ニ近ツキ、爾後敵ノ左側先頭約六海里ニ在リテ之ト觸接ヲ保持シツ、敵ヲ我カ主力艦隊ノ方向ニ導キシニ、十一時四十五分敵ハ我カ第三戰隊ニ對シテ發砲シ、飛彈屢第六戰隊ノ附近ニ落下スルヲ以テ、第六戰隊ハ暫時北方ニ變針シテ之ヲ避ケタリ、同五十分嚴島ヨリ、敵艦隊ノ前方ニ在リテ觸接ヲ保ツヘシ、トノ命ニ接シタルヲ以テ、直ニ第五戰隊ノ右方ニ出テ、敵ノ先鋒ニ近接シ、一時三十分始テ我カ主力艦隊ヲ東方ニ發見シ、其ノ敵トノ遭遇ヲ豫料シテ、再第五戰隊ノ後尾ニ附キ、北方ニ向進シ、二時過我カ主力艦隊ヲ右舷正横後ニ望ムニ至リテ東方ニ變針セリ、尋テ二時八分頃、猛烈ナル戰鬪ハ彼我主力艦隊ノ間ニ開始セラレ、同時ニ東郷聯合艦隊司令長官ヨリ、第五、第六戰隊ハ敵ノ後尾ヲ攻撃スヘシ、トノ命ニ接シ、同二十五分片岡第三艦隊司令長官ヨリ、第六戰隊ハ南方ニ見ユル敵運送船ヲ攻撃スヘシ、トノ命ヲ受ケ、漸次速力ヲ増シテ、十三海里ト爲シ、之ニ向ヒシニ、我カ假裝巡洋艦ナルヲ知り、針路ヲ轉シ再第五戰隊ニ合セントス、然ルニ同司令長官ヨリ、第六戰隊ハ適宜ノ運動ヲ取レ、トノ電命アリタルヲ以テ、同戰隊ハ直ニ敵ノ後尾ニ迫ラントセシニ、偶南方ニ敵影ヲ發見シタルニ依リ、十五海里ニ増速シ漸ク之ニ近ツクニ及ヒテ、敵ノ病院船ナルヲ知ル、恰モ來會セル假裝巡洋艦佐渡丸、及ヒ滿州丸ニ命シテ之ヲ處分セシメ、更ニ敵艦隊ニ向ヒテ急進シ、艇隊ハ風波ノ爲メ續航困難ナルヲ認メ、之ヲシテ一時八重山ニ附隨シ、第五戰隊附屬艇隊ト共ニ行動セシメタリ、

又和泉ハ前日來五島宇久島ノ西北西約十三海里ノ地點ニ於テ、西方哨區警戒中、二十七日午前四時四十七分、哨艦信濃丸ヨリ、敵艦隊ノ煤煙ヲシキモノ見ユ、トノ第一警電ニ接シ、又同五十二分ニハ二〇三地點ニ敵艦隊見ユ、更ニ五時三十七分ニハ、敵ハ對州東水道ヲ通過セントスルモノ、如シ、トノ電報ニ接シタルヲ以テ、直ニ敵ト觸接ヲ保タンカ爲メ、西北西ニ向進スルコト約三十分間ニシテ、更ニ北方ニ變針シ、六時四十五分宇久島ノ北西微西約三十六海里<sup>(二二五)</sup>ニ於テ、始テ右舷艦首約一點ニ敵艦隊ヲ發見セリ、是ニ於テ七時零分右舷ニ回頭シテ、敵ヲ左舷ニ望ミツ、略之ト竝航シ、漸ク近ツクニ及ヒ、敵ハ戰艦七隻、巡洋艦、特務船等約二十隻、及ヒ驅逐艦數隻ヨリ成リ、「ジエムチウグ」型巡洋艦ヲ前衛トシテ二列縱陣ヲ制リ、「ボロヂノ」型戰艦四隻「オスラービヤ」シツイ、ウエリーキー、「ナワリン」、「アドミラル、ナヒーモフ」ヲ右翼ニ備ヘ、「ニコライ」二世、海防艦三隻及ヒ巡洋艦等ノ比較的劣勢ナル軍艦ヲ左翼ニ配シ、後尾ニ特務船ヲ置キ、最後ニ二隻ノ病院船ヲ伴ヒ、北東方ニ向ヒ東水道ヲ通過セントスルカ如キヲ認メ、此ノ旨ヲ各方面ニ電報シ、爾後常ニ敵ノ右側ニ在リテ之ト觸接ヲ維持シツ、敵情ノ偵察ニカメタリ、七時四十分東郷第三艦隊司令官ヨリ、「豆敷崎ニ來會スヘシ、トノ電命アリシモ、當時敵ト觸接ヲ保テルモノハ、和泉一隻ナルカ如キヲ以テ、若シ敵ノ後尾ヲ繞リテ本隊ニ合セントスルトキハ、敵先頭トノ觸接ヲ失シ、其ノ行動ヲ監視スル能ハサルニ依リ、和泉ハ依然敵ノ南方ニ占位シテ竝進セシニ、幾何モナク片岡司令長官ヨリ、敵艦隊ト觸接ヲ持續スヘシ、トノ命ニ接セリ、十一時八分左舷艦首ニ方リ、「ジエムチウグ」型艦一隻、我カ商船ヲ追跡セルモノ、如キヲ發見シ、之ヲ救護

シテ南方ニ避ケシメ、尋テ午後零時四十分ニハ、我カ陸軍病院船土洋丸ノ、前路ニ敵アルヲ知ラスシテ、之ニ向ヒ航進セルヲ認メ、信號ヲ以テ南方ニ避ケシメシカ、更ニ同五十分頃右舷艦首ニ方リ、陸軍兵士ヲ滿載セル運送船鹿兒島丸ノ、敵ノ所在方面ニ航進セルヲ認メ、之ニ對シ、敵見ユ汝ハ危險ノ方位ニ進ミツ、アリ、南方ニ避ケヨ、トノ注意信號ヲ掲ケシモ、受信セスシテ尙進航ヲ續ケ、益々危險ニ陥ラントスルヲ以テ、種々警信ヲ與ヘタルモ應セス、已ニシテ手旗信號距離内ニ入ルニ及ヒ、手旗信號ヲ爲シタルモ亦解セス、尋テ言語ノ通シ得ル近距離ニ迫リタルモ、尙信號ニ應セサルノミカ、上甲板ニ群集セル人員ハ、或ハ萬歲ヲ呼ビ、或ハ手巾ヲ振り、目前數千米突ニ敵艦隊ノ在ルヲ知ラス、依テ和泉ハ尙益々接近シテ注意ヲ與ヘシカハ、漸ク信號ヲ了解シ、倉皇トシテ南方ニ避難セリ、午後二時十分左舷艦首ニ方リテ砲聲ヲ聞キ、幾何モナク沖ノ島ノ西南西約八海里ニ於テ、距離約七千米突ナル敵後尾ノ數艦ヨリ猛烈ナル射撃ヲ蒙リタルヲ以テ、之ニ應戰シツ、南方ニ避ケ、同二十分射撃ヲ中止シ、同四十分敵ノ後尾ヲ脅シ、其ノ病院船ヲシテ本隊ヨリ後方ニ分離セシメ、三時四十分沖ノ島ノ西方ニ於テ第六戰隊ニ合シ、其ノ殿艦ト爲レリ、前記ノ如ク第六戰隊ハ、當初敵運送船ニ對スルカ爲メ、南方ニ航下セシヲ以テ、大ニ會戰ノ機ニ後レ、午後三時ヲ過クルモ、唯迥ニ砲聲ノ股々タルヲ聞クノミニシテ、未タ戰線ニ達スル能ハス、三時四十五分頃ニ至リ、左舷前方ニ我カ第四戰隊等ノ頻ニ敵ト砲戰シツ、アルヲ認メ、之ニ向ヒテ進ミ、爾後同戰隊ノ後方ニ續航シ、四時二十分頃進退ノ自由ヲ失シテ亂軍ノ裡ニ逡巡セルニ櫓二煙突ノ特務船一隻ヲ認メテ砲撃ヲ開始シ、同三十五分終ニ之ヲ擊沈セリ、此ノ時恰モ敵ノ



主戦艦隊ハ突然濃氣ノ裡ヨリ、我カ左舷艦首ニ現出シ、「オレーグ」、「アウローラ」、「ウラヂーミル」、モ「マーフ」及ヒ「ドミトリ」、ドンスコイ等ノ巡洋艦ヲ左翼ニ置キ、西方ニ向ヒ反航シ來リタルヲ以テ、第六戦隊ハ主トシテ敵巡洋艦ニ對シ、約五千米突ヲ測リテ猛撃ヲ加ヘ、尙六千乃至八千米突ナル敵戦艦隊ヲモ砲撃シ、劇戰約三十分ニ及ヒタリ、時ニ敵ノ巨彈屢我カ艦側ヲ掠メシモ、唯和泉ニ於テ四時四十五分敵彈前橋樓ニ命中シテ、海軍二等水兵吉川徳太郎及ヒ同坂井定三郎ヲ殺シ、又秋津洲ニ於テハ、水面炸裂彈ノ彈片ニ依リ、卒一名輕傷ヲ負ヒタルノミニシテ、各艦共ニ大ナル損害ヲ蒙ラス、又和泉ニ於テハ四時三十九分、前部十五吋砲一門騰發ノ爲メ砲身摧斷シ、給仕加福喜洋次ヲ殞シ、下士卒數名ヲ傷ツケタリ、同二十五分再敵ノ後尾ヲ衝カント欲シ、針路ヲ反轉セシニ、同四十分我カ第一戦隊ノ砲撃ニ因リ、進退ノ自由ヲ失セル敵ノ一艦ヲ發見セシヲ以テ、直ニ北方ニ變針シテ之ニ向ヒシニ、未タ砲火ヲ開クニ至ラスシテ、五時五十一分遂ニ沈没セリ、時ニ工作船「カムチャーツカ」竝ニ戦艦「スウォーロフ」ノ其ノ附近ニ漂航セルヲ認メ、五時五十七分距離四千乃至六千米突ヨリ、先ツ「カムチャーツカ」ヲ砲撃シ、其ノ大破スルニ及ヒテ、砲火ヲ距離千二百米突乃至四千米突ナル「スウォーロフ」ニ移シ、尋テ來會シタル第四、第五戦隊ト共ニ益々兩艦ヲ猛撃シテ、七時過遂ニ「カムチャーツカ」ヲ撃沈セリ、是ニ於テ東郷司令官ハ更ニ艇隊ヲシテ「スウォーロフ」ヲ轟沈セシメント欲シタルモ、同艦ニ對スル第五戦隊ノ砲撃未タ熄マス、加フルニ日没ニ近ツキ敵主力ヲ見失フノ虞アリタルヲ以テ、附屬艇隊ヲ呼集シテ敵主力艦隊ノ方ニ急航シ、八時艇隊ヲ放チテ襲撃ヲ決行セシメ、第六戦隊ハ豫定集合地

ニ向ヒテ航進セリ、

#### 第八節 驅逐隊艇隊ノ晝間襲撃

第一、第二、第三、第五ノ四驅逐隊ハ、五月二十七日午前六時三十分ヨリ、逐次鎮海灣ヲ發シテ豫定戰策ニ從ヒ、第一、第三驅逐隊ハ第一戦隊ノ左舷後方ニ、第二、第五驅逐隊ハ第二戦隊ノ右舷後方ニ各位置シ、艦橋ヲ洗ハントスル激浪ヲ冒シテ沖ノ島附近ニ向ヒシニ、午後一時五十分頃左舷艦首ニ敵艦隊ヲ發見シタルヲ以テ、第一、第三驅逐隊ハ第四戦隊ノ後方ヲ繞リテ非敵側ニ出テ、尋テ二時三十分東郷聯合艦隊司令官ヨリ、驅逐隊、艇隊ハ彈著距離以外ニ在リテ適宜行動スヘシ、トノ命ニ接シ、乃チ第一、第三驅逐隊ハ第一戦隊ノ非敵側約五千米突ニ、第二、第五驅逐隊ハ第二戦隊ノ非敵側ニ各占位シ、戰況ヲ察看シ、以テ襲撃ノ好機ヲ窺ヘリ、既ニシテ午後三時四十五分頃ニ至リ、敵陣大ニ亂レ、戰艦「クニヤージ」、「スウォーロフ」ハ全然破壊セラレテ列外ニ孤立シ、第二戦隊ハ約二千米突以内ニ之ヲ航過シタルヲ以テ、第五驅逐隊司令官海軍中佐廣瀬順太郎ハ、襲撃ノ好機トナシ、直ニ第五驅逐隊不知火(廣瀬司令官乗艦)、叢雲、夕霧、陽炎ヲ率非テ、二十海里ノ速力ヲ以テ第二戦隊ノ前方ヲ横過シ、澎湃タル激浪ヲ潛リツ、「スウォーロフ」ニ向テ突進シ、距離四百乃至八百米突ニ肉薄シ、敵ノ左舷ニ對シ竝航シツ、不知火ハ二個、夕霧、叢雲、陽炎ハ各一個ノ魚形水雷ヲ發射シ、又夕霧、陽炎ハ敵ノ甲板上ニ在ル乗員ニ對シ、十二斤砲及ヒ五十七密砲ヲ以テ射撃ヲ加ヘツ、各艦何レモ敵ノ彈著距離以外ニ出テタリ、此ノ襲撃中敵ノ本隊ハ「スウォーロフ」ニ近ツキ來リ、第五驅逐隊ヲ猛射シ、爲メニ一番艦不知火ハ、十二

斤砲彈二個ヲ受ケ、其ノ一ハ第一號汽罐ニ命中シテ之ヲ壞リ、海軍一等機關兵川村喜作、同沖長之助、海軍二等機關兵末藤嘉一郎ヲ燈シ、他ノ一彈ハ前部發射管員海軍一等水兵山口勘一郎ノ頭部ヲ奪ヒテ之ヲ殺シ、外ニ下士卒六名ヲ傷ツケタリ、而テ襲撃ノ效果ニ至リテハ、確知スルヲ得スト雖モ、少クモ二個ハ命中シタルカ如キヲ認メタリト云フ、

第四驅逐隊ノ朝霧(第四驅逐隊司令海軍中佐鈴木貫太郎乘艦)、村雨、朝潮、白雲ハ、五月二十六日第三戰隊ト共ニ、南方哨戒ニ出テシモ、風波激シキヲ以テ尾崎灣ニ歸泊中、翌二十七日午前五時三十分、敵艦隊現出ノ警報ニ接シタルヲ以テ、直ニ出港シ、第三戰隊ニ會合セント欲シ、南方ニ向進セシニ、午前九時東方ニ敵影ヲ認メ、漸次之ニ近接シテ、其ノ左舷前方約七八千米突ノ距離ニ占位シ、常ニ之ト觸接ヲ保チツ、東水道ニ向進セリ、已ニシテ同四十一分對馬ノ南方ニ於テ、我カ第五戰隊ニ會シ、尋テ同十時零分第六戰隊及ヒ艇隊ヲ認メシモ、未タ第三戰隊ト會スルコト能ハス、十一時三十分ニ至リ、初テ同戰隊ヲ後方約六千米突ニ認メタルヲ以テ、午後一時其ノ後尾ニ就キ、二時八分彼我主力艦隊ノ戰鬪ヲ開始スルニ及ヒ、更ニ第三戰隊ノ非戰側約一千米突ニ移リテ之ニ隨從セシニ、二時十分頃村雨ハ跳彈ノ爲メ艦底ヲ貫カレテ浸水シ、直ニ應急修理ヲ施セシモ、二十海里以上速カヲ出スコト能ハサルニ至レリ、然ルニ二時三十五分、第三戰隊ハ高速力ヲ以テ風上ニ向ヒ急進セシカ爲メ、第四驅逐隊ハ風浪ニ妨ケラレテ之ニ續行スルコト能ハス、(此ノ時出羽司令官ノ發シタル獨斷行動スヘシトノ命ハ第四驅逐隊ニ通セリシト云フ)乃チ同戰隊ト分離シテ風下ニ變針シ、爾後第二戰隊ノ非戰側ニ位置シ、襲撃ノ好機ヲ伺ヒシニ、四時四十三分千早ヨリ、驅逐隊ハ敵ヲ襲撃セヨ、トノ命ヲ傳ヘタルヲ以テ、第四

司令海軍中佐鈴木貫太郎ハ、直ニ諸艦ヲ率非速力ヲ十八海里ニ増シ、大火災ヲ起シテ孤立セル「スウォーロフ」ニ向ヒ突進セリ、時ニ同艦ハ其ノ前櫓及ヒ煙突ヲ失ヒ、上甲板竝ニ舷側等ヨリハ、盛ニ火焰ヲ吐キ猛煙ニ包マレツ、尙約十海里ノ速力ヲ以テ航走シ、且一二ノ艦尾砲ヲ以テ抗戰シアリシカ、第四驅逐隊ノ突進スルヲ見ルヤ、水雷攻撃ヲ迴避セントスルモノ、如ク、急ニ右舷ニ回頭セシヲ以テ、驅逐隊ハ常ニ敵ノ艦首ヲ壓スルカ如ク運動シ、五時五分朝霧、村雨ハ先ツ之ニ迫リ、約六百米突ノ距離ヲ以テ竝航シツ、各魚形水雷一個ヲ放チ、朝潮モ亦續テ二個ヲ發射セリ然ルニ激浪水雷ノ側面ヲ打チテ奏效確實ナラサリシヲ以テ、朝霧竝ニ村雨ハ右舷ニ回頭シテ、再敵ニ迫リ、之ト反航シツ、距離約三百米突ヲ測リテ、更ニ水雷ヲ發射セントセシニ、朝霧ノ水雷ハ電路故障ノ爲メ不發シタルモ、村雨ヨリ發射シタルモノハ、敵ノ左舷後部ニ命中シタルモノ、如ク、海水沸騰スルコト約二米突ニシテ、尋テ薄煙ヲ噴キ、船體忽チ十度許リ傾斜セルヲ確認セリト云フ、而テ殿艦白雲モ亦他艦ト共ニ敵ニ迫リタルモ、敵艦ハ已ニ全ク戰鬪航海力ヲ失セルモノト認メ、終ニ水雷ヲ發射セサリキ、又此ノ襲撃中、敵ノ主力艦隊ハ「スウォーロフ」ヲ掩護ノ爲メ、頻ニ我ニ向ヒテ發砲シ、朝霧ハ士官室ニ一彈ヲ受ケ、下士一名負傷シ、漏水ヲ來セシモ、直ニ應急處置ヲ施シ、其ノ他ノ各艦ハ一モ損害ヲ蒙ラス、彈著距離以外ニ退出セリ、第三驅逐隊モ、亦第四驅逐隊ノ襲撃終ルヲ待チ「スウォーロフ」ニ向ヒ突進セントセシニ、此ノ時恰モ敵艦隊ノ一群、南東濛氣ノ裡ヨリ顯レ來リ、距離三千米突ヨリ、第三驅逐隊ニ對シ猛火ヲ注キタルヲ以テ、同驅逐隊ハ襲撃ノ時機不利ナルヲ認メテ之ヲ中止セリ、斯ノ如ク敵ノ旗艦、ク

ニヤージ、スツオーロフハ、我カ主力艦隊ノ砲撃ニ因リテ大損害ヲ蒙リ、且第四、第五驅逐隊ノ攻撃ヲ受ケタルモ、尙未タ沈没ニ至ラス、單獨戰場ヲ彷徨セル中、更ニ我カ第四戰隊以下ノ包圍攻撃ヲ被リ、益々悲惨ノ状態ヲ呈セシカ、而モ尙運航力ヲ有スルノミナラス、輕微ノ抵抗ヲ繼續セリ、是ニ於テ第十一艇隊司令海軍少佐福田昌輝ハ、片岡第三艦隊司令長官ノ命ニ依リ、第七十三號(司令)第七十二號第七十四號第七十五號艇ヲ率非、直ニ敵艦ニ向ヒテ突進シ、速力ヲ漸加シテ二十海里ト爲シ、カムチャツカノ乗員ト思ハル、多數溺者ノ浮沈セル海面ヲ過キ、敵ノ右方ヨリ艦首ヲ繞リテ其ノ左側ニ出テ、午後七時二十分敵火ヲ蒙ルコトナク、其ノ距離約三百米突ニ迫進シ、第七十三號、第七十二號、第七十五號艇ハ各二個、第七十四號艇ハ一個ノ魚形水雷ヲ發チシニ、三個ノ命中ヲ確認セリ、乃チ其ノ第一、第二ノ命中ニ依リ、轟然タル爆音ヲ聞キ、尋テ船體漸次左舷ニ傾斜スルヲ見、第三ノ命中ニ依リ、恰モ彈藥庫ノ爆發シタルカ如ク、黒黃ノ硝煙ニ包マレ、猛火ヲ吐キツ、終ニ轉覆シ、暫時其ノ艦底ヲ水面ニ浮出セシカ、尋テ同三十分艦首ヲ高ク空中ニ擡起スルト同時ニ、忽焉トシテ其ノ影ヲ沒セリ、

#### 第九節 第七戰隊ノ行動

山田第三艦隊司令官ハ、聯合艦隊ノ大部北海方面ニ轉針シタル後、第七戰隊(扶桑、高雄、筑紫)第一艇隊及ヒ竹敷要港部附屬艇隊ヲ指揮シテ、朝鮮海峽ノ哨戒ニ任スヘキ命ヲ受ケ、先ツ麾下全部ヲ竹敷ニ集合シ、水雷艇ヲ以テ東西兩水道ノ哨戒ニ充テシカ、五月二十六日片岡第三艦隊司令長官ヨリ、扶桑(山田司令官旗艦)ハ第二警戒線(神崎)ニ、筑紫ハ郷崎、鴻島間ニ出テ、海峽ヲ監視シ、高雄ハ西方哨區中繼艦タルヘキ命ヲ受ケテ何レモ出動シ、又宇治ハ通信任務ヲ帶ヒテ前日來宇久島方面ニ在リシヲ以テ、二十七日朝竹敷根據地ニハ、鳥海、摩耶ノ二艦ノミ在泊シ居タリ、

視シ、高雄ハ西方哨區中繼艦タルヘキ命ヲ受ケテ何レモ出動シ、又宇治ハ通信任務ヲ帶ヒテ前日來宇久島方面ニ在リシヲ以テ、二十七日朝竹敷根據地ニハ、鳥海、摩耶ノ二艦ノミ在泊シ居タリ、扶桑ハ、二十七日午後五時三十分頃、神崎ノ南南西約十二海里ノ地點ニ於テ西航中、信濃丸ヨリ發シタル、敵ハ對州東水道ヲ通過セントスルモノ、如シ、トノ電報ヲ感受シ、尋テ同六時十分、敵艦十五隻以上見ユ、トノ報ニ接シタルヲ以テ、敵艦隊出現ノ愈々確實ナルヲ知り、警戒ヲ加ヘツ、海峽ノ監視ヲ嚴ニセリ、已ニシテ八時三十分頃、敵ノ前衛ト認メラル、「ジエムチウグ」型艦、二五一地點(宇久島ノ北方、約二十二海里)ニ在リテ單獨北航ス、トノ電信ヲ感シタルヲ以テ、之ヲ攻撃セント欲シ、二八〇地點(壹岐若宮島ノ西、微北約十海里)ニ向ヒ急航セシニ、同九時ニ至リ、片岡第三艦隊司令官ヨリ、高雄、筑紫ニ向ヒテ發シタル、第七戰隊ハ鴻島ト尾崎トノ間ヲ監視セヨ、トノ電信ヲ感受シ、尋テ續續敵艦隊ノ行動ニ關スル情報ニ接シタルヲ以テ、更ニ南下スルノ不利ナルヲ覺リ、九時過針路ヲ反轉シテ神崎方面ニ向ヘリ、同三時十分神崎ノ南西方約八海里ノ地點ニ於テ、第五戰隊及ヒ附屬艇隊ニ會シ、片岡司令官ヨリ、第七戰隊ハ鴻島ト尾崎灣トノ間ヲ監視シ、敵主力ノ發見ニ努ムヘシトノ命令ヲ受ケ、直ニ尾崎灣ニ急行シ、午後零時十分灣口ニ著シテ、鳥海、摩耶ト會合シ、尋テ高雄、筑紫ト合セリ、

是ヨリ先キ高雄、筑紫ハ此ノ日未明何レモ其ノ任務ヲ撤シテ尾崎灣ニ歸著セシニ、偶嚴島ノ橋頭ニ、敵第二艦隊見ユ、直ニ出港準備ヲ爲セ、トノ信號翻レルヲ認メ、鳥海、摩耶ト共ニ急速出港ノ



準備ヲ整へ、他隊ノ出港了ルヲ待チテ、高雄艦長海軍中佐八代由德指揮ノ下ニ、七時五十分尾崎灣ヲ發シ、鳥海、摩耶ハ大口灣外ニ止リテ警戒ニ任シ、高雄、筑紫ハ豫定戰策ニ從ヒテ行動シ、且扶桑ニ會合センカ爲メ、先ツ豆酸崎ニ向ヒ航進セリ、然ルニ風波強烈ニシテ、筑紫ノ如キハ砲門ヲ開キ得サルノ狀況ナルヲ以テ、速力ヲ減シテ徐航セシカ、九時十五分嚴島ヨリ、鴻島、尾崎灣ノ間ヲ監視スヘキ電命ニ接シ、乃チ同線上ヲ往復シテ警戒ニ從事中、午後一時過扶桑ニ會シ、共ニ列ニ入レリ、

是ニ於テ山田司令官ハ、更ニ部署ヲ定メ、第一小隊タル扶桑、高雄、筑紫ハ鴻島郷崎間ヲ、第二小隊タル鳥海、摩耶ハ大口灣口ヲ、其々警戒セシメシモ、何等ノ異狀ナキヲ以テ、午後五時第一小隊ハ南下シテ、神崎望樓附近ニ到リ、敵情ヲ問ヒタルニ、午後二時頃沖ノ島北方ニ於テ彼我艦隊衝突シ、今尙劇戰中ナルコトヲ知り得タルノミニシテ、他ニ何等ノ情報ヲ得ス、午後七時ヨリ第一小隊ノ警戒線ヲ豆酸崎、鴻島間ト定メ、終夜西水道ノ警戒ニ任シタリ、又宇治ハ、前日來宇久島城ヶ嶽假設望樓ト通信連絡ノ任務ヲ以テ、同島神ノ浦ニ警泊セシニ、二十七日午前五時三十分頃、笠置及ヒ信濃丸ヨリ相前後シテ、敵艦隊東水道ニ向フモノ、如シトノ電信ヲ感シタルヲ以テ、直ニ望樓ニ注意セシモ、濃氣密ナルカ爲メ更ニ應信ヲ得ス、因テ戰鬪準備ヲ整へ、午前七時過宇久島ノ西方ニ到リ、望樓ト通信距離以內ニ在リテ敵情ヲ搜リシモ、濃氣ノ爲メ毫モ敵影ヲ認メ得サルノミナラス、波浪高クシテ艦ハ之ニ堪ヘサルニ因リ、更ニ宇久島ノ東方ニ移レリ、尋テ十時和泉ヨリノ電報ニ依リ、敵ノ艦數ハ二十二隻以上ニシテ、他ハ濃

氣ノ爲メ判明セストノコトヲ知り、尙後續部隊ノ在ルヘキヲ察シ、之ニ對スル監視及ヒ通信ノ重要ナルヲ知覺シ、斷然同方面ニ止リテ通信連絡ノ任務ニ服シ、且附近海面ノ警戒監視ニ任スルコトニ決シ、終日望樓ノ視界內ニ在リテ行動セリ、

第十節 特務艦隊ノ行動

特務艦隊司令官海軍少將小倉鉄一郎ハ、其ノ麾下ヲ率非テ鎮海灣在泊中、五月二十七日午前五時二十六分、敵艦隊東水道ヲ通過セントスルモノ、如シトノ無線電信ヲ感シタルヲ以テ、直ニ豫定ノ計策ニ從ヒ、無線電信ノ中繼竝ニ水雷及ヒ炭水供給ノ爲メ、水雷母艦春日丸及ヒ運送船芝罘丸ヲ蔚山ニ派遣シ、加徳水道ニ在リシ病院船及ヒ西京丸ヲ港内ニ召還シ、在船患者ヲ他船ニ移シテ、負傷者收容ノ準備ヲナサシメ、又萬一ノ急ニ應センカ爲メ、各水雷沈置船ヲシテ沈置ノ準備ヲ整頓セシメ、鎮海灣防備隊ト連絡シテ、根據地灣口ノ警戒ヲ嚴ニシ、且諸方面ノ通信連絡ニ任セリ、即チ二十七日朝ニ於ル特務艦船ノ所在左ノ如シ、

假裝巡洋艦	信濃丸	西方警戒中
同	八幡丸	同
同	亞米利加丸	同
同	佐渡丸	同
同	滿州丸	同
同	臺南丸	竹敷碇泊中



水雷母艦 熊野丸 尾崎灣碇泊中  
 同日丸 鎮海灣碇泊中

其ノ他小倉司令官ノ旗艦タル假裝巡洋艦臺中丸、工作船關東丸、同三池丸、一等假裝砲艦大仁丸、同平壤丸、同京城丸、二、三等假裝砲艦八隻病院船神戸丸、同西京丸、鎮海灣ニ在泊シ、又假裝巡洋艦香港丸、同日本丸、津輕海峽方面ニ、假裝巡洋艦備後丸、澎湖島方面ニ、測量艦磐城丸、山方面ニ、三等假裝砲艦一隻ハ八口浦ニ、二、三等假裝砲艦二隻ハ元山津ニ在リタリ、而テ臺中丸以下ノ諸艦船ハ、敵艦隊現出ノ報ニ接スルヤ、何レモ碇泊地方面ノ警戒ニ從事シタリト雖モ、直接對敵行動ニ參與セサルヲ以テ、本節ニ於テハ專ラ戰鬥行爲ニ與リタル前記信濃丸以下八隻ノ行動ヲ記ス、

假裝巡洋艦信濃丸ハ、此ノ朝敵艦隊ヲ發見シテ之ヲ各方面ニ報シ、尙敵ト觸接ヲ保チツ、行進中、敵驅逐艦二隻隊列ヲ離レ、我ニ向ヒテ進ミ來リタル以テ、一旦之ヲ西方ニ避ケ、敵ノ引返スマヤ再觸接ヲ保タンカ爲メ、北方ニ向ヒシニ、敵巡洋艦隊ト思ハル、モノヲ認メ、同時ニ南方ニモ亦煤煙ヲ認メタルニ依リ、敵ノ運送船ナラント思惟シ、針路ヲ轉シテ之ニ向ヘリ、七時四十分漸ク之ト接近セシニ、米國汽船 HYADES 號ニシテ荷足輕ク、或ハ敵ノ密偵船ナランカヲ疑ヒ、之ヲ臨檢セシニ、香港ヨリ門司ニ向フモノニシテ、船舶書類完備シ、毫モ疑點ナキヲ以テ之ヲ解放シ、午前十時三十二分速力ヲ増シテ豫定戰策ノ行動ニ移レリ、午後四時五十分頃、大口灣口附近ニ於テ、假裝巡洋艦臺南丸ノ灣外ヲ巡邏警戒セルニ會シ、之ト共ニ西水道ヲ北進セシニ、八時四十

分頃ヨリ南西方ニ當リ、探海燈ノ照映ト猛烈ナル砲火ノ閃光トヲ認メ、我カ驅逐艦艇隊ノ敵艦隊ヲ襲撃セルヲ知り、終夜西水道附近ヲ警戒シ、以テ天明ヲ待テリ、

假裝巡洋艦臺南丸ハ、無線電信機修理ノ爲メ竹敷在泊中、二十七日朝嚴島ヨリ直ニ尾崎灣ニ回航スヘキ命ヲ受ケ、午前六時五十分尾崎灣ニ到リ、尋テ灣外ニ出テ、十時二十分神埼附近ニ達シ、我カ第三第五、第六戰隊等ノ東航スルヲ認メシモ、敵ヲ發見スルニ至ラス、因テ嚴島ニ近ツキ行動ノ指揮ヲ受ケント欲シタルモ、或ハ其ノ運動ヲ妨ケンコトヲ恐レ、再大口灣口附近ニ引返シ、灣外警戒中、信濃丸ノ北上スルニ會シ、同艦長ノ指揮下ニ入レリ、

假裝巡洋艦佐渡丸ハ、前日來西方哨戒ニ從事シ、二十七日午前四時二十七分、二二一地點ニ於テ針路ヲ反轉シ、南西之西ニ向ヒ航進中、午前四時五十分信濃丸ヨリ發シタル敵艦隊出現ノ警報ニ接シ、尋テ六時五分、敵ハ二〇三地點(五島大瀬崎ノ北)ニ在リ、トノ報ニ接シタルヲ以テ、直ニ針路ヲ北東微東ニ變シ、速力ヲ十四海里トシ、第三戰隊ノ所在地ト思ハル、江地點(別冊附圖參照)ニ向ヒ、九時更ニ東水道ノ中央ニ向ヒ變針セシニ、午前十時ニ至ルモ一隻ノ味方軍艦ニ會セス、因テ先ツ第五戰隊ニ會合センカ爲メ、其ノ所在地ニ向ヒ午後零時二十分、神埼ノ南東約十一海里ノ地點ニ於テ、右舷艦首約六海里ノ距離ニ、三橋一煙突ナル敵ノ病院船及ヒ二三ノ汽船ヲ發見セシモ、尙未タ味方軍艦ノ影ヲ認メス、尋テ前方ニ當リ、敵ノ大艦隊ヲ發見シ、針路互ニ交叉セルヲ以テ、北北東ニ變針シ、敵ト觸接ヲ保チツ、竝進セリ、此ノ時假裝巡洋艦滿州丸後方ヨリ來リ合シ、又幾何モナクシテ、第五、第六戰隊ヲ遠ク北方ニ發見セシヲ以テ、滿州丸ヲ率非テ之ニ向ヒ航進

シ、午後二時過我カ主力艦隊ノ東方濃霧ノ裡ヨリ突進シ來ルヲ發見セリ、又滿州丸ハ西方哨艦勤務中、午前五時五島白瀬ノ北西約十海里ニ於テ、信濃丸發信ノ警電ニ接シ、尋テ敵ハ二〇三地點ニ在リテ、東水道ニ向ハントスルヲ知り、敵ニ接近スル目的ヲ以テ、五時四十五分速力ヲ十二海里ニ増シ、北西ニ向進セリ、已ニシテ六時五十五分ニ至リ、第三戰隊ノ北方ヨリ航進シ來リタルヲ發見シ、同方面ニハ敵ナキヲ推知シ、針路ヲ南西ニ轉シタルモ敵ヲ見ス、因テ更ニ東方ニ索敵セント欲セシニ、此ノ時恰モ第三戰隊ハ北東方ニ轉針シタルヲ以テ、寧ロ西方ヲ偵察スルノ必要ナルヲ認メ、西方ニ向進セリ、然ルニ相踵テ接シタル種々ノ情報ニ依リ、敵ノ既ニ東方ニ在ルコト確實ト爲リタルヲ以テ、七時四十分豆敷崎ニ向ヒテ變針シ、十時更ニ神埼ノ南東五海里ニ向針シ、速力ヲ十五海里ニ増シ、午後一時佐渡丸ニ追及シ、同艦長ノ指揮下ニ入レリ、

午後二時八分彼我カ主力艦隊ノ戰鬪ヲ開始スルヤ、佐渡丸竝ニ滿州丸ハ、第五、第六戰隊ノ後方一千乃至二千米突ノ位置ニ在リテ之ニ隨行セシカ、午後三時三十分片岡第三艦隊司令長官ヨリ、南南西ニ敵ノ病院船見ユ、トノ電信アリシヲ以テ、兩艦ハ直ニ針路ヲ轉シテ之ニ向ヒ、彈丸一發ヲ放チテ停船ヲ命セリ、敵ノ病院船ハ三橋二煙突及ヒ三橋一煙突ノ二隻ニシテ、我ノ近ツクヤ直ニ停船シタルヲ以テ、佐渡丸滿州丸ハ臨檢ノ爲メ、各其ノ一隻ニ向ヒシニ、波浪高クシテ到底端舟ヲ仰スヲ得サルノミナラス、速ニ敵艦隊ヲ離レテ我カ沿岸適宜ノ所ニ引致スルヲ得策ナリト信シ、佐渡丸ハ敵病院船ニ向ヒ信號ヲ以テ、本艦ニ隨行スヘキヲ命セリ、然ルニ彼ハ何事

カ抗言セントスルノ信號ヲ掲ケシモ、要領ヲ得サルニ依リ、佐渡丸ハ再病院船ニ向ヒ、我カ信號ヲ了解セシヤ、トノ信號ヲナシ、ニ、彼了解セル旨ノ答信ヲ爲セリ、因テ佐渡丸ハ更ニ彼ニ對シ、我ニ隨行セヨ、トノ信號ヲ爲シ、又二時間何海里ヲ航行シ得ルヤヲ問ヒシニ、十二海里トノ答信ヲ得、乃チ最近ニシテ西南ノ風波ヲ避クルニ適當ナル三浦灣ニ到ルニ決シ、之ニ向進セシニ、敵病院船ハ從順ニ隨行シ、滿州丸モ亦他ノ病院船ヲ率非テ之ニ續航セリ、午後六時三十分三浦灣ノ北方ニ達シテ假泊シ、各臨檢搜索ヲ行ヒタルニ、佐渡丸ノ引致シタル病院船ハ「アリヨール」ニシテ、同船ニハ敵艦隊ノ爲メ臺灣方面ニ於テ拿捕セラレタル英國汽船「オールドハミヤ」ノ船長、機關長及ヒ外二名ノ英人ヲ收容セルヲ發見シ、病院船タル任務以外ノ軍事的動作ヲ爲シタルコト明ナルヲ以テ之ヲ拿捕シ、佐世保ニ送ルニ決シ、此ノ旨ヲ船長ニ宣告シ、又滿州丸ノ引致シタルモノハ、「カストローマ」ニシテ同船ニハ公法違背ノ犯跡明ナラサルモ、同航中、通信竝ニ偵察等ニ從事シタルノ疑アルヲ以テ、是亦佐世保ニ引致スルニ決セリ、是ニ於テ佐渡丸艦長海軍大佐釜屋忠道ハ此ノ旨ヲ旗艦ニ電報シ、指令ヲ乞ヒシニ、病院船ハ滿州丸ヲシテ佐世保ニ護送セシムヘキ命令ニ接シ、此ノ旨ヲ滿州丸ニ傳へ、是ノ夜ハ敵病院船ヲ警戒シテ三浦灣ノ北方ニ假泊セリ、

假裝巡洋艦八幡丸ハ、滿州丸ト哨艦交代ノ爲メ、二十六日夕刻竹敷ヲ發シテ西方哨區ニ向ヒ、二十七日午前四時四十五分、正ニ哨區ニ達セシ際、敵艦隊出現ノ警報ニ接シ、尋テ又、敵艦隊十五隻以上ヲ見ル、トノ電信ヲ感セシモ、其ノ果シテ敵ノ主力ナルヤ、將タ支隊ナルヤヲ審ニセス、或ハ

敵ノ他ノ艦隊之ニ續航セルヤ、疑ナキ能ハサルヲ以テ、之カ偵察ノ爲メ尙南西方ニ向進シ、監視警戒ヲ嚴ニセリ、然ルニ午前九時ニ至ルモ一ノ敵影ヲ見ス、且和泉、信濃丸等ヨリ發スル諸情報ヲ綜合スルニ、先キニ北進セル敵艦隊ハ其ノ全力ニシテ、他ニ後續部隊ナキヲ認メ、針路ヲ反轉シテ敵艦隊ヲ追尾シ、午後二時過戰場ニ達セリ、爾後戰場附近ニ在リテ行動セシモ、遂ニ好敵手ヲ得ルコト能ハスシテ日没トナリシヲ以テ、戰場ヲ避ケ對馬東岸ニ沿ツテ北上シ、翌曉四時三十分韓崎ノ北約二十海里ニ達セリ、

假裝巡洋艦亞米利加丸ハ、前日來西方哨區警戒中、二十七日午前四時四十五分、敵第二艦隊見ユ、トノ警戒ニ接シタルヲ以テ、一層警戒ヲ嚴ニシ、午前五時針路ヲ反轉スヘキ位置ニ達セシモ、其ノ儘前進ヲ繼續シ、以テ形勢ヲ窺ヒシニ、九時五十五分和泉ノ發電ニ依リ、敵ノ兵力ハ戰艦五隻、二等巡洋艦三隻、其ノ他八隻以上ニシテ、總數二十二隻以上ナルコトヲ知り、敵ハ或ハ其ノ戰艦隊ノミヲ引率シテ航進シ、係累トナルヘキ特務船等ハ、我カ艦隊ノ全力ノ東水道ニ集合スル隙ニ乘シ、西水道ヲ經テ逃逸セント企ツルニアラサルヤヲ疑ヒ、鴻島附近ニ在リテ之ニ備フルニ如カスト決心シ、十時二十分鴻島附近ニ接近シ、巨文島及ヒ濟州島望樓ト連絡ヲ保チ、敵運送船等ノ情報ヲ得ハ、速ニ通報スヘキヲ命シ、郷崎、鴻島間ノ警戒ニ任セリ、然ルニ午後一時ニ至ルモ敵ノ後續部隊出現セサルヲ以テ、先キニ東水道ニ向ヒタルモノハ、敵ノ全力ナルヲ察シ、最早ヤ西水道ニ對シ警戒スルノ必要ナキヲ認メ、午後三時三十分豆酸崎ニ向ヒ、同六時神崎ニ於テ扶桑ニ會シ、爾後ノ行動ニ關スル命ヲ請ヒシニ、三浦灣ニ到リ佐渡丸、滿州丸ニ合スヘキ命ヲ受ケタ

リ、因テ直ニ同灣ニ向ヒ、午後七時四十五分三浦灣ノ北方ニ達シ、佐渡丸、滿州丸ノ敵病院船ヲ引致シ來リテ臨檢ニ從事セルヲ認メ、助力ノ要否ヲ問ヒシニ、不要ナル旨返答アリタルヲ以テ、直ニ鬱陵島ニ向ヒテ航進シ、午後八時四十分頃ヨリ、同十時三十分頃ニ至ルマテ、東方ニ方リ探海燈及ヒ砲火ノ閃クヲ認メ、翌朝午前四時同島南方約四十海里ニ達セリ、

水雷母艦熊野丸ハ、敵艦隊出現ノ警戒ニ依リ、午前五時五十分尾崎灣ヲ拔錨シ、豫定錨地タル三浦灣ニ向ヒ、午前九時四十五分同灣ニ投錨シ、驅逐艦、水雷艇ニ對スル兵器並ニ炭水補充ノ準備ニ著手セリ、午後零時四十分第九、第十四、第十九艇隊風波ヲ避ケテ三浦灣ニ入港セシヲ以テ、炭水ヲ之ニ補給シ、且第十九艇隊ノ司令艇鷗ノ汽機故障ヲ修理シ、午後二時四十五分三浦灣望樓ヨリ、沖ノ島北西約十八海里ノ所ニ於テ彼我交戰中、各艇ニ傳ヘヨ、トノ聯合艦隊司令長官ノ電報ヲ遞傳シタルニヨリ、更ニ之ヲ各艇隊ニ傳達セシカハ、午後三時五分鷗ヲ除クノ外總艇隊戰場ニ向ヒテ出港シ、鷗モ亦午後六時三十分修理ヲ了リテ戰場ニ向ヘリ、是ヨリ先キ熊野丸ハ彼我交戰ノ情況ニ依リ、戰場ノ漸次北方ニ轉移シ、翌朝ニハ正ニ鬱陵島附近ニ達スヘキヲ推想シ、三浦灣ニ在泊スルノ迂遠ナルヲ覺リ、鷗ノ修理終了スルヤ、午後七時意ヲ決シテ三浦灣ヲ發シ、行行三笠及ヒ嚴島ニ向ヒ、鬱陵島回航ノ許可ヲ乞ヒツ、十五海里ノ速力ヲ以テ鬱陵島ニ向進セリ、已ニシテ二十八日午前零時十分嚴島ヨリノ命ニ依リ、此ノ日ノ戰況ニ關スル東郷聯合艦隊司令長官ノ報告ヲ大本營ニ電報スル爲メ、大河内望樓ニ近ツキテ之ト通信ヲ交換シ、午前二時之ヲ終リ再鬱陵島ニ向ヘリ、



水雷母艦春日丸ハ、加徳水道碇泊中、午前五時三十分旗艦出雲ヨリ、敵ノ第二艦隊見ユ出港用意  
總艦點火、トノ信號アリシヲ以テ、直ニ戰鬪準備ヲ整ヘ、午前九時零分給炭船芝罘丸ヲ從ヘ、豫定  
戰策ノ任務ニ就カンカ爲メ蔚山港ニ向ヒ、午後三時同地ニ著シ、芝罘丸ヲシテ港内ニ碇泊セシ  
メ、春日丸ハ陸上望樓ト連絡ヲ取ルカ爲メ、港外ニ在リテ望樓ト手旗信號ノ通シ得ル距離ニ假  
泊シ、兵器炭水ノ補給準備ヲ爲シ、午後八時ヨリ四直哨兵ヲ配シ、二十八日午前三時ヨリハ敵ノ  
接近ヲ慮リ、二直哨兵ニ増シ、午前四時ヨリハ更ニ全員警戒ト爲シ、以テ不慮ニ備ヘタリ、

第十一節 露國艦隊ノ戰況

第一目 編制及ヒ戰鬪前記

露國増遣艦隊司令長官海軍中將ロジエストウエンスキーハ、其ノ太平洋第二、第三兩艦隊ヲ率  
井テ五月十四日佛領安南カムラン灣ヲ出發シ、我カ朝鮮海峽ヲ突破シテ浦鹽斯德ニ向ハント決  
心シ、巧ニ其ノ踪跡ヲ晦シツ、パシ―海峽ヲ通過シ、官古列島ノ東方ヲ經テ東海ニ入り、二十二  
日我カ艦隊ヲ津輕海峽方面ニ牽制セント欲シ、假裝巡洋艦「クバーニ」及ヒ「テレーク」ヲシテ、我カ  
東岸ニ行動セシメ、(兩艦ハ遂ニ一回モ我カ沿岸ニ其ノ影ヲ現サ、リキ)二十三日ニハ洋中ニ於テ最後ノ石炭搭載ヲ行ヒ、(七日  
朝鮮海峽ニ達スル際常備喫水ヲ有スル様搭載セリ)二十五日朝清國上海沖ナル馬鞍群島ノ東方ニ達シ、運送船「ウラジミール」、  
「ソオローネジ」、「リウオニヤ」、「ヤロスラーウリ」、「クローニヤ」及ヒ給水艦「メテオル」ヲシテ上海ニ  
避ケシメ、且假裝巡洋艦「リオン」、「ゾネーブル」ノ二艦ニ命スルニ、是等運送船ヲ揚子江口マテ護  
送シ、艦隊ニ合スルヲ要セス、適宜進退スヘキヲ以テシ、且「オスラービヤ」坐乗ノフエリケルザム

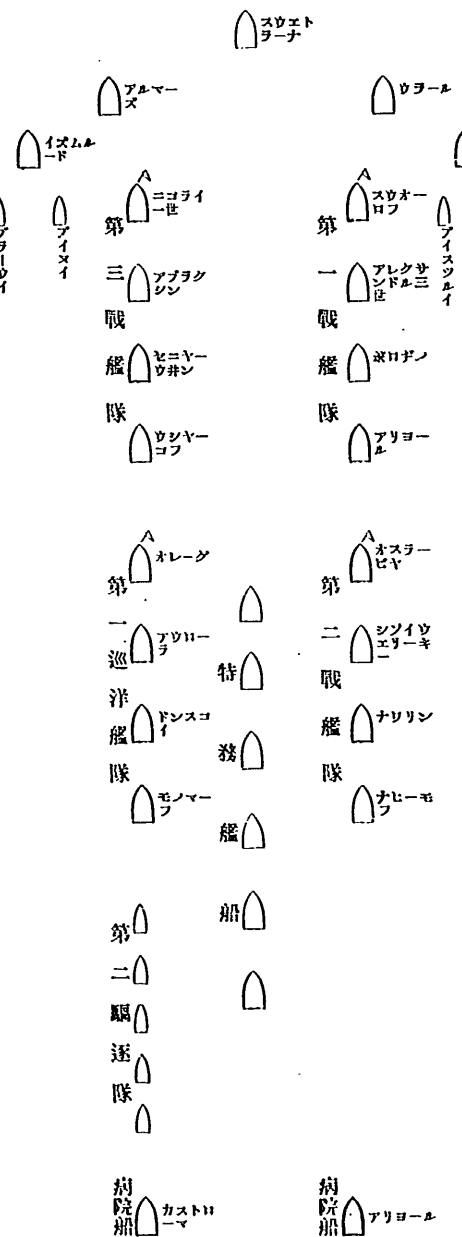
司令官卒去ノ爲メ、新ニ艦隊航行序列ヲ改定シ、第二、第三戰艦隊ヲシテ互ニ其ノ位置ヲ代ヘ、  
ネボガトフ司令官ノ直率セル第三戰艦隊ヲシテ、左翼列ノ先頭ヲラシメ、(フエリケルザム司令官ノ  
ガトフ司令官ニサヘモ知ラシメス、オスラービヤニハ依然將旗ヲ掲セリ)直路朝鮮海峽ニ向ヒテ進發セリ、其ノ艦隊編制竝ニ航行陣形左  
ノ如シ、

艦隊編制

第一戰艦隊	一等戰艦	「クニヤージ、スウオーロフ」 <small>(太平洋第三艦隊司令長官ロジエ ストウエンスキー海軍中將旗艦)</small>
	一等戰艦	「イムペラートル、アレクサンドル」三世
	一等戰艦	「ボロヂノ」
第二戰艦隊	一等戰艦	「アリヨール」
	一等戰艦	「オスラービヤ」 <small>(太平洋第二艦隊司令官フエ リケルザム海軍少將旗艦)</small>
	一等戰艦	「シソイ、ウエリーキー」
第三戰艦隊	裝甲巡洋艦	「アドミラル、ナヒーモフ」
	二等戰艦	「イムペラートル、ニコライ」二世 <small>(太平洋第三艦隊司令官 ネボガトフ海軍少將旗艦)</small>
	裝甲海防艦	「ゲネラル、アドミラル、アブラクシン」
第三戰艦隊	裝甲海防艦	「アドミラル、セニヤーウ非ン」
	裝甲海防艦	「アドミラル、ウシヤークコフ」



航 行 序 列



特務艦船

- 假裝巡洋艦 「ウラール」
- 水雷母艦 「コレイヤ」
- 工作船 「カムチャーツカ」
- 曳船 「ルス」
- 曳船 「スウ井ーリ」
- 運送船 「アナヅイリ」
- 運送船 「イルツイシ」
- 病院船 「アリヨール」
- 病院船 「カストローマ」

第一巡洋艦隊

- 防護巡洋艦 「オレーグ」(太平洋第二艦隊司令官エンクウイスト海軍少將旗艦)
- 防護巡洋艦 「アウローラ」
- 装甲巡洋艦 「ドミトリイ、ドンスコイ」
- 装甲巡洋艦 「ウラヂーミル、モノマーフ」

第二巡洋艦隊

- 防護巡洋艦 「スウェトラーナ」
- 巡洋艦 「アルマーズ」
- 巡洋艦 「ジエムチウグ」
- 巡洋艦 「イズムルード」

第一驅逐隊

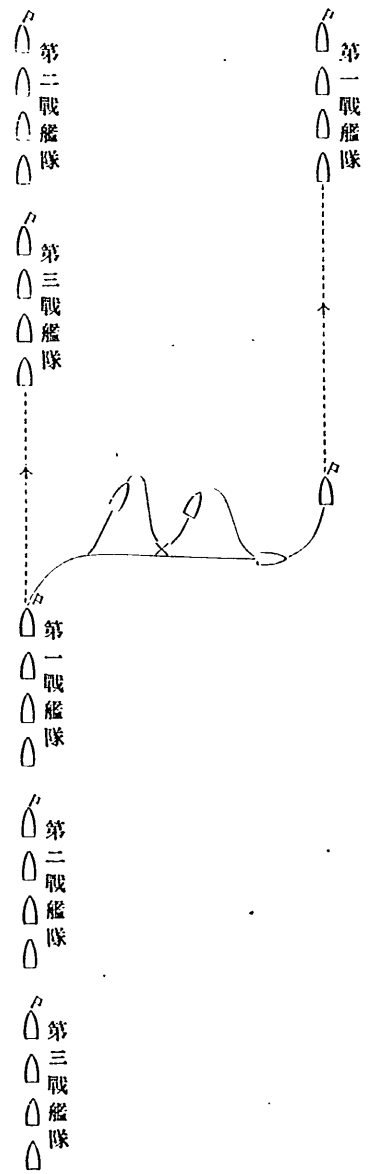
- 驅逐艦 「ベドゥ非」
- 驅逐艦 「ブイヌイ」
- 驅逐艦 「ブラーウイ」
- 驅逐艦 「ブイヌツルイ」
- 驅逐艦 「プレスチャーシチー」

第二驅逐隊

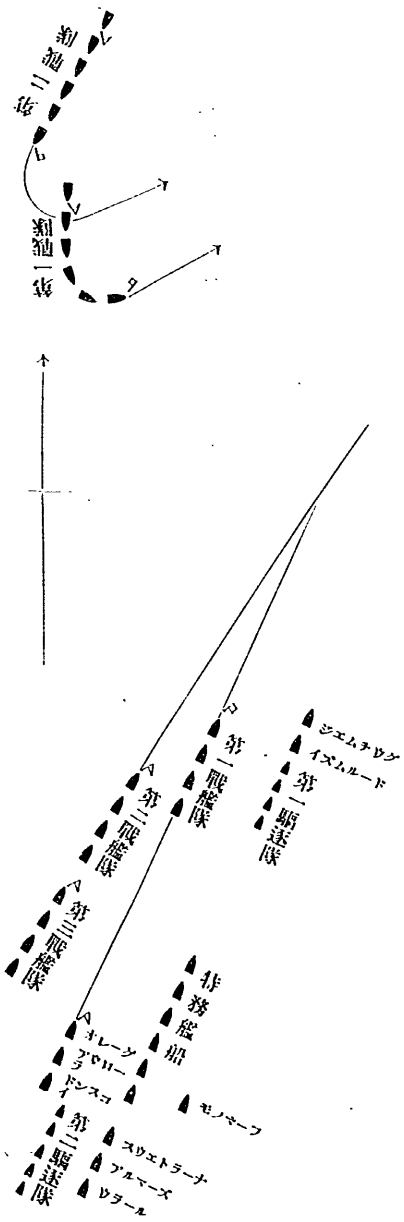
- 驅逐艦 「グロームズヌイ」
- 驅逐艦 「ベヅウプリョーチヌイ」
- 驅逐艦 「ボードルイ」
- 驅逐艦 「グロームキー」

斯テ各艦ハ、最嚴密ナル戰鬪準備ヲ整ヘ、我カ水雷攻撃ヲ避ケンカ爲メ、海峽最狹部ヲハ日中ニ通過セント欲シ、速力ヲ加減シツ、二十六日正午ニハ既ニ朝鮮濟州島ノ南方約五十五海里ノ地點ニ達セシニ、是ノ日午後ニ至リ、頻ニ我カ無線電信ノ通信ヲ感受シタルヲ以テ、ロジエストウエンスキー司令長官ハ、其ノ已ニ我カ艦隊ノ爲メニ發見セラレタルヲ推想シ、是ノ夜必ス我カ水雷攻撃ヲ受クヘキヲ豫期シ、徹宵警戒ヲ嚴ニシツ、約八海里ノ速力ヲ以テ、壹岐對馬ノ中間ニ定針シ、二十七日ノ曉五島ノ西方約五十海里ニ達セリ、然ルニ前夜來ノ強風ハ益々其ノ力ヲ増シ、怒濤澎湃トシテ驅逐艦、水雷艇等ノ行動ニ適セス、加フルニ濛氣深ク鎖シテ遠望ヲ妨ケ、海峽航過ニ恰好ノ天候ナリシカ、午前六時三十分頃巡洋艦「アドミラル、ナヒーモフ」ヨリ、右舷正横ニ方リ遙ニ靄霧ノ裡ニ我カ哨艦和泉ヲ發見シタルノ報ニ接シ、(露國艦隊ハ我カ信濃丸ノ爲メニ最初發見セラレタルヲ知ラサリシモ)且我カ無線電信通信ノ頻ヤトシテ、織ルカ如キヲ感シタルヲ以テ、司令長官ハ運送船ノ後背警戒ノ爲メ、前衛艦タル「スウエトラーナ」アル「マーズ」及ヒ「ウラール」ヲシテ、特務艦船ノ後方ニ轉位セシメタリ、此ノ時假裝巡洋艦「ウラール」(同艦ハ非常ニ強力ナル無線電信機ヲ備ヘ居レリ)ハ我カ通信ヲ妨ケント欲シ、其ノ許可ヲ乞ヒシモ司令長官之ヲ許サ、ルノミナラス、兵力ノ分散ヲ厭フカ爲メ、和泉ニ對シテモ亦毫モ之ヲ驅逐スルノ策ヲ講セス、常ニ之ヲ視界ノ内ニ容レツ、二列縱陣ヲ以テ朝鮮海峽東水道ニ直進セリ、已ニシテ午前九時頃ニ至リ、左舷正横ニ方リテ我カ第五、第六戰隊ヲ發見シタルヲ以テ、司令長官ハ戰機漸ク迫レリト爲シ、左側衛艦タル「イズムルード」ヲシテ、右側衛艦「シエムチウグ」ノ後方ニ移ラシメ、第一驅逐隊ハ又其ノ後方ニ附隨セシメシカ、同十一時頃

ニ至リ、更ニ左舷後方ニ我カ第三戰隊ヲ認メタルカ故ニ、巡洋艦隊ヲシテ特務艦船ノ左翼ヲ掩護シ、且「ウラヂーミル、モノマーフ」ヲシテ和泉ノ攻撃ニ對シテ、特務艦船ノ右翼ヲ警戒セシメ、尙全艦隊ニ對シ、敵若シ後方ヨリ現出セハ、戰艦隊ハ正面ヲ變換シテ之ニ當ルヲ以テ、巡洋艦隊及ヒ特務艦船ハ依然現針路ヲ保チテ、北進ヲ繼續スヘキヲ命シ、第一、第二戰艦隊ハ速力ヲ増シテ左方ニ點ノ一齊回頭ヲ行ヒ、左翼列ノ前方ニ出テ、以テ戰鬪陣形ニ轉セントス、十一時二十分我カ第三戰隊ヲ左舷約九千米突ニ望ムニ至ルヤ、「アドミラル、ウシヤーク」ハ突然笠置ニ對シテ砲火ヲ開キシカハ、左翼列ノ諸艦モ亦之ニ倣ヒ、忽チニシテ約三十發ヲ放チシカ、司令長官ハ砲彈ヲ徒費スルヲ惜シシ、直ニ發砲ヲ禁止シ、正午東水道ノ中央ニ達シテ、針路ヲ北二十三度東ニ定メ、以テ浦鹽斯德ニ直進セリ、然ルニ幾何モナク我カ第三戰隊ハ、第四驅逐隊ヲ伴ヒテ更ニ露國艦隊ノ前方ニ現レ、航路ヲ橫斷セントセシカハ、ロジエストウエンスキー司令長官ハ、其ノ或ハ浮流水雷ヲ投下スルニアラサルヤヲ疑ヒ、單橫陣ノ廣正面ヲ以テ之ヲ擊攘セント欲シ、第一戰艦隊ハ先ツ右八點ノ正面變換ヲ行ヒ、尋テ左八點ノ一齊回頭ニ依リテ單橫陣ニ開カントスルノ際、二番艦「アレクサンドル三世」ハ、運動ヲ誤リ依然一番艦ニ續航セシカ爲メ、三番、四番艦モ亦自己ノ運動ヲ以テ誤レリト誤想シ、再「アレクサンドル三世」ニ續航スルノ運動ヲ採リ、其ノ結果單橫陣ヲ制ラントセシ第一戰艦隊ハ、今ヤ第二、第三戰艦隊ト二列縱陣ヲ制ルニ至レリ、即チ左圖ノ如シ、



既ニシテ午後一時過ニ至リ、ロジエストウエンスキー司令長官ハ、針路ノ前方ヲ右舷ヨリ左舷ニ斜ニ横斷シツ、進航シ來ル我カ主力艦隊ヲ發見シタルヲ以テ、直ニ戰鬪陣形ニ復センカ爲メ、第二戰艦隊ハ第一戰艦隊ニ續航スヘシ、ト命シ、巡洋艦隊ハ、特務艦船ヲ護衛シテ戰艦隊列ノ右舷後方ニ避ケシメ、第一戰艦隊ハ速力ヲ十一海里ニ増シテ稍左方ニ變針シ、第二戰艦隊以下ハ第一戰艦隊ノ後尾ニ就カンカ爲メ、其ノ速力ヲ緩メテ右舷ノ方ニ偏行シ、第二戰艦隊ノ先頭艦「オスラービヤ」ノ、正ニ第一戰艦隊ノ殿艦「アリョートル」ト相竝ヒタル時、旗艦「スウォーロフ」ハ我カ三笠ニ對シ、戰鬪ヲ開始スルニ至レリ、時ニ午後二時八分ニシテ、其ノ陣形ヲ推定スルニ大略左ノ如シ、



第二目 戰艦隊ノ戰況

五月二十七日日本海海戰ニ於ル露國艦隊ノ行動ハ、確實ナル記録ノ據ルヘキモノナク、且露國海軍將校ノ私記類ノ如キモ、多クハ自己乘艦ノ行動若クハ單ニ劇戰ノ壯景慘狀ヲ敘述セルニ止リ、全艦隊ノ運動ヲ記セルモノナク、又我カ艦艇ノ敵狀記事ノ如キモ、天候遠望ニ適セザリシカ爲メ、各艦ノ見ル所頗ル其ノ狀ヲ異ニセルヲ以テ、其ノ正確ナル戰況ヲ記述スルハ甚々難シト雖モ、此等ノ記録ヲ取捨綜合シテ、其ノ艦隊戰鬪ノ概況ヲ推記スルコト左ノ如シ、

ロジエストウエンスキー司令長官ハ、午後二時過我カ主力艦隊ノ邊ニ左舷ニ反轉スルヲ見ルヤ、砲撃開始ノ好機ト爲シ、未タ全ク戦闘陣形ヲ成サ、リシニモ拘ラス、二時八分旗艦「クニヤ」シ、スウォーロフ」先ツ我カ三笠ニ對シ、距離約七千米突ヲ測リテ砲火ヲ開キ、後續諸艦モ亦直ニ之ニ倣ヒテ發砲シ、回轉軸ニ在ル我カ先頭諸艦ニ對シテ、猛烈ナル砲火ヲ集中セリ、尋テ約二分時ノ後我カ主戰艦隊之ニ應シテ發砲ヲ開始シ、六千乃至五千米突ヲ距テ、彼我互ニ激烈ナル砲火ヲ交ヘツ、約北東方ニ向ヒ竝進セシカ、我カ艦隊ノ速力十五海里ニ對シ、露國艦隊ハ僅ニ十海里乃至十一海里ニ過キサリシヲ以テ、忽チ我カ艦隊ノ爲メニ其ノ先頭ヲ壓撃セラレ、漸次右方ニ屈折シテ遂ニ約東方ニ向フニ至レリ、斯テ其ノ第一戰艦隊ノ先頭艦「クニヤ」ジ、スウォーロフ」ハ、我カ第一戰艦隊ノ中央ト相對シ、第三戰艦隊ノ先頭艦「ニコライ」一世ハ、略我カ第二戰艦隊ノ後尾ト相竝ヒタルヲ以テ、第一、第二戰艦隊ノ先頭艦「スウォーロフ」及ヒ「オスラービヤ」ハ、我カ諸艦射撃ノ燒點ト爲リ、殊ニ「オスラービヤ」ハ左翼列ノ先頭艦トシテ、我カ艦列ニ最近カリシノミナラス、其ノ戰列中ニ於ル唯一ノ三煙突艦ニシテ、射撃目標トシテ最選擇ニ便ナリシ爲メ、時ニ或ハ我カ七八艦ヨリノ集彈ヲ蒙リ、船體ハ蜂窩ノ如ク煙突ハ箭ノ如ク、前部砲塔ハ崩壞セラレ、大橋ハ折斷セラレ、水線部ノ彈孔ヨリハ浸水奔沸ノ如ク艦内ニ注入シ、且處々ニ大火災ヲ起シ、死傷甲板ニ滿チテ救護ノ遑ナク、「スウォーロフ」モ亦橋ヲ折ラレ、煙突ヲ碎カレ、火災續發シテ煙焰艦ヲ包ミ、「アレクサンドル」三世、「ボロヂノ」等モ屢火災ヲ起シ、戦闘開始後未タ三十分ナラスシテ、戰勢既ニ不利ニ陥リ、且第三戰艦隊ノ如キハ速力劣レルカ爲メ、

著シク後方ニ開離シ、陣形漸ク亂レントスルニ至レリ、已ニシテ我カ第一戰艦隊ハ全ク露國艦隊ノ前方ニ進出シテ、之ト略丁字形ヲ爲シ、益々猛烈ナル縱射ヲ加ヘ、第二戰艦隊ハ側方ヨリ猛撃セシカハ、「スウォーロフ」以下ノ諸艦ハ更ニ甚大ナル損傷ヲ蒙リ、益々右方ニ屈折セリ、時ニ「スウォーロフ」ノ司令塔ニ命中シタル我カ一彈ハ、ロジエストウエンスキー司令長官ノ頭部ヲ傷ツケ、且舵機ヲ破壊シタルカ爲メ、同艦ハ遂ニ右舷ニ回頭シテ列外ニ脱シ、「オスラービヤ」モ亦之ト相前後シテ戰線ヲ脱セリ、而テ「オスラービヤ」ハ此ノ時艦首ヲ「ホーズホール」マテ沈下シ、左舷ニ傾斜スルコト約十五度ニシテ、全艦猛煙ニ包マレ、頗ル慘狀ヲ呈シ、三時十分頃遂ニ沈没スルニ至リ、約八百ノ乗員中、其ノ驅逐艦ニ救助セラレタル三百八十餘名ノ外、悉ク艦ト運命ヲ同シウセリ、「オスラービヤ」ノ列外ニ脱スルヤ、第二戰艦隊ノ後續諸艦ハ、忽チ我カ第二戰艦隊ノ猛撃ヲ受クルニ至リ、就中ニ番艦「シソイ、ウエリーキー」ノ如キハ、多大ノ損害ヲ被リ、且火災ヲ起シテ少時列外ニ脱セリ、

ロジエストウエンスキー司令長官ハ、豫メ其ノ戰策ニ於テ、戰鬥中主力戰艦(第一戰艦隊)ノ各艦ハ、前續艦損傷ヲ蒙リ進退ノ自由ヲ失フニ至リタルトキハ、之ヲ避ケテ旗艦ニ續航シ、旗艦進退ノ自由ヲ失シタルトキハ、後續艦代リテ隊ヲ嚮導スルコト、規定シタルヲ以テ、「スウォーロフ」ノ戰列ヲ脱スルヤニ番艦「アレクサンドル」三世代リテ隊ヲ嚮導セシカ、忽チ復我カ艦隊ノ集彈ヲ蒙リテ大火災ヲ起シ、且運轉支障ヲ生シタルモノ、如ク、一時列外ニ出テ、今ヤ三番艦「ボロヂノ」嚮導艦ト爲リ、陣形益々混亂スルニ至レリ、此ノ時ニ當リ我カ艦隊ハ益々進出右折シテ、露國艦隊ノ



前程ヲ壓迫セルヲ以テ、ボロヂノ「ハ尙前進ヲ繼續スルノ不利ナルヲ認メ、我カ艦隊ノ後尾ヲ衝破シテ、北方ニ脱セント欲シタルモノ、如ク、俄然左八點ノ正面變換ヲ行ヒ、針路ヲ約北方ニ定メ、戰鬪側ヲ右舷ニ轉スルニ至リシカ、尋テ我カ第一戰隊ノ針路ヲ反轉シテ、再其ノ前程ヲ壓セントスルモノ、如クナルヲ見ルヤ、ボロヂノ「ハ前決心ヲ翻シテ再東方ニ變針シ、更ニ第二戰隊ノ猛火ニ浴セリ、此ノ時「アレクサンドル」三世ハ火災ヲ熄滅シテ戰列ニ復シ、ボロヂノ「ニ代リテ先頭ノ位置ヲ占メ、混亂セル艦隊ヲ率非、漸次右方ニ轉針シテ南方ニ向ヒ、我カ艦隊ト遠シカリテ茲ニ第一次戰鬪ヲ了レリ、時ニ午後三時二十分頃ニシテ、爾後四時頃ニ至ルマテ、露國艦隊ノ行動ニ關シテハ、我カ各艦ノ見ル所全然一致セスシテ、其ノ正確ナル推斷ヲ下スコト能ハスト雖モ、惟フニ我カ艦隊ト反航分離シタル後、稍其ノ隊伍ヲ整頓シ、再浦鹽斯德ニ向ヒテ定針シタルモノ、如ク、四時頃我カ第一、第二戰隊ハ右舷約六千五百米突ニ當リ、北東ニ向進セル露國艦隊ノ主力ヲ發見セリ、是ニ於テ午後四時四分、第二次戰鬪ハ更ニ彼我主力艦隊ノ間ニ開始セラレ、六千米突内外ノ距離ヲ以テ、並航戰ヲ持續スルコト十餘分間ニ及ヒシカ、此ノ時露國艦隊ノ損害ハ益、甚シクシテ、火災ニ罹レモノ頗ル多ク、其ノ砲火モ亦大ニ衰ヘ、殊ニ「アレクサンドル」三世ハ其ノ前部ニ大損傷ヲ蒙リテ列外ニ出テ、「ボロヂノ」再代リテ嚮導艦ト爲リシモ、陣形全ク潰亂シテ四分五裂ノ状態ニ陥リ、漸次右舷ニ回頭シテ遂ニ南方ニ向針シ、四時三十分頃再濃氣ノ裡ニ隱レテ、我カ艦隊ノ視界ヲ脱スルニ至レリ、是ヨリ先キ午後三時頃戰列ヲ脱シタル旗艦「スウオーロフ」ハ、舵機破損ノ爲メ汽機ニ依リテ纒ニ艦ヲ操縦シツ、右方ニ一回轉シ、

單獨北方ニ向進セシニ、三時二十分頃ヨリ同四十分ニ至ル約二十分間、二千乃至三千米突ノ距離ニテ、再我カ第一、第二戰隊ノ猛烈ナル射撃ヲ被リ、前橋及ヒ前後ノ兩煙突ヲ失ヒ、且著シク左舷ニ傾斜シ、上甲板以上ハ全然破壊セラレ、殆ト艦影ヲ存セサルノ慘狀ヲ呈スルニ至リシカ、午後四時ヨリ同三十分ニ至ル間彼我主力艦隊ノ中間ニ占位シテ、更ニ我カ第一、第二戰隊ニ猛射セラレ、其ノ距離時ニ二千米突以内ニ近ツキタルヲ以テ、我カ彈丸ノ命中スルコト恰モ急霰ノ板屋ヲ打ツカ如ク、艦内到處ニ火災ヲ起シ、伏屍累ヤトシテ四肢飛散シ、風下ノ彈孔砲門等ヨリハ火煙ヲ噴出シツ、四時三十分戰艦列ヲ追ヒテ、南方ニ變針セリ、

斯ノ如ク我カ艦隊ノ視界ヨリ脱シテ、一時戰鬪ヲ休止セル露國主力艦隊ハ、陣形滅裂、唯雜然トシテ南方ニ航下スルコト約三十分ニシテ、「ボロヂノ」型戰艦二隻ハ、右轉シテ再北方ニ向ヒタルモノ、如ク、午後五時頃約六千米突ヲ距テ、少時我カ第一戰隊ト右舷反航戰ヲ交ヘ、又第三戰艦隊ト思ハル、主力艦隊ノ一部ハ、午後四時五十分頃我カ第三戰隊以下ノ露國巡洋艦隊ヲ追ヒテ西方ヨリ至ルニ會シ、其ノ巡洋艦隊ト合シテ我カ第三、第四、第五、第六戰隊ト左舷反航戰ヲ交ヘ、我ニ多少ノ損害ヲ與ヘ、五時五十分頃再北西方ニ轉向セリ、斯テ露國戰艦隊ハ約五十分間ノ砲戰ヲ利用シテ、稍艦内ノ混亂ヲ整理シツ、行々離散セル諸艦ヲ糾合シ、且巡洋艦隊以下ヲ合シ、「ボロヂノ」嚮導ト爲リ、「アリオール」、「ニコライ」一世、「アブラクシン」、「セニヤール」、「アレクサンドル」三世、「ウシヤークフ」、「ナワリン」、「シソイ」、「ウエリーキー」、「ナヒーモフ」諸艦之ニ續キテ單縱陣ヲ爲シ、巡洋艦隊、特務艦船等ヲ其ノ左舷ニ從ヘ、漸次進路ヲ變シテ再浦鹽斯德ニ向ヒ定

針セリ然ルニ曩ニ北方ニ其ノ影ヲ失シタル我カ第一戰隊ハ午後六時頃ニ至リ、突然右舷後方ヨリ追跡シ來リ、砲撃ヲ開始シタルヲ以テ、露國艦隊ハ復其ノ前程ノ遮壓ヲ免レンカ爲メ、針路ヲ約北北西ニ轉シ、我カ艦隊ヲ右舷正横後六千乃至八千米突ニ保チツ、之ト竝航シ、第三次戰鬪ヲ開始セシニ、先頭ニ位置セシ「ボロヂノ」及ヒ「アリヨール」ノ二隻ハ、忽チ我カ諸艦ノ集彈ヲ蒙リテ再苦戰ニ陥リ、殊ニ嚮導艦「ボロヂノ」ハ、此ノ時マテ其ノ損害比較的大ナラス、死傷者ノ數モ亦尠カリシモ、今ヤ我カ艦隊ノ集彈ヲ被ルニ至リ、巨彈ノ命中スルモノ頻ニ相踵キ、忽ニシテ砲塔ハ破壊セラレ、艦橋ハ粉碎セラレ、火災ノ煙焰ト彈丸ノ爆煙トハ、濛ヤトシテ全艦ヲ掩ヒ、將校ハ殆ト死傷シ盡シ、復一人ノ指揮ニ任スルモノナキニ至リシト云フ、又「アレクサンドル」三世ハ戰鬪ノ初期ニ於テ既ニ多大ノ損害ヲ受ケ、其ノ艦首ハ全然破壊セラレアリシカハ、戰鬪再始後幾何クナラスシテ左舷ニ傾斜シツ、終ニ左轉シテ列外ニ脱シ、午後七時頃俄然覆没スルニ至レリ、同艦ノ列外ニ脱スルヤ、後續諸艦モ亦之ニ續航シタルモノ、如ク「ナヒーモフ」ヲ殿艦トセル數隻ノ一團ハ、一時針路ヲ反轉シテ南方ニ逃走セントセシニ、遇我カ第二戰隊ノ北上シ來ルニ會シ、更ニ北方ニ轉針シテ、再前續隊ニ續航セリ、時ニ夕陽既ニ西海ニ沈ミシモ、砲戰尙未タ止マス、閃々轟々暮色ヲ破リテ光景轉々悽絶ナリ、而テ「ボロヂノ」ノ火災ハ益々熾ニシテ、火焰ハ檣樓ノ高キニ達シ、尋テ七時二十分頃二回ノ大爆發ト共ニ、水線附近ヨリ火燄ヲ噴出シツ、忽焉トシテ顛覆沈没シ、後續諸艦ハ忽チ列ヲ亂シテ西南方ニ變針セリ、是ヨリ先キロジエストウエンスキー司令長官ノ旗艦「スウオーロフ」ハ、全ク廢艦ノ状態ヲ以テ獨リ戰場ヲ徘徊セシカ、午

後五時三十分頃驅逐艦「ブイヌイ」(此ノ艦ニハ已ニ「オスラービヤ」ノ其ノ傍ニ來ルヲ認メ、彈丸雨飛ノ下ニ怒濤ノ掀翻ヲ冒シツ、辛ウシテ司令長官ヲ之ニ移セリ、時ニ同司令長官ハ頭部及ヒ足部ニ重傷ヲ負ヒテ、殆ト人事不省ニ陥リ、善後ノ處置ニ關スル幕僚ヨリノ問ニ對シテ、唯僅ニ「ネボガトフ、浦鹽斯德、北二十三度東等」ノ數語ヲ斷續線返スノミニシテ、再艦隊ノ指揮ヲ執ルコト能ハサルヲ以テ、參謀長ハ其ノ意ヲ承ケテ、近ツキ來リタル驅逐艦「ベツウプリヨーチヌイ」ヲシテ、艦隊ノ指揮權ヲネボガトフ司令官ニ讓ル旨ヲ傳ヘシメ、「ブイヌイ」ハ巡洋艦隊ニ追及シテ之ニ附隨シ、「ベツウプリヨーチヌイ」ハ直ニ「ニコライ」一世ニ到リテ、ネボガトフ司令官ニロジエストウエンスキー司令長官ノ命令ヲ傳ヘタリ、(戰後軍法會議ニ於テネボガトフノ陳述ニ依レハ同號ヲ受ケタルモ艦隊ノ指揮權ヲ讓ルトノ命ニ接セザリシト云フ)而テ「スウオーロフ」ハ司令長官退去後、更ニ我カ各戰隊ヨリノ砲撃ヲ蒙リ、慘狀其ノ極ニ達シ、人ヲシテ艦カ岩カヲ疑ハシムルニ至リシモ、其ノ乗員ハ尙僅ニ艦尾ニ殘レル一門ノ輕砲ヲ以テ、勇敢ナル抵抗ヲ試ミ、午後七時二十分頃、我カ第十一艇隊ノ襲撃ヲ最期トシテ、遂ニ沈没セリ、「スウオーロフ」、「アレクサンドル」三世及ヒ「ボロヂノ」ノ沈没ハ、其ノ顛覆急激ナリシヲ以テ、乗員ノ大部ハ退去ノ暇ナク、僅ニ十數名ノモノ其ノ浮出セル艦底ニ攀登スルヲ認メシモ、時尙劇戰中ナリシヲ以テ、彼我俱ニ之ヲ救助スルノ違ナク、其ノ乗員各約八百五十名中、ロジエストウエンスキー司令長官ト共ニ、驅逐艦「ブイヌイ」ニ收容セラレタル小數ノ「スウオーロフ」乗員ト、數時間激浪中ニ漂蕩シタル後、辛ウシテ我カ驅逐艦ノ爲メニ救助セラレタル「ボロヂノ」乗員ト一水兵トノ外、悉ク艦ト運命ヲ同シウスルノ慘狀ヲ呈セリ、

今ヤ露國艦隊ノ精銳ナル新式戰艦中四隻ハ既ニ沈没シ、猶殘存スルモノハ惟僅ニ「アリヨール」一隻ニシテ、其ノ他ハ「シソイ、ウエリーキー」ナワリン等第二流以下ノ舊式艦ノミト爲レリ、而テ「アリヨール」ハ此ノ時既ニ多大ノ損害ヲ被リ、其ノ備砲ノ大部ハ破壊セラレタルモ、尙勇敢ニ奮闘シ其ノ射撃モ亦頗ル有效ニシテ、屢我カ諸艦ニ命中セリ、又ネボガトフ司令官ノ直率セル第三戰艦隊「ニコライ」一世、「アブラクシン」、「セニヤールツフン」、「ウシヤールコフ」ハ、曩ニ第一次戰艦隊ノ開始セラレタル後、幾何ナラスシテ著シク前續隊ヨリ後レ、殊ニ「アブラクシン」以下ノ三艦ハ、早ク戰線外ニ避ケタルモノ、如ク、(翌二十八日降服ノ際、アブラクシンハ二十七日ノ戰艦ニ於テ僅ニ九尹砲三十餘發ヲ發射シタルノミナルヲ發見セリ)從テ各艦ノ受ケタル損害モ亦大ナラス、第二次戰艦隊終止後、再第一戰艦隊ニ合シテ之ニ續航セリ、尋テ午後七時過ニ至リ、同司令官ハロジエストウエンスキー司令官ヨリ、浦鹽斯德ヘ行ケ、トノ通告ニ接シタルヲ以テ、直ニ吾ニ續航セヨ針路北二十三度東、ノ信號ヲ掲ケ、全艦隊ヲ率非テ浦鹽斯德ニ向ハント欲セシモ、常ニ我カ艦隊ノ爲メニ右側ヲ壓セラレタルニヨリ、其ノ目的ヲ達スルコト能ハス、依然前續艦ニ踵テ北西方ニ向進シ、同二十分頃我カ艦隊ト遠隔シテ戰闘ヲ中止スルニ及ヒ、再北東方ニ轉針セントセシニ、此ノ時已ニ我カ驅逐隊ノ前程ヲ扼セルヲ認メ、其ノ攻撃ヲ避ケンカ爲メ、更ニ南西方ニ變針シ、暗中ニ其ノ影ヲ没セリ、

### 第三目 巡洋艦隊及ヒ其ノ他ノ戰況

露國第一巡洋艦隊ハ、「オレーグ」、「アウローラ」、「ドミトリ」、「ドンスコイ」、「ウラヂーミル」、モノマールフノ順序ヲ以テ、エンクウ非スト司令官之ヲ率非、以テ第三戰艦隊ノ後方ニ續行セリ、二十七

日午後一時過、ロジエストウエンスキー司令官ヨリ、各巡洋艦及ヒ特務船ハ戰艦隊ノ右方ニ避クヘキノ命ヲ受ケタルヲ以テ、「ドンスコイ」、「モノマールフ」ハ特務船隊ヲ護衛シ、「オレーグ」、「アウローラ」ハ嚮導ト爲リ、速力ヲ増シテ戰艦隊ノ右側ニ轉セリ、已ニシテ午後二時八分激烈ナル砲戰ハ、彼我主力艦隊ノ間ニ開始セラレ、飛彈時々艦側ヲ掠メ、午後二時四十分頃、我カ和泉南方ヨリ現レ、特務艦隊ノ右舷後方ヲ攻撃スルヲ認メ、「オレーグ」、「アウローラ」ハ直ニ救護ノ爲メ、速力ヲ増シテ和泉ニ近ツキ、「モノマールフ」及ヒ第二巡洋艦隊ト共ニ之ヲ撃テリ、尋テ同五十分頃、後方ヨリ我カ第三、第四戰艦隊ノ出現スルヲ認メ、「オレーグ」、「アウローラ」ノ兩艦ハ更ニ之ニ向ヒテ挺進シ、距離約八千米突ヲ以テ反航戰ヲ爲シ、三時過ニ至リ、我カ兩戰艦ハ露國特務艦隊ノ後方ヲ横過シテ、其ノ右舷側ニ出テ、益、之ヲ猛撃セシカハ、「オレーグ」以下ノ諸艦ハ頻ニ之カ掩護ニ努メ、爾後我カ第三、第四戰艦隊ト交戦シツ、露國戰艦列ノ右側ニ竝進セリ、然ルニ三時三十分頃ニ至リ、露國主力艦隊ハ我カ第一、第二戰艦隊ノ爲メニ撃破セラレ、オスラービヤハ沈没シ、「スウオーロフ」ハ大破孤立シテ猛焰ニ包マレツ、アルヲ認メ、エンクウ非スト司令官ハ、其ノ救護ノ爲メ、「オレーグ」、「アウローラ」ヲ率非テ左方ニ回頭シ、之ニ向ヒ全速力ヲ以テ急進セシニ、途上假裝巡洋艦「ウラール」ノ危難信號ヲ掲ケ、艦首ヲ甚シク水中ニ沈下シ、乗員ハ今ヤ端舟ヲ卸サントシツ、アルヲ發見シ、附近ニ在リシ運送船「アナツイリ」及ヒ「スウ非ーリ」ニ命シテ、「ウラール」ノ乗員ヲ救助セシメ、「オレーグ」、「アウローラ」ハ直ニ「スウオーロフ」ノ方ニ向進セリ、然ルニ此ノ時露國戰艦隊モ亦、「スウオーロフ」ニ近ツキ來リタルヲ以テ、エンクウ非スト司令



官ハ、再運送船隊ノ掩護ニ轉セリ、此ノ間ニ於テ露國特務船隊ハ我カ第三、第四戰隊等ノ砲撃ヲ受ケ、或ハ火災ヲ起シ、或ハ運轉ノ自由ヲ失スルモノ等續出シ、「ドンスコイ」モ「マープ」ノ兩艦ハ、第二巡洋艦隊ト協力シテ專ラ其ノ掩護ニ努メシカ、此ノ時我カ第五、第六戰隊モ亦露國巡洋艦以下ニ對シテ戰鬥ヲ開始シタルニヨリ、露國艦隊ハ益々混亂ニ陥リ、雜然トシテ東北方ニ向進セリ、斯テ四時三十分頃ニ至リ、「オレーグ」以下第一巡洋艦隊ノ諸艦ハ、北方ヨリ航下シ來ル戰艦隊ノ一部ト合シ、其ノ左舷前方ニ位置シテ再右方ニ回頭シ、同四十分頃ヨリ更ニ我カ第三、第四、第五、第六戰隊ト五千乃至八千米突ノ距離ヲ以テ、左舷反航戰ヲ交ヘ、漸次西北方ニ轉針セリ、然ルニ幾何モナク、左舷後方ヨリ我カ第二戰隊ノ追撃ヲ受ケタルヲ以テ、「オレーグ」以下ノ諸艦ハ特務船隊ヲ掩護シツ、且戰ヒ且逃レ漸次北方ニ變針シ、其ノ戰艦隊ノ左方數千米突ニ占位シ、日没後戰艦列ニ從ヒ西南方ニ向進セリ、此ノ日「ホレーグ」、「アウローラ」ノ二艦ハ、我カ集彈ヲ蒙リテ屢火災ヲ起シ、「オレーグ」ハ十數箇所ニ彈孔ヲ穿タレ、戰死十二名、負傷三十一名ヲ出シ、「アウローラ」ハ水線附近ニ長サ四呎幅三呎ノ大彈孔ヲ生シ、艦長以下十四名戰死シ、副長以下八十九名負傷セリ、而テ「ドンスコイ」及ヒ「モノマープ」ノ二艦モ、亦多少ノ被彈アリシカ、損害輕微ニシテ、僅ニ數名ノ死傷者ヲ生セシニ過キスト云フ、

露國第二巡洋艦隊「スウェトラーナ」、「アルマーズ」、「イズムルード」、「ジエムチウグ」、「ハ、スウェトラーナ」艦長「シェー」海軍大佐指揮ノ下ニ、「スウェトラーナ」、「アルマーズ」ノ兩艦ハ、假裝巡洋艦「ラール」ト共ニ艦隊ノ前衛トナリ、「ジエムチウグ」、「イズムルード」ハ各左右側衛ノ任務ニ從事セリ、二十七日朝「スウェトラーナ」、「アルマーズ」、「ウラール」ハ命ニ依リ、特務船隊ノ後方ニ轉位シテ、其ノ掩護ニ任シ、尋テ正午過「ジエムチウグ」、「イズムルード」モ亦其ノ位置ヲ退キテ、特務船隊ノ掩護ニ從事セリ、午後二時四十分頃ニ至リ、「スウェトラーナ」以下ノ諸艦ハ特務船隊ノ右後尾ヲ脅カサントスル我カ和泉ニ對シ、始テ砲火ヲ開キ、爾後第一巡洋艦隊ト協力シテ、特務船隊ヲ掩護シツ、我カ第三、第四戰隊ト並航戰ヲ行ヘリ、午後三時過「イズムルード」ハ、「スウオーロフ」ノ危急ニ瀕セルヲ認メ、救援ノ爲メ之ニ向ヒ突進セシモ、我カ第一、第二戰隊ノ諸艦ヨリ集彈セラレテ其ノ目的ヲ達セス、尋テ四時三十分頃ニ至リ、第二巡洋艦隊ハ北方ヨリ航下スル主力艦隊ノ一部ト合シ、第一巡洋艦隊ト共ニ其ノ左舷側ニ占位シテ右方ニ回頭シ、同四十分頃ヨリ我カ第三、第四、第五、第六戰隊ト左舷反航戰ヲ交ヘツ、西方ヨリ漸次北西方ニ變針シ、「スウェトラーナ」、「アルマーズ」、「ジエムチウグ」ノ三隻ハ、第一巡洋艦隊ノ左方ニ在リテ之ト並進シ、「イズムルード」ハ戰艦隊ニ附隨シテ、通報ノ任務ニ從事セリ、午後七時頃「アレクサンドル三世」ノ沈没スルヤ、「イズムルード」ハ其ノ乗員救助ノ爲メ沈没位置ニ至リシニ、忽チ我カ諸艦ノ猛撃ヲ受ケテ遂ニ其ノ目的ヲ達セス、日没頃各艦ハ戰艦隊ノ運動ニ倣ヒテ南西方ニ向進セリ、此ノ日第二巡洋艦隊ノ諸艦ハ、何レモ多少ノ損害ヲ被ラサルナク、「スウェトラーナ」ハ戰鬥ノ初期ニ於テ、艦首水線下ニ大彈孔ヲ穿タレ、彈藥庫及ヒ發電機室等ニ滿水シ、爲メニ艦首著シク沈下シテ、十五海里以上ノ速力ヲ出スコト能ハサルニ至リ、且水線以上ニモ輕度ノ損害ヲ受ケ、「アルマーズ」ニ於テハ將校以下五名戰死(内一名將校)シ、十名負傷シ、「ジエムチウグ」ハ戰死十二



名(内准士官)負傷二十二名(内准士官以上三名)又「イズムルード」ハ負傷十名ヲ生セリト云フ、第一驅逐隊ニ屬スル「ベドウィ」及ヒ「ブイスツルイ」ハ、右側衛艦「ジエムチウグ」ノ後方ニ、又「ブラーウィ」及ヒ「ブイヌイ」ハ左側衛艦「イズムルード」ノ後方ニ、其々占位シ、又第二驅逐隊ニ屬スル「グロームヌイ」「グロームキー」「ボードルイ」「プレスチャーシチー」「ベツウプリヨーチヌイ」ノ五隻ハ、第一巡洋艦隊ノ後方ニ續航セリ、二十七日正午頃戰鬥陣形ヲ制ルニ及ヒ、第一驅逐隊ハ戰艦隊ノ右側ニ就キテ「ジエムチウグ」ノ後方ニ附隨シ、第二驅逐隊ハ第一巡洋艦隊ト特務船隊ノ中間ニ占位セリ、而テ「ベドウィ」及ヒ「ブイスツルイ」ハ、旗艦「スウォーロフ」ノ戰線ヲ脱スルカ、或ハ運轉ノ自由ヲ失シタル場合ニハ、ロジエストウエンスキー司令長官及ヒ幕僚ヲ他艦ニ移スノ任務ヲ有シ、「ブイヌイ」「ブラーウィ」ハ「オスラービヤ」ニ對シ、又第二驅逐隊ノ各艦ハ「オレグ」及ヒ「スウエトラナー」ニ對シ、其々同様ナル任務ヲ有セリ、然ルニ我カ跳彈ノ飛來烈シキト、露國艦隊ノ陣形混亂シタルトニ依リ、各驅逐艦ハ其ノ位置ヲ保持スルコト能ハス、午後三時頃「スウォーロフ」ノ戰列ヲ脱シタルトキノ如キ、附近ニ唯一隻ノ驅逐艦ヲモ認メサリシト云フ、然レトモ「ブイヌイ」「ブラーウィ」ハ常ニ「オスラービヤ」ト連絡ヲ保持シタルモノ、如ク、三時十分頃同艦ノ傾斜シテ危險ニ瀕スルニ當リ、直ニ之ニ向ヒテ急進シ、其ノ遂ニ沈没スルヤ、飛彈ヲ冒シテ乗員救助ニ努メ「ブイヌイ」ハ二百餘名、「ブラーウィ」ハ百七十餘名ヲ收容セシカ、偶南方ヨリ我カ第三、第四戰隊ノ猛撃ヲ被リタルヲ以テ、兩驅逐艦ハ已ムヲ得ス救助ヲ中止シ、再艦隊ニ續行セリ、此ノ時「ブラーウィ」ハ我カ六寸砲彈一個ヲ受ケ、煙突及ヒ汽罐ヲ破壊シ、死傷十

三名ヲ出シ、速力僅ニ十一海里ニ減セリト云フ、尋テ午後五時過「ブイヌイ」ハ、旗艦「スウォーロフ」ノ猛火ニ包マレツ、單獨漂蕩セルヲ認メ、荒波ヲ犯シテ同艦ニ横著ケシ、ロジエストウエンスキー司令長官以下幕僚及ヒ「スウォーロフ」ノ乗員等、二十餘名ヲ移乗セシメシカ、同驅逐艦モ亦我カ一彈ニ貫カレ、爾後高速力ヲ出スコト能ハサルニ至レリ、而テロジエストウエンスキー司令長官ハ、重傷ヲ負ヒタルヲ以テ指揮權ヲ他ニ譲リ、驅逐艦ニテ浦鹽斯德ニ至ルニ決シ、「ブイヌイ」ハ先ツ艦隊ニ追及セントセシカ、中途ニテ驅逐艦「ベツウプリヨーチヌイ」ニ邂逅シタルニヨリ、之ヲシテ「ニコライ」一世ニ到リ、ネボガトフ司令官ニコジエストウエンスキー司令長官ハ、負傷シテ驅逐艦ニ在ルコト、艦隊ヲ指揮シテ浦鹽斯德ニ航走スヘキコト等ノ命ヲ傳ヘシメ、「ブイヌイ」ハ漸ク「ドンスコイ」ニ追及シテ之ニ隨航セリ、此ノ時「ドンスコイ」ニハ驅逐艦「ベドウィ」隨從シ居リタルヲ以テ、ロジエストウエンスキー司令長官ハ、之ニ命スルニ「スウォーロフ」ニ到リ、其ノ幕僚ノ殘員ヲ救助スヘキヲ以テシ、「ベドウィ」ハ直ニ之ニ向ヒシモ、已ニ沈没シタルモノ、如ク、遂ニ之ヲ發見スルコト能ハスシテ空シク引返シ、又「グロームヌイ」ハ、午後五時頃假裝巡洋艦「ウラール」ノ危急ニ瀕セルヲ目撃シ、之ニ近ツキテ其ノ乗員九名ヲ救助セリト云フ、而テ其ノ他ノ驅逐艦ノ行動ニ關シテハ、終ニ之ヲ知ル能ハス、要スルニ九隻ノ驅逐艦中、多少ノ損害ヲ被リタルモノ多キカ如キモ、未タ一隻ノ沈没若クハ航海力ヲ失シタルモノアラス、其ノ全部ハ日没頃尙艦隊ニ隨從シタリト云フ、

露國特務艦隊ハ運送船(給兵)「アナヅイリ」ヲ先頭トシ、同「イルツイシ」、水雷母艦「コレーヤ」、工作船「カムチャツカ」、曳船「ルス」同「スウヰーリ」ノ諸艦單縱陣(順序不明)ヲ制リテ之ニ續キ、巡洋艦隊ニ其ノ側面ヲ掩護セラレツ、戰艦隊ノ右後方ニ隨從シ、又假裝巡洋艦「ウラール」モ巡洋艦「スウエトラーナ」、アルコマズト共ニ、二十七日朝特務艦隊ノ後方ニ轉セリ、已ニシテ午後二時四十分頃特務艦隊ハ、右舷後方ヨリ我カ和泉ノ砲火ヲ被リ、尋テ同五十分頃ヨリ我カ第三、第四戰隊ノ砲撃ヲ受ケ、同三時三十分頃ニハ砲撃益々猛烈ニシテ、露國第一、第二巡洋艦隊ハ極力之カ掩護ニカメタルモ、特務諸艦隊ハ忽チ多大ノ損害ヲ蒙リ、或ハ火災ヲ起シ、或ハ運轉ノ自由ヲ失スルモノ多ク、各艦各自ノ逃路ヲ求メテ陣形全ク潰亂セリ、殊ニ雜役船「ルス」ハ大損害ヲ受ケ、四時二十分頃隊列ヲ離レテ單獨漂泊中、我カ第三戰隊以下ノ砲撃ニ依テ沈没シ、其ノ乗員ハ曳船「スウヰーリ」ニ救助セラレ、假裝巡洋艦「ウラール」モ亦艦首ヲ撃破セラレ、運轉ノ自由ヲ失シテ漂泊中、午後五時五十分我カ第一戰隊ノ爲メニ撃沈セラレタリ、同艦ノ危急ニ迫ルヤ、其ノ乗員ハ倉皇端舟ニ乘シテ本艦ヲ逃レ、三百三十餘名ハ偶附近ニ來會セシ運送船「アナヅイリ」ニ收容セラレ、他ノ一部ハ翌日長門及ヒ石見ノ沿岸ニ漂著セリ、(士官一名下士卒二十名石見國(濱田港)ノ西十名ハ長門國須佐港ニ漂著セリ)又工作船「カムチャツカ」ハ大破シテ隊列ヲ脱シ、午後六時過「スウオーロフ」ノ附近ヲ漂泊中、我カ第一、第二戰隊ノ砲撃ヲ被リ、尋テ第四、第五、第六戰隊ヨリモ猛撃セラレ、午後七時頃遂ニ沈没シ、其ノ乗員中五十六名ハ端舟ニテ長門國見島ニ、八名ハ同國越ヶ濱ニ漂

著セリ、而テ運送船「アナヅイリ」、同「イルツイシ」、水雷母艦「コレーヤ」、曳船「スウヰーリ」ハ、其ノ損害比較的輕微ナリシモノ、如ク、二十七日日没頃ニハ尙巡洋艦隊ニ附隨シ居タリト云フ、是ヨリ先キ病院船「アリヨール」、カストローマノ二隻ハ、戰鬥開始ノ當時特務艦隊ノ後方數海里ニ續航セシニ、午後三時三十分頃我カ假裝巡洋艦佐渡丸及ヒ滿州丸ノ爲メニ、三浦灣ニ引致シ抑留セラレタリ、

## 第二章 五月二十七日夜ニ於ル戰鬥(第二合戰)

### 第一節 概況

五月二十七日午後二時過ヨリ、同七時三十分頃ニ至ル數回ノ劇戰ニ因リ、敵艦隊ハ全然潰敗シ、其ノ司令長官ロジエストウエンスキー中將ハ、重傷ヲ負ヒテ指揮權ヲ司令官ネボガトフ少將ニ讓リ、艦隊ノ主腦タル最新最鋭ノ戰艦ハ、空シク沖ノ島北方ノ海底ニ沈ミ、殘存セル諸艦モ亦大損害ヲ被レルモノ多ク、一敗幾ト復起ツ能ハサルノ悲境ニ陥レリ、其ノ七時二十分、ボロヂノ沈没當時ニ於ル陣形ハ大要左ノ如シ、